

令和元年裾野市議会 9 月定例会

予算決算委員会 厚生文教分科会（決算審査）

令和元年 9 月 1 7 日（火）、1 9 日（木）、2 0 日（金）

9 月 1 7 日（火）	教育部	教育総務課	・ ・ ・ ・ ・	3
		学校給食センター	・ ・ ・ ・ ・	1 6
		学校教育課	・ ・ ・ ・ ・	3 0
		生涯学習課	・ ・ ・ ・ ・	4 5
9 月 1 9 日（木）	教育部	鈴木図書館	・ ・ ・ ・ ・	6 8
	健康福祉部	子育て支援課	・ ・ ・ ・ ・	8 8
		保育課	・ ・ ・ ・ ・	9 9
		社会福祉課	・ ・ ・ ・ ・	1 1 4
9 月 2 0 日（金）	健康福祉部	健康推進課	・ ・ ・ ・ ・	1 2 5
		障がい福祉課	・ ・ ・ ・ ・	1 4 5
		介護保険課	・ ・ ・ ・ ・	1 5 7
		国保年金課	・ ・ ・ ・ ・	1 7 1
	自由討議	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	1 8 0

裾野市議会 予算決算委員会 厚生文教分科会

令和元年9月17日（火）

9時00分 開会

○委員長（杉山茂規） ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配布のとおりであります。

これより、予算決算委員会に付託され、厚生文教分科会に割り振られました認定第1号 平成30年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうちの関係部分、認定第2号 平成30年度裾野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第3号 平成30年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第4号 平成30年度裾野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についての審査を行います。

審査の方法は、各課単位で行い、それぞれ当局の説明を求めてから質疑に入りたいと思います。質疑の後、意見を伺います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

ここで各委員に申し上げます。質疑は一問一答方式で、要点を明確に簡潔な質疑をお願いいたします。意見につきましても、要点を明確をお願いいたします。

次に、分科会外委員の発言の許否についてお諮りいたします。質疑、意見について、分科会外委員から発言の申し出があった場合には委員長がその発言の許否を定めたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

なお、分科会外委員の発言は本委員の発言終了後といたします。また、発言の際には録音の関係上必ずマイクをご使用願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時01分 休憩

9時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育部

教育総務課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんか。
浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願いたします。主要事業調書の293ページで、293ページの3、協議会等学校訪問の状況ということで、毎月の定例会の開催と、協議会を昨年より1回、4回の開催ということで、こちらの協議をされて、30年度、どのような成果というか、活動に生かされたかというの教えていただけますか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 この協議会ですけれども、定例の教育委員会に議案提出される議案等について、事前の勉強会という位置づけで開催をいたしました。議案の内容を深く理解した上で教育委員会の会議に臨んでいただいていると考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。事前の会議の場ということですね。

では、済みません。次、4の総合教育会議の開催状況ということで、30年度2回開催されたと、同じような質疑になりますけれども、この2回開催されたことよっての進捗であるとか報告とか、どういった中身だったのか状況を教えていただけますか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 総合教育会議2回開催しておりまして、第1回目は福祉部門との連携についてというテーマで放課後児童室事業での学校施設の活用などを協議いたしました。その結果今年度東小や南小での児童室増室につながったものと考えております。第2回目の学校教育における課題とその対応についてというテーマで協議しております。これからの裾野市の教育のあり方を検討するための機関の設置について市長及び教育委員が賛同し、今年度裾野市の教育のあり方検討委員会が設置されております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 後ほど決算のところ出てきますけれども、給食関係のところというのは話出なかったですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時30分 休憩

9時30分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 2回目の総合教育会議におきまして、学校給食の話題についても触れさせていただきました。給食員の定数割れ、そして今後の給食調理の民間委託について協議をしていただきました。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。

続けて、295ページで、済みません。これちょっと確認です。職員数のところが30年度入っていないで、昨年度職員数1名という形で入っていたのですけれども、これ暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時31分 休憩

9時32分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 昨年度の29年度のところに1名あった職員数が30年度入っていないのですけれども、状況がどうなったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 29年度をもちまして、退職しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そうしますと、ことばの教室というのは継続されているかと思うのですが、こういった対応をされているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 臨時職員にて対応しております。人事課の賃金のほうに計上されております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。ちょっと確認ですけれども、教育委員の5名というのがあったのですけれども、これって地区別で5人出ているというようなことでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 現在は各地区から1人ずつというような形になっております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。295ページの深良小と、あと富岡第二小で落雷によって被害をこうむって工事されたということですが、深良小に関しては放送機器が被害を受けたというようなことですが、深良小と富二小の被害状況と

どうか、どんな内容だったかというのを教えていただけますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時34分 休憩

9時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 深良小学校の落雷による被害につきまして主なものを説明します。校内時計の故障、校内放送設備の故障、防災基盤の故障、散水機が一部停止という状況です。富二小につきましては、グラウンド散水機の故障、それと高圧開閉器の故障等が発生しました。

以上です。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 295ページ、落下防止の手すりの増設をしていますけれども、これ以外に子供たちを危険から守るといような具体の工事等はほかにはなかったのですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時35分 休憩

9時36分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 ここに記載のほかに富一小のプールのブロック塀の解体等を行っております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 小学校、中学と共通ですけれども、教育用のコンピューター整備事業をそれぞれ記載されていますけれども、中の数字というよりも他の市、町と比較して裾野市の整備状況は簡単に言うとまさっているとか、劣っているとかどのような状況でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時37分 休憩

9時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 パソコンにつきましては他の市、町とほぼ同じような状況と考えて

おります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 教育現場からこういうようなものをというように何か要望があって、ただし予算的にはそこまでいっていないというようなことであるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時37分 休憩

9時38分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 電子黒板等の要望がございますが、十分な設置にはなっておりません。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 296ページ、先ほど説明の中で借地料の関係ですけれども、西小学校の駐車場が、単価がこのみ1円アップだというような、たしか説明がありましたけれども、何かほかのところは据え置きの中で何か理由があるのでしょうか、お願いします。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 借地の単価につきましては、財政課のほうで3年に1度見直しをしております。その成果を持って各地権者との交渉に当たるといってございまして、昨年度について西小学校の土地の評価が1円上がっていたという状況でございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 298ページの施設管理のところですが、西中学校の普通教室の不足、その対応として基本設計業務が行われましたが、先日西中学校の校舎そのものが新しく作りかえるというような方針にということですが、昨年のこの基本設計業務でそのままこれからの工事に対応、そのままできるということなのでしょうか。それとも多少また手直しが必要なのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 基本設計の内容は、既存校舎の室内の改修も含めた形の基本設計となっております。今後予定しております仮設校舎の増設につきましては、既存校舎との接合部分など基本設計時の設計意図が踏襲されます。したがって、基本設計内容が生かせる部分もあるというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 同じページで歳入ですけれども、ワイ・シティーさんから東中

の通学路の防犯灯の工事の寄附金をいただきましたけれども、少し前には深良中の防犯灯にも同様の寄附金ありましたけれども、今後何か定期的に予定されるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時40分 休憩

9時41分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 現在では予定がございません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 293ページでお伺いします。総合教育会議の開催のところで、先ほど平成30年5月29日のときに放課後児童室のお話で増設につながったというお話があったと思うのですが、この福祉部門との連携についてという部分はどのような中身だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 平成30年度は、放課後児童室は健康福祉部の子育て支援課が所管しておりました。その関係です。それと、同日相談業務、そういったことについても福祉部と教育部の連携の話で協議をされております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 294ページで主要事務事業のところの1番の各種行事、研修など参加状況のところでお伺いします。部活動のガイドラインということが話し合われたようですけれども、これについては作成をしているということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時43分 休憩

9時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 この部活動ガイドラインについては、作成について学校教育課のほうで検討されております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） その下の部分になりますが、人事評価制度の運用、共同学校事務室の設置ということについて、これも学校教育課のほうでよろしいですか。

- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 人事評価制度の運用につきましては、学校教育課のほうの分野になります。共同学校事務室の設置につきましては、設置までは教育総務課、運営につきましては学校教育課のほうが携わっております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 設置まではということなのですが、設置のほうは進んでいるということですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 平成30年度につきましては、西小学校のほうにこの事務室を設置しております。今年度東中のほうへ事務室を変更しております。場所を変更しております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 変更をした理由というのは。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 西小学校は、相談室をお借りして設置をしたのですが、余りにも広さが狭くて、ちょっと運営に支障があるということで東中学校のほうに場所を移したものでございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） それではもう東中のほうで固定をするということでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 そのように考えております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 295ページの施設管理及び工事に伴う委託事業の一番上のところで伺います。汚水処理施設などの部分なのですが、これ29年度より大幅アップになっているのですが、その内容は。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時46分 休憩

9時47分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長。
暫時休憩します。

9時47分 休憩

9時47分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 後ほど調べて報告させていただきます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょう。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 先ほどの質問の確認なのですが、深良小と富岡第二小の落雷の件なのですが、先ほど防災基盤、散水機等の落雷だということだったので、これはそうすると屋外にある施設、その散水機についているそこに落ちたということなのではないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時48分 休憩

9時48分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 散水機につきましては、電磁弁に直接落雷の電流が流れてしまったということです。

（「屋外の」の声あり）

○教育総務課長 屋外の。済みません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） それに対して、落雷防止、避雷針の設置等は考えてはいない、それとも不可能なのではないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時49分 休憩

9時50分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 避雷針等の設置はされておられません。地中から電流が流れたということだと思います。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。297ページの就学前の新入学用品の前倒しということなのですが、この金額のちょっと説明、増えた説明なのですが、暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時50分 休憩

9時51分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） もう一度質問します。新入学用品の金額の説明をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 まず、この30年度の新入学用品費の対象の41人という数字ですけれども、これは通常の小学校へ入学する児童が14人です。それから、中学校へ入学する前の小学6年生、この児童が27人でした。ですから、単純にその29年の18人の倍になったということではなくて、その年度年度で対象の児童の数が変わっているということになります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうすると、対象人数が増えたことによるということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 対象児童もそうなのですから、中学に入る児童への前倒しの対象分が含まれているということになります。増えた要因は。人数が増えた要因は。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時52分 休憩

9時53分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 296ページと299ページ、先ほどもちょっとありましたけれども、教育用のコンピューターの整備事業というところで、31年です、リース切れというのが西、深良、富岡第一小、また図書管理システムと小学校職員室、あとセンターサーバーかな、299ページにつきましては西中、富岡中、図書館システムという形でリース切れという形でもありますが、このリース切れというのはリースアップするような形をとるのか、再リースというか、そちらをとっているのか、こういった対応をされているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 基本的に子供の使う教育用コンピューター等のリースにつきましては、リースが切れて1年ないし2年リースアップした形でそのまま使用しております。その後もう一度新しくリース契約を結んでおります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それでは、職員室とかサーバー系とかはどうでしょう。

- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 職員用、またセンターサーバー等につきましては、リースアップをせずにリース契約が終わるときに新たにまたリースの契約を結んでおります。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 新たに契約、それはパソコンそのものも新しくなるという契約でいいのですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 そのとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） ほかはいかがでしょう。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） それで、1点ちょっと気になるところで、299ページ、今、30年度、4番のコンピューター事業費の、済みません。中学校の職員用のその1かな、のところの金額というのが昨年度からリースアップといたしますか、契約を見直しているのですけれども、契約の金額が90万ほどちょっと上がっているのですけれども、これは何か増えたのか、何かレベルというの、上がったのか、90万上がった理由というのは何でしょう。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 こちらにつきましては、29年度決算時の数字は29年の9月1日からの7カ月間のリース料、年度内の支払い金額が表示されておりました。30年度につきましては、4月から3月までの丸々1年分の年度内の支払い額326万何がしという形で表示をしております。全体の契約額ではなくて、29年の9月から契約をしておりますので、29年度は7カ月分しか支払っておりませんので、その差が出ております。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時57分 休憩

9時58分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
ほかはいかがでしょうか。
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ~~ちょっと今年度に絡んでしまうようなことですが、小中学校の普通教室のエアコンの設置、30年度が設計、あるいは工事の前払いとしましたけれども、その件について、ちょっと休憩を。~~
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時58分 休憩

10時00分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

議長、今の取り下げでよろしいですか。

（「いいです」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかは。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 298ページの、先ほどもちょっと聞かれていて、ダブっていたら済みませんけれども、西中学校普通教室の不足解消工事の基本設計業務という中で、こちら合計として1,301万4,000円という金額なのですが、この設計業務そのものだけでいう決算額って幾らなのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 280万8,000円でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） ~~そうしますと、今回いろいろ設計といいますか、ここが変わってこの金額というのは、この基本設計というのは生かされるのでしょうか、それとも今回ちょっと方向が変わって今回無駄になるという形になるのでしょうか。~~

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時01分 休憩

10時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

では、取り下げでお願いします。

ほかはいかがでしょうか。

以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） お願いいたします。~~295ページでそもそも執行率が40.8%だった理由を教えてください。~~

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時02分 休憩

10時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） ちょっとおくれて来たので、後ほど聞きます。今の件は取り下げます。

それでは、2番の修繕改修事業の中で、西小学校は映像が映らないと、放送設備の、その修理の依頼を毎年やっていたのですが、これはこの30年度にその修繕の土

俵に上がらなかったのでしょうか。検討はどうされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時03分 休憩

10時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 検討はしております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 実際に検討してなされなかったのですけれども、今一斉放送の映像が映らない学校というのはどこがありますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時04分 休憩

10時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 映る学校は深良中学校のみとなっております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 映るのが深良中学校だけで、これはそもそも教育の現場に必要と考えているのでしょうか、それとも現状のままでよいと考えているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 必要と考えております。

（「委員長」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ごめんなさい。3度までということでお願ひします。

ほかはいかがでしょうか。

岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 今の内藤さんのところにも関連するのですが、聞きたいと思ったのですが、小学校、中学校とも管理運営需用費の中で修繕費の不足という報告がされましたけれども、これはそもそも予算づけが足りなかったのか、それとも突発的なことが起きたのか、その辺は、修繕費はどのような状況だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 突発的な案件が多かったというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 自然災害とか、そういう突発的なものが多いというの

はわかるのですけれども、そもそも予算要求するときに枠として要求されたものが100%修繕費としてとられていたのでしょうか。今の西小のそういう校内放送とか、もっと全体的に修繕、市としてとらなければいけないものというのがなかったのかどうなのか、その辺はどのような認識なのでしょうか。

(「暫時休憩願います」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

10時06分 休憩

10時07分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 必要な予算は計上していると考えております。

○委員長(杉山茂規) 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 分科会外委員の意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で教育総務課の質疑を終わります。

教育総務課（答弁漏れ、答弁訂正） 令和元年9月19日（木） 9時00分～

○委員長（杉山茂規） 教育総務課及び学校教育課より答弁漏れ及び訂正について発言の申し出がありましたので、これを許します。

初めに、教育総務課長の説明を求めます。

教育総務課長。

○教育総務課長 それでは、一昨日の答弁漏れについて説明させていただきます。

主要事務事業調書295ページをお願いします。表の1、施設管理及び工事に伴う委託事業の1行目の維持管理にかかわる委託料が前年度より増額になった要因はどの質疑に対しお答えいたします。平成30年度事業として学校間ネットワーク回線サービス調達提供業務委託、こちらについては小中学校間のネットワーク通信速度を速める業務になります。これは単年のみの業務でございます。もう一件、特殊建築物等定期報告業務委託、こちらは建築基準法の規定により、2年に1度調査を義務づけられた業務でございます。この2件の委託料が含まれたことが増額となった主な要因でございます。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長の説明は終わりました。

委員の皆様よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で答弁漏れについて終わります。

暫時休憩いたします。

9時02分 休憩

9時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校給食センター

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんか。
浅田委員。

○委員（浅田基行） お願いいたします。まず、301ページの執行率であります。これ30年度予算も29年度と比べて少し予算も上がって、支出も、不用額が非常に多く、執行率が98.5%、29年度は99%越えだって、昨年、29年度より下がっているのですけれども、執行率が悪かった理由って何ですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時15分 休憩

10時16分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 3月定例会で賄材料費を減額させていただいておりますが、その減額の金額により執行率に影響が出たものと考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そうしますと、その限度、賄い費の調整というのは30年度だけやられたのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 毎年度3月議会で減額補正をさせていただいております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 毎年度ですよ。今回は幅が大きかったという意味合いでよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時17分 休憩

10時17分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○委員（浅田基行） 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時17分 休憩

10時18分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 3月に減額補正をお願いしておりますが、あくまでも見込みの金額ですので、そこに不用額の多少の差が出てしまって執行率に影響しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 同じページで、小学校単独調理室の完全給食の実施の中で、実施回数は29年度、30年度一緒なのですけれども、試食件数と、試食人数がすごく増えているのですけれども、何か変化と言いますか、増えた理由というのは何でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 平成30年度に各地区の寿大学のほうでこの寿大学の一つの事業として、給食の試食会を企画していただいて、こういった形で参加者が増加しております。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時19分 休憩

10時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） そのイベントは何回やられたのですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時20分 休憩

10時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 各地区1回ずつ行われております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 30年度寿大学のイベント各地区1回ということで、主に狙いといえますか、内容はこういった形で、どういう理由でやられたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育部長。

○教育部長 暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時21分 休憩

10時22分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育部長。

○教育部長 寿大学のほうの役員さんの中で検討した中で学校の孫の世代に当たる子供たちが今現在どういう給食を食べているのか、それを見学したいという希望がありまして、学校側と協議して、うまくその体制が整ったものですから、こういう流れになりました。

○委員長（杉山茂規） ほか、いかがでしょうか。
勝又委員。

○委員（勝又 豊） 301ページの検査実績ということで、大腸菌、ノロウイルス等の検査をされているということで、これはどういった、検便とか、そういった内容なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 給食員の研修等もあるのですけれども、O-157とか、ノロウイルスとか、発生した場合の対象とかの研修なんかもされているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時23分 休憩

10時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長。

○教育総務課長 そういった場合の対応等、保健所の職員等を招いて研修を行っております。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時23分 休憩

10時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 除去食がそれぞれ人数ありますけれども、この対象者というか、人数的にはこれは徐々に増えてきているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時24分 休憩

10時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長代理。

○教育総務課長代理 アレルギーの対象者は年々増えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 具体的にそういう何かの食材を外してつくる話ですけども、このもとになるのは医師の何か所見のようなものが必要なのでしょうか、それとも単なる保護者の申し出からなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長代理。

○教育総務課長代理 医師の診断によります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 冒頭の説明等からもありますけれども、この会議の中でも給食員の不足、それを前提にしてという、ほかのこともあるのですけれども、実際にこの昨年の場合には決算で閉まっているのですけれども、不足の形で最後までいったのですか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時26分 休憩

10時26分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 人数という問題では欠員分を派遣職員により充足できております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 臨時職員の人件費と派遣の場合では委託のような形になると思うのですけれども、ここで言う臨時職員数というこの数字の中には人材派遣からの派遣というのは入っているのですか、含まれていないのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 含まれておりません。暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時27分 休憩

10時27分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） そうしますと、派遣会社からの派遣で来た人数は何人になるの

でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 平成30年度におきましては、3名となっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） というようなことも一つの、多分理由としてということですが、民間委託という言葉が前々から、きょうの中でも出ているのですけれども、具体的に民間委託に進めるところまでは言っているのでしょうか、意見として出ているということなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 意見として出ているという状況でございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 近隣ではもう既に民間委託で運営しているところもありますけれども、民間に委託するには保護者のいろんな理解が必要だと思いますから、これは要望ですけれども、十分に検討してもらいたいと思います。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 残食の処理、食べ残ったものの処理というのは、処分は、それは民間に委託しているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時28分 休憩

10時28分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長 給食センター、学校のほうで直接美化センターのほうへ納入させていただいております。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時29分 休憩

10時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 訂正させてください。給食センターの調理分については、直接美化センターのほうへ搬入をしております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ということは、自校式でやっているところについては、直接持ち込まないでという、処理はどういうふうなやり方しているのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

- 教育総務課長 自校式の学校につきましては、燃えるごみでごみとして出させていた
ただいております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 済みません。303ページですけれども、ふるさと給食週間、ふる
さと給食の日ということで、6月、また年10回というようなことなのですけれども、
これは地場産業、裾野市のものをというような感じですか、それともご当地とい
うような感じでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長代理。
- 教育総務課長代理 ふるさと給食週間及びふるさと給食の日については、静岡県内
産の産物を取り入れた給食の実施を行っております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） その上の家庭で不足しがちな栄養素の給食……ちょっともう一
回。地場産物の取り入れということがありますけれども、裾野市の地場産の取り入
れというのはされているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長代理。
- 教育総務課長代理 裾野市の産物としてJAなんすんのほうから農産物を購入して
おります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 具体的にはどんな農産というのはわかりますか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長代理。
- 教育総務課長代理 普通にジャガイモとかタマネギとかニンジンとか、そのような
ものです。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 済みません。伺います。303ページのところで、食物アレル
ギーの件で伺います。多分さまざまな食材が対象になると思うのですけれども、全
てとりあえずは対応ができているということよろしいでしょうか。ちょっと休憩
お願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時32分 休憩

10時32分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長代理。
- 教育総務課長代理 保護者の方と面接をいたしまして、給食で対応可能と判断した
方のみ給食で除去食を提供しております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 済みません。そうしますと、お弁当を持参している子供たちというのはどれぐらいいるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時33分 休憩

10時33分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

取り下げでいいですか。

○副委員長（岩井良枝） 済みません。今の質問取り下げます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 302ページで伺います。施設の整備の修繕5のところなのですけれども、物件というところでガス回転窯の修理というのが毎年どこかの学校で入っているのですけれども、これは定期的に修繕をしているのか、ではなくてもう壊れてしまうのか、それはどちらなのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長代理。

○教育総務課長代理 定期的にバーナーの修理等を行う必要がありますが、それを行っている場合と破損で修理している場合がございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 破損の原因というか、修理で何とかなる状況なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長代理。

○教育総務課長代理 回転窯の回転部分が破損している場合が多いので、そこは部品交換で対応しております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。同じページで小学校施設の備品の中で6番、千福が丘小で、給食室でルーファン取り替え工事ということで130万弱の金額かかっていますけれども、この内容をちょっと教えていただければ。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 こちらにつきましては、千福が丘小の給食室の天井にあるルーファン、2つあるのですけれども、そのうちの1つを取り替え工事を行っております。換気用のルーファンの交換です。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時35分 休憩

10時36分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 同じページ、302ページで6番、7番もか、小学校の施設の整備と設備の整備というところで、1点ちょっと気になるのが、29年度もなのですけども、向田小の施設整備と設備整備というのが実績として上がっていないのですけれども、ちょっと向田小2年連続という実績がないものですから、その辺って大丈夫というか、特に変えるものがなかったという認識でよろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 301ページの臨時職員数のところで伺います。この31人の中には29年度同様臨時栄養士さんは3人ということでよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時37分 休憩

10時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 栄養士は4名でございます。千福が丘小学校の栄養士が年度途中に交代しておりますので、その分で4名となっております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わりといたします。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 調書の306ページのセンターのほうの食物アレルギー除去食ですけども、それは何人分だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時38分 休憩

10時39分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 306ページに記載しております40名となります。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 運悪くアレルギーになってしまった場合の薬品とか、それから教職員への指導等はできていますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時39分 休憩

10時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育部長。

○教育部長 事前にアレルギーに関しては、先ほど安宅がお答えしたとおり……暫時休憩です。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時42分 休憩

10時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育部長。

○教育部長 アレルギーのお子さんについてエピペンを所持している子とか、そういう特に重篤な症状が出る子、その分については養護教諭を中心に学校内部のほうでも把握ができています。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 学校にも薬品は準備はしてあるのでしょうか、それから担任教諭への指導はされているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 一問一答なので。

○分科会外委員（小林 俊） 一問一答だけれども、3回目だって考えているから、これでおしまいだから。

○委員長（杉山茂規） 教育部長。

○教育部長 まず1つ、担任もその症状、確認はしております。エピペン、本人が所持しているもの以外に学校側のほうでそれを常時保健室等に備えているか、ちょっとそこについては、済みません。私今ここではっきりと明確な答えができかねるところです。

○委員長（杉山茂規） ほかは。

佐野委員。

○分科会外委員（佐野利安） では、1点だけ。305ページの10の借地料の状況です。この1年間550万ですよ。10年だと5,500万、あそこ給食センターも20年たっていますので、1億円ということになりますが、これに対して借地を購入するということは考えていなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時44分 休憩

10時45分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 現契約の満了日があと数年ということになっております。それも含めまして、地権者の方とお話はしております。ただし、今後……暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時45分 休憩

10時45分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

（何事か声あり）

○委員長（杉山茂規） 佐野委員、もう一回やりませんか。

（「再開で言ったっけか」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時45分 休憩

10時45分 再開

○委員長（杉山茂規） それでは、再開いたします。

ほかは。

二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） 済みません。やっぱり小林議員が質問した食物アレルギーのところをちょっと質問したいと思います。先ほどの答弁で養護教諭とか担任で学校内部の把握ということでございました。御課でもそれは全部把握しているということでよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時46分 休憩

10時46分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長代理。

○教育総務課長代理 アレルギーの対象者は把握しております。

○委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） 対象者でなくて、症状の出現する状況とか、摂取限界をこのくらいで超えるとかって、そういう個人個人の情報というのも共有してい

るのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長代理。

○教育総務課長代理 保護者と一緒に養護教諭さん、担任などと一緒に面接を行っておりますので、同じ情報を共有しております。

○委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） ありがとうございます。そうすると、その食物アレルギー疾患を少しずつでも治そうというような経口免疫療法とか今注目されているようなのですけれども、そういうようなものは学校での対応というのはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時47分 休憩

10時47分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長代理。

○教育総務課長代理 治療に関しては保護者にお任せしております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） 301ページと304ページ、関連していると思うのですが、賄い材料の関係で県学校給食会での部分ですけれども、内訳を教えてください。暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時48分 休憩

10時49分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 主なものとしては米、パン、牛乳を学校給食会から購入しております。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時49分 休憩

10時49分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） この学校給食会から仕入れる賄い材料ですが、給食セ

ンターの設備を拡充とかすれば削減できるような項目はあるのですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時49分 休憩

10時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

答弁を求めます。

教育総務課長。

○教育総務課長 学校給食会からの納入につきましては、適正に見積もり合わせ等をした中で購入を決めております。

以上でございます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時52分 休憩

10時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 改善できる部分はないと考えております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） お願いします。302ページの7番、学校設備の整備についてですが、西小学校の30年度の予算は前年度の3倍に膨れ上がっています。この中で西小学校が生徒が増え続けているのですが、それに対応する整備というのは何かできていますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時53分 休憩

10時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 特別支援学級が増えたことによって配膳台は増やしております。そのほかについては、特に子供の数によって設備を新しくしたとか、そういったことはございません。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 配膳台が今1つ増やして非常に窮屈な状況なのですが、これについて何か議論はしなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時54分 休憩

10時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長代理。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時55分 休憩

10時55分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長。

○教育総務課長 配膳台が増えたことによって若干スペースに問題があるという声は聞いております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） では、給食室の害虫駆除というか、ちょっとどこに入るかわかりませんが、それは十分な対応ができましたでしょうか、30年度。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 害虫が発生した折には対応はしておりますが、十分というか、未然に防ぐような対応は十分ではないというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） ほかいかがでしょうか。
岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 先ほど残食のこと出ましたけれども、実際に残食の調査の実施をされています。実際残食の量はどの程度だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 残食の率ということで、小学校ですと約1%、中学校ですと平均3%という数字が出ております。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） この割合ですけれども、これは減ってきているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時56分 休憩

10時57分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長。

○教育総務課長 残食率としましては、例年同じぐらいという数字です。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） では、小学校と中学校の数字の違いはどのように分析されていますか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 この小学校と中学校の残食率の差ですけれども、まず1つ、小学校が少ないということで考えられるのが、小学校のほうが給食時間が長いということが挙げられるかなというふうに思います。それと、中学校が残食が多くなってしまうということに関しては、例えばセンター方式ですので、どうしても回収する時間が決まっております。それまでに子供たちには給食を食べてもらうということで、そういったことで少し残る量が増えてしまうのかなということが考えられます。それと、やはり小学校から中学校に上がった時にどうしてもまだからだ小さい子もおりますので、中学校の生徒の給食の量がちょっと多いという子も若干いるようで、どうしてもそこで残食が増えてしまうという傾向があるようです。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で学校給食センターの質疑を終わります。

学校教育課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。調書の307ページから行きます。臨時職員数が30年度10名減りましたと、ページで行きますと、311ページですか、小学校の講師と中学校の講師と、あと学力の向上支援等の分が減ったというようなご説明で、子供さんが落ち着かれているというお話でしたけれども、その10名も減っている状況をもう一度ご説明お願ひします。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 確かに10名減によって、先ほどもちょっと説明をいたしましたが、学校の運営上、県費職員の数というのが限られているものですから、例えば単学級の学校ですと、学級担任以外に校長、教頭、教務主任しか教員はいません。養護教諭や事務職員はいますけれども、実際に指導に当たれる人数というのは限られておりました、そういう中で出張等があると非常に大変になってしまうという状況があります。ですので、単学級のほうからはなるべく数は減らさないような形で、大きな学校からその減員をいたしました。大きな学校もそんなに余裕があるわけではないので、確かに大変な部分はあるのですが、現在そういう中でお互いにカバーを合せてやっておりますし、個々の子供の状況についてはなるべく丁寧に接していただけるようなことで今やっております。なるべく組織対応で当たるというふうなことを基本にやっていますので、そういう面で教職員が結束して取り組んでいるという状況でございます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時33分 休憩

11時33分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 今の話で、職員のほうからは不平不満が出ていないということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 不平不満という声そのものは届いてはおりません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時33分 休憩

11時33分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 310ページ、学校災害給付ということで件数毎年100件以上、小中合わせると250件ですけれども、どんな災害が多いのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 主に体育の時間のけがであるとか、中学校におけると部活動においてのけが等が主なものになります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうすると、けがというのは転んだりとかすりむいたりとか、そういう程度の、骨折とかそういったものまで含まれますか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 基本的には病院にかかったものの給付という形になりますので、保健室で治療したものについてはここには含まれておりません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 発生件数と給付件数が差がありますけれども、1件に対して数名あったというようなことだと思うのですけれども、そうすると結構人数が大きい件数かなと思うのですけれども、その内容というのは。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 この発生件数と給付件数の差は、1件の事故とかけがに対して月をまたがっていくようなときに、それを複数回給付されるものですから、1人に対して複数給付されるものが含まれているというふうな、そんなふうな理解になります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 313ページですけれども、体育文化振興補助金事業ということで計上されているのですけれども、この中で東部地区大会以上の大会への出場というのは30年度あったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 東部地区大会以上のものになりますけれども……ちょっと暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時35分 休憩

11時36分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 市内全部では83件がこの事業の補助を受けました。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 暫時休憩でお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時36分 休憩

11時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 毎年このぐらいの件数、そういうような大会に出場されていますか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 例年大体同じぐらいではあるのですが、額が決まっているものから、その中で調整をさせていただいております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 307ページで、ちょっと戻って済みません。307ページ、小学校の教室というか、学級数、30年度学級数は小学校全体で5クラス増えておりまして、特に西小で2クラス、富一で2クラス、あとは南小で1クラス、あと支援学級、先ほど増加傾向であるという説明がありましたけれども、3クラス増えているような状況で、これは教室的には何か問題というのはあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 学校差はありますけれども、当然教室が増えれば、余裕教室の数が少なくなってきましたので、その辺を見越しながら先の年を見ながらその辺は考えて取り組んでおります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、現時点では問題ないという解釈でいいということですね。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 学校によっては余裕教室が少なくなっているために、少人数学習がしにくくなっているような現状がございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それについてはどういう対応というか、お考えなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 物理的には少人数学習に限られた教室しかできないものから、学年を特定したりとか、後はその分をTTで行ったりというふうな形で指導をしております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。次の308ページです。卒業後の進路状況ということで、その他が30年度4名と、ご説明では進路が未定ということなのですが、

この4名で何か進展というのがあったでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 その後の追跡ではこの4名のうち2人につきましては、高校の通信制や再募集等で合格をして、そちらに通っているというふうなことを聞いておりますが、2人については家庭のほうにいるというふうな状況でございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 308ページ、ほかの委員からもありましたけれども、進路未定、ほかの公共団体では、義務教育卒業後もアフターケアのような形で一貫して子供を見守っていこうというような体制をとっているところがいくつかあるのですけれども、先ほどその後通信制とか自宅とかって話で、特に学校側からその後に向けてアドバイスのような、ということはないのですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 学校としては、自分のところで通った生徒ですので、その後のことが気になるころではございますが、具体的な手だてというのはなかなかなく、相談をしたりというふうなことにとどまるのですが、子育て支援課や場合によっては病気であったりという状況には、背景にはあるものですから、その辺のところ障害福祉であるとか、その辺のところと連携しながら進めていきたいというか、そういうふうな形で情報共有をしてアフターケアをしていきたいというふうな状況でございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 別の件です。309ページの一番下に教職員の健康診断の結果がありますけれども、いわゆる働き過ぎと言われている教員ですけれども、そういうところから働き方改革というような言葉が出ていますけれども、この健康診断の結果からして、働き過ぎだというようなことが原因でって何か出てきている、そういう傾向のようなものはあるのですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 毎月時間外の勤務状況を管理職が把握して、それに対して面談等しますかということ、時間数が多い方については確認をしておりますが、昨年度1年間で面談等を希望された方はいらっしゃいませんでした。ただ、やはり医療にかからなければならないような状況にある方は勤務しておりますので、やはりふだんからのその辺のところは少しでも気にかけて時間外を少なくできるようにしていきたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 実際に先生で長期休暇、精神的なことも心のことも含めてですけれども、病気も含めて年間に何人ぐらいの方が去年あたりいたのですか、長期休暇者は。

- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 長期に関しましては、1名おります。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 特にではないですけれども、病気というものは精神的なものなのででしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 精神的なものです。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 310ページに、健康診断でも児童生徒の結果がありますけれども、その中で生活習慣病の検診で4年生が134名ということで非常に多いのはありますけれども、この生活習慣病の原因は何なのでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 ちょっと一概には言えないのですが、4年生の、特に男子に肥満傾向が強いというのがこの結果からは出ておまして、その辺のところでは食生活や生活改善を指導されております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 311ページです。先ほどの他の委員からもありましたけれども、臨時講師です。冒頭説明の中でもありまして、去年の当初予算のときに非常にこの件というのは前の委員会でもいろいろ十分に時間を要したところですが、ちょっと前提が長過ぎましたけれども、その中で児童生徒は落ち着いた生活をしていたというような表現ですが、それってどういう意味なのでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 これ単純な比較はできないのですが、他市町の様子を知っている教育委員会のほうのいろいろ訪問を受けたりするときに、裾野市の状況を見ていただいて、その方は他市町の状況も知っているものですから、裾野市、非常に落ち着いていますねということで授業の様子とか、ふだんの様子を見ていただいております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ということは、講師の人数が現実には多く減っているのですが、子供たちには直接の影響はなかったというふうな、そういう判断ということなんでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 その辺のところは何かしらの影響はもちろんあると思いますので、やはり人の数が少なくなっていることによって、子供を見る目の数が少なくなっているわけですから、そこは影響がないということは断じては申し上げられないところではございますが、結果的にまだというか、子供たちはその中でも落ち着いた生活ができていないかというふうに判断はしております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 課長の先ほどの説明の中でこの臨時講師の存在非常に重要だと、そのために今後も充実に向けて考えていきたいというような表現があったのですが、それは現在の人数を少しでも前のように、少しでも多くしてカバーしたいという、増員を図りたいというそういう意味なのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 単純に人数をもとに戻すというのは余り現実的ではないというふうには思っております、それよりも今の学校の課題に沿うような形で活用とか、あるいは職を切りかえていくとか、そういうふうな形での対応を考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ちょっと休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時47分 休憩

11時48分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 311ページの学びの森で教職員の質的向上を図るのにいろいろな取り組みをされていますけれども、同様な研修等については、都道府県がすべきではないのでしょうか、あるいは都道府県もしていると思いますけれども、不足しているからということなののでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 法令においても、これは県が行う研修に対して市、町も協力ができると、また市、町と県と協力して行っていくというふうなことがありますので、市としても研修は行っていくものと考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そうしますと、裾野市の取り組みは他の市、町に比較して平均以上の取り組みをしているということでしょうか、それとも平均より下ということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 単純な比較はできないと思うのですが、近隣市、町においてもこのような形で指導員を置いていないのは長泉町、清水町、長泉町も現在それに向けて取り組みをして、設置できるようなことを考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 314ページお願いします。不登校が非常に多くなって、おいおい増加しているのですが、この増加している理由というか、原因はこういうことなのだよというのは把握をされているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 個々の報告においては、その報告はあるのですけれども、ただ不登校になってしまった後にその理由を探ろうと思うと、なかなか真実はどうかの部分については、それは本当に正しいのかどうかというのは実際にはわからない部分も非常にありまして、その辺については報告はあるのですが、必ずしもそれが正しいかどうかということについては難しいところではないかなというふうに思っております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 先ほどの説明でいじめの件数、単純に比較できないよという説明ありましたけれども、普通考えるのは不登校といじめは非常に関連性が強いと思うのですけれども、いじめを減らすことによって不登校も減るというふうに私なんか考えるのですけれども、そういうような取り組みは現実にはされているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 いじめそのものにつきましては、先ほど申しましたように一つ一つ丁寧な対応をしております。不登校といじめとの関連というのは確かにはないわけではないとは思ってはおります。そのきっかけが何げない言葉によって学校に行きづらくなってしまったりというようなことはあるのかなと思いますが、現実的に報告数でそういうふうなことが上げられているのは現在中学校で1件あります。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 最後になります。315ページの奨学金のところですが、不用額361万2,000円、これは貸付金そのまま不用額にということですが、その貸付金の、逆に言うと予算化するときには希望等を把握して予算をしているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 その年度の新規の予算に関しましては、大学生を10人分というふうに試算をしまして、大学生の一人分が新規の場合に66万円、間違えました。660万円ですので、それを10人分という形で予算化しております。済みません。間違えてしまいました。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 訂正します。一人66万円を10人分の660万円を予算化しております。失礼しました。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 少しちょっとページ戻りまして、309ページで、西小の通級教室というのが人気あって、昨年度より、昨年というのが29年度より30年度は12名増えて39人という実績になっておるのですけれども、これは待機児童という部分ではど

のような状況なのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 昨年度は非常勤の県の教諭を1人15時間入っていただきまして、15時間分入っていただきまして、15人を見ていただきました。年度当初には待機につきましては、親御さんの送ってくださることができる曜日とのマッチングがうまくできなくて、数人そのような待機の子がいたというふうになっていると思います。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そういった状況で、昨年と言いますか、拠点を増やすということを目指すようなこともおっしゃられていたように聞いておるのですけれども、その点の進展というのは何かあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 今年度の話になってしまうのですが、今年度は富岡第一小学校に正規に通級指導教室を開きまして、そこで向田小学校をサテライトという形で行っていて、富一小学校を拠点に向田小学校にも行っていただいております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 310ページの児童生徒の健康診断なのですけれども、対象学年、受診者数とあるのですけれども、こちらは生徒100%が受診されたということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 当日欠席してしまっている児童生徒であるとか、あるいは長期欠席をしてしまっているような場合につきましては、保護者のほうに病院の受診のほうを勧めているような形で行っておりますが、当日来た子に関してはもちろん100%受診しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 当日欠席されたという方は、何かフォローと言いますか、検診をしていただくというようなことはやっているのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時56分 休憩

11時56分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 歯科と内科につきましては、再受診ができるような形で病院に行っていて、無料で検診ができるような対応をとっておりますが、眼科につきましては、数がちょっと少ないものですから、再受診対応はちょっとしておりません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 311ページの注の2のところになりますけれども、学校支援地域本部事業委託活動ということで、委託先はどのようになっていますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 これは、コーディネーターを通しまして、地域の人材活用が中心になっているのですけれども、なかなか地域にいらっしゃらない場合につきましては、外部からそこをつないでいただいて、学校に紹介していただいて行っております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうすると、窓口というのは一つのコーディネーターの団体があって、そこから割り振るような感じという考えでよろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 この実行委員会を設けておりまして、その実行委員会とスクールコーディネーターがおりまして、そのスクールコーディネーターの方がその実行委員会等に働きかけをして、そういうふうな学校のニーズ、要望に対して、必要な方を集めてもらうという、そういうような仕組みで行っております。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時57分 休憩

11時59分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 312ページの教職員の教育活動というところ、この活動というのは市単独の活動という認識でよろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 これ全て市単独の事業でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 受講するに当たっての資格というのですか、基準みたいなものというものはあるのですか。全員が受けるような授業なのでしょうか。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時00分 休憩

12時01分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

- 学校教育課長 それぞれ研修会名のところを見ていただけるとわかる部分もあると思うのですが、初任者研修会は初任者の方、二、三年目研修会は採用2年目、3年目の方、それからそれ以下のところにつきましては、教育機器研修会、それから生徒指導研修会はそれぞれの担当者、あとはごらんのとおり役職名の方が研修に参加します。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 済みません。313ページの4番、児童生徒活動への助成で部活動等の推進交付金と外部指導者というご説明がありましたけれども、こちらは何名分に当たるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 30年度は外部指導者が27人おりました。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） といいますと、1人幾ら、8万ちょっとか。1人幾らぐらいになるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 こちらにつきましては、時間800円で週4時間、27週分を計上しております、1人に対しては8万6,400円を上限にしてやっただいているのですが、その方によってはボランティアでそれ以上見ていただく方もいらっしゃいますので、またある期間しかできないという方もいらっしゃいますので、その辺については学校のほうの裁量でお任せしております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 314ページの5番の生徒間暴力なのですけれども、傾向というか、年齢的な傾向とかはありますか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 大まかな傾向としましては、1つはかっとして手が出てしまうという我慢ができなくて急に手が出てしまうというケースがあるのと、もう一つは最近では低年齢化しているというのが傾向にあります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 大体何歳ぐらいの子が結構暴力をされているのでしょうか。低年齢化というのは。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 ちょっと今即答ができなくて申しわけないのですがけれども、昔は中学年、4年生以上とかが多かったように思うのですが、最近はそれが3年生、2年生というのがケースとして出てくるようになったので、ただ上に上がれば全くないかというところという分けではありませんので、全般的に見られるようになってきたというのが最近の傾向でございます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時04分 休憩

12時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 309ページでお聞きします。ちょっと休憩……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時04分 休憩

12時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 西小学校の通級クラス、2クラスというのは今も続いていますか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 西小学校の通級指導教室は1クラスになりまして、その分を富一小学校のほうに移したというふうなことでございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） それでは、311ページ、先ほどから市講師のお話が出ていますけれども、30年度不登校の子供が83人に増えたという、その部分とこの講師の数が減ってしまったという部分という関係というのはあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 今の質問に対するものとして、講師が減ったから不登校、要は手が足りなくて、子供が見られなくなって不登校が増えたのだというふうなものを結論づけるものはちょっとないものですから、そうとは考えていません。不登校の要因にいろんなものがあるものですから。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） これ毎年新たな不登校の子を増やさないということで、市のほうでもやっていると思うのですが、その中身というところではどんな形で各学校に指導とか相談とかというのは具体的にやっていらっしゃるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 1つは、ふだんの様子から欠席があったときにすぐに対応して、続くようであれば家庭訪問をするというのは、どこの学校でもやっていることではあるのですが、ただそれだけではちょっと十分できないなくて、この結果にな

ってしまったので、今年度はこれを重点課題にして取り組んでおりますが、そこも説明したほうがよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 決算です。

○副委員長（岩井良枝） 30年度のとくに、昨年度のとくにも同じようなお話があったような気がするのです。もしその辺で30年度の取り組みしたけれどもまだ足りないというところがあるようでしたらば聞いていいですか、今。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 個々のケースです。とにかく新規の不登校を出さないようにということで、なるべく休んだ原因というのを早く把握して、解消してあげようというような取り組みはどの学校でもしてはきました。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 済みません。311ページ、学力向上支援員がある一定の成果が出たから、効果が上がったからということで30年度はなくなっていますけれども、そのある一定の成果が出たという、そこはどういうものでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 これ学力向上支援員ができた経緯が、ちょうど25年度に全国学力・学習状況調査の国語Aが小学生で非常に悪い結果が出て、これをあわせて県のほうも非常勤の講師をつけて各学校に取り組みを始めた分けなのですが、それに連動して市のほうでも学力向上を目指してということで取り組み始めましたが、それに関しての一定の成果が出たというふうに判断して、県のほうもこれを廃止しておりますので、縮小に伴って私たちもこれを取り下げました。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 学力テストに対応するということだったと思うのですが、けれども、学力を全ての子供たちが学力を向上させていくというところでは、これって大切な取り組みだと思うのですが、その点についてはどうお考えでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 まさにおっしゃるとおりで、学力向上に関しては、もちろん大きな目標ですので、学力向上支援員を下げたからといってもう学力向上はこれでいいというふうに考えているわけではございませんので、資質向上に関しては研修の充実等を図りながら取り組んでいるところでございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） その下のところで説明がなかったと思うのですが、業務委託、小中学校の結核精密検査委託をしているのですが、これが30年度かなり金額増えているのですけれども、どうでしょう。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 結核検診に関しましては、29年度と人数の差がありまして、ちよっ

と暫時休憩をお願いします。済みません。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時11分 休憩

12時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 29年度は4人が対象者だったところを30年度は13人だったものだから、その分の金額が増えております。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） ちょっと確認という意味で、いじめの件数が今回減っている理由の一つで、集計が間違いといいますかという話で、その間違いの中で件数、1人に対しての複数の件数も昨年度までは件数に入れていたのが、1人に対しては複数であっても1件というご説明があったと思うのですけれども、1,350件、30年度の、この件数は、ということは1,350人という意味合いでよろしいのですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 30年度は1,350人という計算になります。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時12分 休憩

12時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 その点につきましては、確認して再度報告いたします。

○委員長（杉山茂規） よろしいですか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 文字が小さいとか、欄が、ほかのところと比べて共通になっていないものですから、この次にはご努力ください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時13分 休憩

12時14分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けします。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 済みません。教えてください。先ほどから学力向上支援制度は廃止になったということですが、313ページに学力向上ボランティア事業これは支援員さんがボランティアになったということですか。内容の違いを教えてください。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 学力向上ボランティア事業につきましては、放課後、それから長期休暇、夏休み等に10日間程度の方を学校3人ほどボランティアの方をお願いして、その方に放課後の学習を見ていただいたり、長期休業中に子供たちの学習を見ていただく事業を行っているのですが、子供たちが大体宿題を見てもらったりとか、わからないところ質問したりなんていうことでやっています。その報償費という形になります。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 報償費の算定根拠は、どんなふうに算定しているのですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 1人2万円で、先ほど申しした日数をやっていたいているものに対する報償費です。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） これで最後です。支援員さんがなくなって、ここの部分でフォローするのですけれども、これをもっと有効に膨らませようとかいう、議論はなかったですか。もっと有効に広げていこうとか、増やそうとか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 これにつきましては、今現在も模索しているところで、先ほど申し上げた学校支援地域本部事業の一環でその中に包括的にそういうふうな、ちょっと名前は忘れてしまったのですが、県の寺子屋事業というのがありまして、そちらのほうにのつけられないかなと思って、今模索しているところでございます。

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の質疑を終わりいたします。

以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で学校教育課の質疑を終わります。

学校教育課（答弁漏れ、答弁訂正） 令和元年9月19日（木） 9時01分～

○委員長（杉山茂規） 教育総務課及び学校教育課より答弁漏れ及び訂正について発言の申し出がありましたので、これを許します。

○委員長（杉山茂規） 次に、学校教育課長の説明を求めます。

学校教育課長。

○学校教育課長 学校教育課から本分科会での質問への回答と訂正をいたします。

まず初めに、主要事業事務調書314ページをごらんください。左上の表5、いじめの件数はいじめられた子供の人数と一致するかという浅田委員の質問への回答です。平成30年度途中でいじめの認知件数、報告件数の数え方の方法に誤りが認められたため修正をしましたが、結果的には全てを修正しきれませんでした。本来はこの件数はいじめを受けた子供の人数と一致することになります。

次に、訂正をお願いいたします。市の講師数が減少したことへの影響を浅田委員から質問を受けましたが、その回答で10人の講師が減少したと答えてしまいました。が、数は11人の誤りでしたので、訂正いたします。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長の説明は終わりました。

委員の皆様、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で答弁漏れについて終わります。

生涯学習課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） それでは、よろしくお願ひします。調書の316ページで、キャンプ場の管理費の中の1番、利用状況、まずは30年度のかかり利用人数が増加した状況でありますけれども、その多くなった理由というのは何かございますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 30年度につきましては、30年度で最終年度ということで、告知させていただいたことによる今まで使っていた方が来ていただいたという部分もあるかと思ひます。それからもう一つが、平成29年度がクマ騒動と、それから台風の影響で少なくなっていたことによる反動というところがあると思ひます。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 今告知されてという、リピーターといひますか、来ていただいたというような話もあったのですが、廃止になることによって、キャンプ場がなくなって寂しいとか、できたら続けて、どこか別の場所とか、そんな要望等とかは市民からはあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 お声としてはいくつか伺っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そういった声で何か計画と言ひますか、考えというのは今あるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらにつきましては社会教育施設というふうな目的でもってつくられたもので、これにつきましては、以前もご説明させていただいたことございませうが、社会教育団体等の利用が大分少なくなっておりまして、私どもとしましては、目的につきましては完了したというふうにご考へております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

暫時休憩します。

13時47分 休憩

13時48分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 社会教育としてということですが、告知されて一般のお客様、29年度アンケートをとったという結果もさることながら、告知があつてから

新たにあったかと思うのです。その辺のところお聞かせ願いますか。お客さんです。
どんな……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時48分 休憩

13時48分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 主にやっぱりさみしいというふうな意見でございました。続けても
らえるとありがたいけれどもなというふうなところではございました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 部長にお伺いします。その辺を聞かれて社会教育という面あり
ますけれども、市としてやはりちょっとそういうところがあったほうがいいという
お考えはないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育部長。

○教育部長 先ほど生涯学習課長もお答えしましたとおり、当初のそこの設置目的が
社会教育施設としての設置、当初は小学校とかいろんな各種社会教育団体の利用も
あったのですけれども、もうここ数年そういう利用がほぼないに等しいような状況
なものですから、観光目的としますと、周辺に類似の施設はあるということで、代
替の施設はあるということで、市として観光目的としての施設の維持というのはち
よっと難しいかなということで最終的には閉鎖という方向になりました。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時49分 休憩

13時50分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） その件わかりました。

次、316ページの4番で、貸しテントというのがあるのですけれども、これは幾つ
ぐらいテントがあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時50分 休憩

13時50分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） その在庫というのが今回廃止になって、その後はどのような扱いになるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 まだそこについては、最終どうするかというところは決まっています。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
浅田委員。

○委員（浅田基行） では、次で、5番、6番かな、借地と、借地料30年度で廃止になったということで、補償金も30年度で終了という形でよろしかったでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 はい、おっしゃるとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

（「ちょっと訂正させてください」の声あり）

○委員（浅田基行） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 借地料、補償料につきましては、本年度で終わりでございます。31年度、令和元年度で終わりでございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
浅田委員。

○委員（浅田基行） 318ページの青少年教育関係の各種団体の活動状況ですけれども、まず、ごめんなさい。これ昨年度で行きますと、回数というのが記載されていたのですけれども、30年度って回数というのはわからない状況といたしますか、記載がなかったのですけれども。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時52分 休憩

13時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。
生涯学習課長。

○生涯学習課長 本年度につきましては、済みません。記載しておりません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 補助金で回数という影響というのはなくということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちら補助金をお出ししている団体につきましては、それぞれ担当と代表者の方で常に連絡取り合いながら事業を進めていただいておりますので、そのあたりのフォローはできているのかなというふうには考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

- 委員（浅田基行） その辺はしっかりやられているという認識でよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 ええ、やっております。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時55分 休憩

13時56分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
浅田委員。

- 委員（浅田基行） 回数含めてですけれども、しっかりちょっとやっていただくようにお願いします。

ちょっと次行きます。その下の青年教育事業の1で、活動内容として、今回30年度は補助金なしというお話でしたけれども、29年度の事業として割と95名が参加するという、大きい事業をやられている実績があって、30年度はなぜなかったのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 平成30年度につきましては、青年団体連絡協議会として、補助金を使っただけの主催事業というのは行っていなかったとは聞いておりますが、ただ何も活動していなかったというわけではなく、他団体と協力して事業を進めていたという形で聞いております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） それでは、補助金の申請がなかった理由に、他団体とも……暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時58分 休憩

13時58分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
ほかはいかがでしょう。
- 勝又委員。

- 委員（勝又 豊） 済みません。確認なのですが、ちょっと休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時58分 休憩

13時59分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） これもちょっと……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時59分 休憩

14時00分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 325ページなのですけれども、補償料のところでは岩波風穴の道路踏み荒らし補償料ということで記載があるのですけれども、これは何を踏み荒らしたものの補償料なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 岩波風穴が私有地を歩いていけないところがございますものから、その通り道に当たる地主の方に対する補償料でございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうすると、何か通行料みたいな形ですけれども、芝生を植えてあって、その芝生が踏み荒らされたとか何か作物を踏み荒らされるという意味ではなくて、通行料みたいな感じで、解釈でよろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 そういった意味合いもございますし、お客様が通るということで、清掃等もしていただいておりますものから、それに対するお礼ということも含まれております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 322ページです。30年度から指定管理という形でスタート切ったのですけれども、利用状況の実績を見ますと、29年度と比べて利用数も、利用率も全体的にちょっと下がっているように感じるのですけれども、指定管理したというところでの成果といいますか、サービスを含めてどうだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 利用状況の減につきましては、先ほど説明の中で申し上げた文化センターとの休館日の調整によりまして、文化センターは開館日が増えたのですけれども、生涯学習センターは開館日が減っております。以前は、月曜開館を施行していたものですから、今よりも多かったのですけれども、今第2、第4月曜日休館としたことによって、その部分お客様減っているところもあるのかなというふうに思っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。そういう条件をつくったというのはわかりました。

指定管理したメリットを教えてください。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 指定管理にしたことによりまして、開館業務、29年度までは私どもがおのおのの担当業務をしながらお客様が来たときにそれぞれ気がついた者が対応するというふうな形をとっておりました。これが受け付け業務専門の方を置いたことによりまして、より市民の方にきめ細かなサービスができるようになったかなというふうには感じております。それから、やはり民間の方というところで、なかなか私どもでは思いつかなかったり、思ってもなかなか実行には移せないようなところを即アイデア、実行していただくようなところもございますので、総じてお客様の声なんかも聞いているところではいい人たちが来てくれてよかったねというふうなところは聞いております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 今おっしゃられたところで、今29年度が職員でやられていたと、指定管理になったという金額的に何か指定管理がすごく高いようにちょっと見えるのですけれども、そんなことはないですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 29年度から私ども30年度になるに職員が2人減っております。その部分の人件費も含めると恐らく指定管理にお願いしたほうが安いような金額になると計算しております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 328ページの恋来い支援センターの成果、今年度は……成果をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 休憩よろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時06分 休憩

14時06分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 平成30年度の成果といたしまして、カップル数といたしますか、お付き合いに至った件数が9件ございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 29年度と比べてどうなのでしょう。

（「休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時07分 休憩

14時07分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
生涯学習課長。

○生涯学習課長 平成29年度は24件でございます。
（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時07分 休憩

14時08分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。
勝又委員。

○委員（勝又 豊） 329ページの男女共同推進事業の中で、一番最後のところですが、総合計画で仕事と生活の調和のワークライフバランスこれの周知度によって目標達成というようなことを周知、見ているのですけれども、その理由をちょっと教えてください。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 ちょっと休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時08分 休憩

14時09分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。
生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは、静岡県のほうでこのワークライフバランスというものの周知という部分が重点目標になっておりますので、そちらに合わせてという形でございます。

○委員（勝又 豊） 意味合いはという。

○生涯学習課長 意味合いですか。休憩でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時09分 休憩

14時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 316ページの委託料の中に、建物に関する不動産鑑定という表現ですけれども、内容教えていただけますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは、キャンプ場の上物、建物の部分につきまして、今後もし譲渡というふうなことになった場合ということでございます。内訳につきましては、避難棟を除いたもの全てになっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） このもしも譲渡というのは、建物だけはほかに移動して譲渡という、そういうことなのですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 底地は振興会さんのほうにお返しいたしますが、上物につきましては、市の所有物になっておりますので、契約上は壊して更地にして返すことになっております。ちょっと休憩お願いしてよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時12分 休憩

14時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
暫時休憩します。

14時13分 休憩

14時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは、もし上物につきましてお譲りするよというふうなことになった場合に備えて不動産鑑定入れたものでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 317ページの社会教育管理費ですけれども、社会教育委員会の中に提言として市の未来につながる地域コミュニティーづくりに対する調査研究というのですけれども、どういう調査をして、最終的な提言までもう結びついているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらにつきまして、2年間社会教育委員会の中でご協議いただきまして、提言までしていただいております。提言の主な内容としましては、市内の各地に地域コーディネーターというふうな役職を置いて、それで裾野市の各地域を盛り上げていったらどうだろうというふうな提言をいただいております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

- 委員（土屋秀明）　そういう提言をいただいて、具体的にどうしようかというところはこれからですか。
- 委員長（杉山茂規）　生涯学習課長。
- 生涯学習課長　提言の中では市費でもって置いたらどうかというふうなところも含まれていたのですけれども、なかなかそのまま実現するということは難しいものですから、今現在新たな社会教育委員さんが今年度、来年度と2年任期で務めていただいているのですけれども、その中で、彼らが目指しているところ実現するためには具体的にはどういったところをしていったらいいのかというところをさらにもんでいただいております。
- 委員長（杉山茂規）　土屋委員。
- 委員（土屋秀明）　318ページお願いします。少年教育事業ですけれども、ここに地区の子ども会の呼称等がありますけれども、聞くところによると、市子連そのものが非常にかつてとは大きく変わって市子連イコール西地区の子ども会だけのような実態だというのですけれども、それは間違いなことなのですか。
- 委員長（杉山茂規）　生涯学習課長。
- 生涯学習課長　西地区子ども会というのは別でございますが、中に市子連の加盟団体というのは今確かに西の子ども会のみになっております。
- 委員長（杉山茂規）　土屋委員。
- 委員（土屋秀明）　現状はそういうことなののですけれども、それは好ましいことなのですか。
- 委員長（杉山茂規）　生涯学習課長。
- 生涯学習課長　私どもとしましても、好ましいところとは思ってはおりません。ちょっと休憩で。
- 委員長（杉山茂規）　暫時休憩します。

14時16分　休憩

14時17分　再開

- 委員長（杉山茂規）　再開します。
ほかはいかがでしょう。
土屋委員。
- 委員（土屋秀明）　ほかの子ども会が連合から抜けたというにはそれなりの理由が当然ある話ですけれども、それでのそういう理由はもう既に確認をされているのですか。
- 委員長（杉山茂規）　生涯学習課長。
- 生涯学習課長　役員の引き受け手とか、いろいろ話は聞いてはいるのですけれども、そこを解決するところには至っておりません。
- 委員長（杉山茂規）　土屋委員。

○委員（土屋秀明） 321ページに行きます。右下にまちづくりの出前講座ありますけれども、このメニューがいくつか入っていますけれども、具体にはこのメニューを示した中で市民側のほうから出前講座の要望を受けているということなのですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 はい、おっしゃるとおり、市民側のほうからこういった授業をということで、指定してこられるところでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） これより別のものはもし希望があった場合にはそれに応じてはいるのですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 お受けできるリストというのをつくってございまして、その中からお選びいただくような形になっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 大きいタイトルがまちづくりですから、必ずしもここにあることがまちづくりの先に向けてと言うと、もっとほかのものもあってもしかるべきだと思いますから、またこれからの中でできる要望があるならば、広げてもらいたいと思います。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 323ページに先ほどちょっと指定管理の話が出ましたけれども、一番下に総合計画の達成目標がありますけれども、16.1%でこれが目標値に達しないのはなぜかというのは把握はしているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちら、市民意識調査のほうから数字を引っ張ってございまして、当然生涯学習センターを利用されていない方も当たるものだろうなと思っております。なので、どうしても数字というのは低目になってしまうのかなというところございますが、なるべく一度でもまずは利用してもらえようなところから考えていきたいなとは思っております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 327ページに特定財源がありますけれども、これ協働推進事業、特定財源が2種類がありますけれども、この特定財源で行った事業は2番の委託業務の中ということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時20分 休憩

14時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
生涯学習課長。

○生涯学習課長 まず、地域協働促進助成事業につきましては、新しい公共を担う活動主体育成事業でございます。それから、地域コミュニティ活性化事業につきましては、地域づくり学習会でございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 329ページの男女共同参画の4番に各種の委員会への女性の登用率ですけれども、ここで言う委員会というのは行政側の委員会ということですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 条例や要綱で設置されたもので拾ってございますので、そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ~~男女共同参画を掲げて久しいのですけれども、行政に関する委員会でしたら、率を上げるのは簡単とは言わないでしょうけれども、もう少し率は上がっているのではないですか。~~

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 なかなか実際に……ちょっと休憩でお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時22分 休憩

14時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

取り下げでいいですか、今のは。

○委員（土屋秀明） いいです。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 330ページに富士山資料館の管理費があります。行財政改革の中でも向こう3年間で資料館の休止、廃止ではなくてたしか休止、休止も含めて検討するという事になっている、その初年度が30年度だったのですけれども、具体的にどのような検討をされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 30年度につきましては、具体と言えるほどの検討までには至っておりません。休憩お願いしてよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時23分 休憩

14時25分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○委員（土屋秀明） 30年度は、具体の検討はしていないということですが、これから先の中で休止するしないの判断は何をもってするかというのはこれからと

いうことでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 休止するかしないかという判断につきましては、私どものほうで関係団体の意見を取りまとめて、上に伺い、最終的には市長がするのかなというふうには思っております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 最後の項目です。332ページの文化センターの関係ですけれども、文化センターの利用状況を見ますと、1年前に比べるとトータル的には人数が非常に増えています。2番の利用状況のトータルのところですが、ただ、見る限りはエントランスホール、ここが3万5,000人ぐらい増えたのがそのまま合計の影響しているのですけれども、休憩でお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時27分 休憩

14時27分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 大ホール等を利用してのいわゆる民間が営利で興行を打つような、集客を図るような事業というのは、あれはどこが選択をするのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 指定管理者のほうにする形になります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 近隣の市、町に比べるといわゆる名前が通っている、注目しやすいような人の興行のようなものが裾野は少ないような気がするのですけれども、それはお感じですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 なかなかそれぞれの皆さんの主観のところにもあるので、難しいところではありますが、どんな人を呼びたいかというふうな部分につきましては、指定管理者のほうからも市のほうに一応要望はあったらばなんていうところもいつも言ってくるものですから、とは言っても呼べる、呼べないというところあるのですけれども、そこのところにつきましてはなるべく集客につながるような方をとるところで今後も要望していきたいと思っております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） これは勝手な私の考えですけれども、来年度裾野市は市制50周年ですよね。違う、50年ではなかったか。

（「2021年」の声あり）

○委員（土屋秀明） 再来年ですか。いわゆる注目するNHKののど自慢のようなど

ころが放送、各市、町のそういうときにあってですけれども、それに対して、も含めて事前に、事前にアプローチをしてほしいのです。終わります。

○委員長（杉山茂規） 答えなくてよろしいですか。

○委員（土屋秀明） いいです。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 333ページの吹奏楽フェスティバルに対することですが、ちょっと暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時29分 休憩

14時30分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 今年度ライオンズさんと共催になって、今回企業が出ていますけれども、その辺の経緯をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

暫時休憩します。

14時30分 休憩

14時30分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちら、ライオンズさんのほうから話はあったのですが、話があったというのは市と一緒にやってくれないかというふうな話があったのですが、なぜそこに乗ることができたかというふうなところにつきましては、平成29年度まで公共ホール音楽活性化事業ということで、通称音活というクラシックに親しむための事業をやっておりました。財団法人地域創造というところから補助金をもらっての事業で、その事業を行っていたのですが、それが平成29年度が最終年度でした。なので、それにかわる事業ということでちょうどこちら吹奏楽フェスティバル、音楽関係のイベントが一つあいたところだったので、一緒にやろうというふうな話になりました。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 補助金がそうするとなくなったという理由だとすると、来年度も同じような形で負担していくのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 令和元年度ということでよろしいですね。

- 委員（勝又 豊） そうです。
- 生涯学習課長 はい。今年度も予算化してございます。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時32分 休憩

14時32分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
ほかはいかがでしょうか。
浅田委員。

- 委員（浅田基行） 328ページの主要事業6のきれいなまちづくり推進事業なのですが、けれども、30年度17団体がこの中で補助金をいただいているのですが、まず団体で見ますと、さまざまちょっと金額が違うのですが、これはどういった補助金に基準といたしますか、単価といたしますか、どういった形で決まっているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時33分 休憩

14時33分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
生涯学習課長。

- 生涯学習課長 面積ごとになっておりまして、300平米未満のときは初年度5万円、2年度以降1万円、300平米以上600平米未満の場合は初年10万円、2年度以降が2万円、600平米以上は初年15万円、2年度目以降が3万円ということでございます。ただ、31年4月1日要綱改正しておりまして、2年度以降の金額はここからもう少しアップしております。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。

- 委員（浅田基行） わかりました。31年どのぐらいアップしているかというののわかりますか。

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時34分 休憩

14時34分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
生涯学習課長。

- 生涯学習課長 300平米未満が1万1,000円に、300平米以上600平米未満が2万2,000円に600平米以上が3万3,000円でございます。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。

- 委員（浅田基行） 次行きます。同じような、7番、パートナーシップ事業なので

すけれども、まず最初、済みません。29年度の7団体、171万6,768円と記載されているのですが、これって正しいですか。私が調べていくと昨年度143万4,648円という記載があるのですけれども……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時35分 休憩

14時35分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 大変失礼いたしました。訂正させていただきます。143万6,768円が正しいです。訂正いたします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時35分 休憩

14時36分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 訂正わかりました。

パートナーシップの7事業ですけれども、こちらさっきの6番と同じ形なのですが、補助金でさまざまちょっと金額が違うのですけれども、この理由は何でしょう。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時36分 休憩

14時36分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは、おのこの事業費に対してということでございます。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時37分 休憩

14時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 失礼しました。12万5,000円未満の場合は補助率10分の10以内で、補助限度額が10万円でございます。

○委員（浅田基行） そういう基準があるということですか。

○生涯学習課長 はい。それで、12万5,000円以上の場合は補助率が10分の4以内になりまして、限度額が50万円になります。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時37分 休憩

14時38分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 終わったということでもいいですか。

○委員長（杉山茂規） 終わりました。

浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。この事業そのものというのが3年間の時限つきという形で目的というのが自立するということなのですからけれども、3年が過ぎてこういう補助金なしでもやられている事業ってあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 この中で言いますと、2番目の商工会女性部のエコマルシェさんなんかは今年度も継続してやっています。休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時38分 休憩

14時39分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

○生涯学習課長 訂正でいいですか。

○委員長（杉山茂規） 訂正をお願いします。

○生涯学習課長 ございます。

（「休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時39分 休憩

14時39分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時39分 休憩

14時40分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 指定管理になって、生涯学習センターの中で改善されたことというのは何ですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 改善されたことございますよね。ちょっと休憩……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時40分 休憩

14時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
生涯学習課長。

○生涯学習課長 ソフト面につきましては、講座の部分なんかで言いますと、初年度ということがあり、手探りの部分ございましたが、年度改まっていますが、今年度につきましては昨年度よりも大幅に講座が増えている等改善が見られております。ハード面につきましては、デジタルサイネージなんかを採用してもらいまして、利用者の方のサービス向上しているというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 332ページのところで、文化センターの利用状況のところなのですが、総合計画の達成目標32年度までに20万ということで、現在達成をしているのですが、利用率と利用者数のところでこの達成者数でいいのかと思うのですが、そのところはどのように考えていらっしゃいますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは、既に達成しているというところで今後新しい目標を設定する際にはもう少し上の数字になるのかなというふうには考えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） その数字というのは大体どれぐらいで設定をするお考えでいますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 正直まだそこまでは考えておりませんが、ほかの数字の設定の仕方なんかも参考にしながら目標を設定したいと思っております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 今のところわかりました。

327ページで伺います。まず、新しい公共を担う活動主体育成事業なのですが、講座を開かれています。毎年のごとで申しわけないのですが、受講人数なのですが、ここにあるのは延べ人数だと思うのですが、実人数としてはどれぐらいだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時46分 休憩

14時46分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 実人数につきましては、集計しておりません。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） それでは、30年度の対象者は。対象はどのような方を対象にしていたか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時46分 休憩

14時46分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 対象につきましては、どなたでもということでございました。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 広報の仕方、募集なんかはどのような形でやっていたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 広報紙、報道提供、それからウェブの、市の公式ウェブページ、それから市民活動センターのほうでやっております、ちょっとごめんなさい。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時46分 休憩

14時46分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 市民活動のほうでメール配信しておりますスマイルというもの、それから回覧のほうも市内、各させていただいております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 平成29年度が子育て世代の方を対象に講座を行って、延べ

130人で実人数が73人ぐらいだったと思うのです。今回は全市民の方というか、もっと幅広い方を募集をかけて、延べ人数95人ということで、この講座、これもう30年度で終わりでしたっけ。

(「新しい公共、今年度まで」の声あり)

- 副委員長(岩井良枝) 今年度までですか。ということで、結局これ委託ですよ。ということで、この部分というのがどれぐらいの効果ではないですけども、あったのかなというところ、とてもこれわからないんですけども、そのところはどうか評価されていますか。
- 委員長(杉山茂規) 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 昨年の平成30年度のこの事業につきましては、主に目指していたところが今活動をしている団体さんがどのように活動を継続をしていくかというふうなところも1つの大きなテーマでやっていたんですけども、結果受けていただいた95人中でちょっと一緒にグループなんかも組んだりして、今5団体ほど活動は開始され始めています。そういったところからだんだん、だんだんとこの講座を受けた方々から受けていないのだけれども、その方々に影響されてこういう活動というのが広がっていければなというところが芽が出始めているのかなというところが実感しております。
- 委員長(杉山茂規) 岩井委員。
- 副委員長(岩井良枝) それでは、今つくられてきている団体さんがあるということなのですけども、主にどのような中身の団体さんが活動を開始しようとしているのかということをお教えいただけますか。
- 委員長(杉山茂規) 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 1つがオセロでもってまちおこしたいというふうな団体さんがありまして、オセロで皆さんで交流しましょうなんていうのをやっている方たち、それから民話の紙芝居をつかって、東中の美術部と一緒に民話の紙芝居をつかってなんて団体さんもあります。それから、今大分ここ数年話題になっています子ども食堂をやってみたいという方がいらっしゃいまして、それが近々平松のほうで子ども食堂を開くというふうなところまでこぎつけそうだよというところは聞いています。
- 委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

14時51分 休憩

14時51分 再開

- 委員長(杉山茂規) 再開いたします。
岩井委員。
- 副委員長(岩井良枝) そういう形で活動が始まっていますということなのですが、この講座をやったことに関してこういう効果が出ていますというのが私たちの審査

の中に全くわからないとどうなっているのという部分が出てきてしまうものですから、そこのところは教えていただければと思います。

それで次ですが、間違っていたらごめんなさい。委託業務のところでは市民活動センター運営事業委託ということで、これは市民活動センターが今やっていることの事業の委託ということですか。つまり前に入札か何かで事業者さん選んでいなかったかなと思ったのですが、その辺どうでしたっけ。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時52分 休憩

14時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 平成28年にプロポーザルでもって選定されまして、その後随契で、今年度につきましてまた新たにプロポーザルし直しております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「ちょっと委員長交代でいいですか」の声あり）

○副委員長（岩井良枝） 委員長交代します。

杉山委員。

○委員長（杉山茂規） 1点だけ教えてください。332ページの文化センター費のところになります。先ほど利用実績というところの中でエントランスホールだけ利用日数が昨年が97日に対して、2万2,225人、30年度が、昨年、おとし、30年度が90日に対して5万8,619とかなのですが、この増の理由は何かだけ教えてください。

○副委員長（岩井良枝） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 休憩をお願いします。

○副委員長（岩井良枝） 暫時休憩します。

14時53分 休憩

14時54分 再開

○副委員長（岩井良枝） 休憩を解きます。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらにつきましては、マルシェ等のイベントが30年度いくつか開催されましたので、そちらの人数が多くなっております。

○委員長（杉山茂規） あと関連して1点なのですが、暫時休憩をお願いします。

○副委員長（岩井良枝） 暫時休憩します。

14時54分 休憩

14時54分 再開

○副委員長（岩井良枝） 再開します。

杉山委員。

○委員長（杉山茂規） 文化センターと生涯学習センターが指定管理になるに際しまして、利用者にメリットということでどちらの施設でもどちらの施設を相互に予約ができるよという話があったと思うのですけれども、その辺は今どうなっているかというところをお願いします。

○副委員長（岩井良枝） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 どちらの施設でもどちらの施設も予約できるようになっております。

○副委員長（岩井良枝） 交代します。

○委員長（杉山茂規） 委員長、戻ります。

ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 338ページ、9ページ、体育施設費です。9ページの（3）、運動公園利用状況の陸上競技場がありますが、これ競技が幾つかあると思うのです、その内訳わかりますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 恐れ入ります。わかりません。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時55分 休憩

14時56分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 今手元にはございません。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 陸上競技で使うときには写真判定装置とか、コンピューターいろいろ使うのですが、設備にかなり使いにくいというか、古くなっているのですが、そのあたりは生涯学習課と指定管理者との連絡、どういうことになれば更新しようというふうなことになるという、そのあたりの現場を把握してよくするのはどんなふうなこと、システムになっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 現場で壊れたよとかいうときには指定管理者さんのほうですぐ手配

ができるものだったらばいいのでしょうけれども、そうでないものについては私どもの方にご相談があるようになっております。それで、どうしていこうかというのを話ししながら進めることになっております。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） これ決算なのですけれども、決算、要は30年度でもかなりいろいろ現場で手こずりながら四苦八苦して運営していますので、使いやすい競技場でないと使ってもらえないので、何とか頑張っていたきたいのですけれども、どうでしょう。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 施設の更新につきましては、ちょっとまた庁内でも見ながら進めていきたいなと思っております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） それでは、325ページの富士山世界遺産関係についてお伺いします。世界遺産登録以前に比べるとかなりトーンダウンしているのですけれども、この会議が1年に1回という会議がたくさんあります。本当にこれで機能しているのか、だから決算と予算やって終わり、また次も決算と予算、これで機能しているのかどうかお伺いします。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 世界遺産関係の会議につきましては、毎年ここに載っている回数としては、これは正式な部会とか、協議会の回数ですので、この回数、毎年同じ回数なのですけれども、I COMOSに対する報告書や何かの協議ございますので、結構がつつりとやっております。今でもやっております。それから、ここに書いてある中で私どものほうが地元として直接かかっているところとしましては、一番下にあります裾野市民協議会、富士山世界文化遺産裾野市民協議会でございますが、こちらはもともとは世界遺産登録のために組織された団体なのですけれども、今現在ほかの自治体についてはもう既に解散しているのですが、裾野市についてはあえて残して今後も活動していこうというところで一生懸命活動してござっております。ここに書いてあるような、先日土曜日も富士下山というふうなイベントをやったばかりでございますし、ことしについてはちょっとまた新たに広げていこうということで外来植物の被害がたくさん大きくなっているんで、そこを一つのテーマに絞ってやっていこうなんて話もあります。総じていろいろそれぞれに活動しているということでご理解いただければと思います。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） その点わかりました。

それでは、335ページの8番の地区体育委員補助金なのですけれども、これ金額がバランスがそれぞれ違うのですけれども、その公平性の観点からこの金額の格差と

かいうのは何も問題にならないのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらにつきましては、毎年こちらからお願いする部分もあるのですが、前年の実績をもとに各地区の体育委員さんたちと協議しながら決めさせていただいております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 暫時、ちょっと休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時01分 休憩

15時01分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 地区によって地元からの組み入れ金と合算して使える地区があります。その合算して使える地区と使えない地区の把握はしていますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 実績報告をいただいておりますので、把握はしております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で生涯学習課の質疑を終わります。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもって散会いたします。

15時02分 閉会

令和元年9月19日（木）

9時00分 開会

鈴木図書館

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。

調書の342ページの予算額が昨年度よりちょっと予算のほうが多かったと思うのですが、逆に多いのですけれども、支出と、または不用額というのがちょっと増えていて、執行率が昨年度より下がっているかと思うのですが、その要因は何でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 30年度は、工事のほうが主なものを占めておりましたので、その分で流用とかもしまして、やりくりをした結果このような形になりました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 暫時休憩願ひます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時26分 休憩

9時31分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 先ほどの工事等が多くなったというところにつきましては、訂正をさせていただきます。申し訳ございません。予算額が増えた中で不用額が多くなったという点については、各項目ごとの中で不用額が増えてしまいまして、このような金額になっております。例えば負担金につきましても昨年よりも10分の1に減っている部分がありまして、このような積み重ねて執行率が低くなってしまったと思ひます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件わかりました。いいですか。

○委員長（杉山茂規） どうぞ。

○委員（浅田基行） 343ページの除籍した本が30年度26冊ということで、ご説明の中で最終的に整理がちょっとできなかったという説明がありましたけれども、そのできなかったというか、間に合わなかったというのは何か理由があるのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 除籍をするには1カ月ほどかかります。選定をするのにこの本を除籍しようという選定をするのに半年近く要します。600冊ほど準備を進めておりましたが、処理が間に合わなかったということになります。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） それは、そもそも納期といいますか、決まる計画がまずかったということですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 除籍するための資料を、破損したものとか、これはもう古くなって読まないだろうというものを選ぶのですが、それを各分野、一般書だったり、児童書だったりというので選ぶのに各担当が選んだ後に、また皆さんで決めるのですが、それに時間を要したということになります。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時34分 休憩

9時34分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 予定より計画どおりには進まずこの数字になってしまいました。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

9時35分 休憩

9時36分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） では、その今回除籍できなかったことに、実績が26という結果になったのですけれども、できなかったというのは影響ってどうなるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 図書館の中の書庫のスペースがあかないものですから、本の配置に少々影響が出ます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 343ページの不用額が857万という金額で、これは理由は何でしたっけ。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 済みません。暫時休憩……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時38分 休憩

9時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 不用額につきましては、大変申し訳ございませんが、訂正をお願いいたします。120万8,648円の不用額となります。訂正をよろしくお願いいたします。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 同じページです。県補助金のふじのくに少子化突破戦略応援事業補助金、この金額が前年度よりも減額になっているのですけれども、ちょっと説明をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時42分 休憩

9時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館副参事。

○鈴木図書館副参事 29年度は10月から事業をスタートしましたので、半期分の事業費になっておりました。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。ここの屋上緑化推進事業の水道負担金というのはこれは収入って考えてよろしいのでしょうか。その理由を、済みません。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 公民館の3階に……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時44分 休憩

9時44分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育部長。

○教育部長 3階の屋上に薄層緑化工法、こちらのほうの試験補助がありまして、こちらのほうの水道代を負担いただいているというものです。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） これは、どこからいただいているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時44分 休憩

9時44分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育部長。

○教育部長 緑化組合からです。
（「暫時休憩して」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時45分 休憩

9時46分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
ほかはいかがでしょう。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 先ほどの浅田委員の除籍のところですが、結果的には判断というか、決断がなかなかだったということですが、今年度はどうするのですか、その部分。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 今年度は、昨年準備を進めていますので、今年度は600冊以上の除籍を目指しております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 28、29は、古いもので、むしろそれを市民の人に提供では見てもらうには内容としてふさわしくないということで除籍をしたということなのですが、逆に言うと600冊の候補書があってそれをそのまま今あるということは、それは市民の皆さんに内容を見てもらうにはふさわしくないという判断ではないのですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時47分 休憩

9時47分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 市民の方のニーズとして、もう大分古くなっているもの、市民からも問い合わせといいますか、要望が、市民からの興味といいますか、そういうものも低くなっているもの、あと汚損が進んでいるものを除籍する対象として考えております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。347ページの視聴覚等の状況ですけれども、使えなくなっている状態ということで、前年度の使用の1件とか少ない状況ですけれども、今後これは修理とかする予定なのでしょうか、それともそのまま使えない状態にしておくのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 修理に出してももうほとんどの機材が部品がなくて直らないというものが多いものですので、可能な範囲では修理をしますが、現状のもので利用していただくようになります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 新たに購入ということは考えていくのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 予算の範囲内の中で買っていきたいと思います。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 344ページに広域館の相互利用がそれぞれ記載してありますけれども、沼津市の図書館の登録者とか貸し出し数が多いのですけれども、この傾向というのはどういうことなのでしょうか。どういう種類のものが利用されている。休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時50分 休憩

9時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 沼津市については、在勤在学を含む形でこのように多くなっておりませんが、個々のデータになりますので、こちらでは把握をできておりませんが、こういう傾向をつかんで今後図書館の置く本について研究していきたいと思います。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 2番の図書館利用の中の貸し出し者、あるいは利用者の性別だとか年齢のような、そういうデータのようなものはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 済みません。暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時53分 休憩

9時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

- 鈴木図書館長 データのほうは、抽出はできるのですが、現在私の中でそれを使用はしていません。今後委員の言われたことにつきましても研究したいと思います。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 346ページの図書館行事と展示会の状況があります。先ほど新規、夏休み等の新しい取り組みも説明ありましたが、ことし、30年度の結果として、好評だから続けていきたいというような新たな取り組みというのはあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 こちらの表にございます行事、展示会は全て、ほとんどが人気あります。ですので、行ってきたいと思いますが、2番目にありますビブリオバトルにつきましても、参加者数が少ないので、この辺は来年度はやり方につきまして検討したいと思います。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 済みません。343ページ、図書館資料の状況ということなのですが、蔵書の数についてはわかるのですが、実際に一般書庫に出している書籍というのはそれぞれ何冊ぐらいが皆さんが行ったときに見られる蔵書というか、数になっているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時57分 休憩

9時58分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 1階の開架で置いてある冊数については把握はできておりませんが、蔵書能力としましては、図書館自体が17万1,000冊ということで建設当時あります。1階の開架部分が6万1,000冊が開架としての能力というふうになっておりますので、この数字ぐらいが置かれているものと思われまます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） この数というのは、市内に文化センターもありますけれども、市内に図書館とは蔵書するところとしては足りているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 十分なものではないかもしれませんが、他市、町も同じような状況がありまして、これはなんとか工夫して広く市民の方に提供したいという気持ちではありますということです。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 済みません。ありがとうございました。

347ページの視聴覚教材の保有状況のところでお伺います。30年度はもうこれは使わなかったということなのですが、29年度までは使用ができていたという判断でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 済みません。暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時00分 休憩

10時01分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 貸し出しの部分で今そんなに数が出ていないというところもあると思うのですけれども、特にフィルムの電動クリーナーはこれは必要なものではないかと思うのですけれども、その辺はどうなのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時01分 休憩

10時01分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 フィルム電動クリーナーについては16ミリの関係になりますので、16ミリのものが貸し出しが少ないものですので、検討したいと思います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時02分 休憩

10時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○副委員長（岩井良枝） 休憩でいいです。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時03分 休憩

10時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかは。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） ~~343ページの図書館協議会委員6名の報酬が12万円というこ~~
~~すけれども、昨年度5人で5万4,000円ということ~~
~~すけれども、その理由をお願いします。~~

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時04分 休憩

10時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 先ほどの質問は取り消します。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時04分 休憩

10時06分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかは。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。ちょっと戻ります。調書342ページの7の負担金の
ところ、済みません。ご説明あったのですけれども、30年度は協会の会議で、ごめ
んなさい、聞き漏らしてるかもしれませんが、解散があつての減額といえますか、
減ったという話があったと思うのですけれども、その解散した理由といえますか、
理由ですか、それを教えてください。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 ちょっとだけ暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時06分 休憩

10時07分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 県の協議会のほうで不正行為があったということで、それで全体の
中で解散というふうになりました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 県の協議会とおっしゃいましたか。暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時07分 休憩

10時07分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
浅田委員。

○委員（浅田基行） どういった不正なんでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時08分 休憩

10時08分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 協議会のほうの事務局のほうで退職金等の不正行為がありまして、解散に至りました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そういう理由はわかりました。市にとって影響といいますか、困り事というようなことはないですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 職員の情報交換等の機会が減った点は否めませんが、県の公民館の市町村との連携になる会議はありますので、そちらで賄えていけると思っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、結果としてはそういう結果になったのですけれども、これまでもなくても何かカバーできていたという認識でよろしいのですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 はい、そうです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、そのなくなって、ただ7,002円という負担金というのが実績としてあるのですけれども、この金額は何ですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 1回戻入がありまして、1回納めたものが清算で返ってきまして、その残金が7,002円になります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、この負担というのはもう今年度は発生していないということよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 はい、そうです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） ~~済みません。確認です。同じページの2番で公民館運営審議会
って括弧で9人となっているのですけれども、その上です、実質委員は8人ってな
っているのですが、審議会をやった9人というのは、プラス1というのは、プラス、
別の方ですか。~~

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時11分 休憩

10時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○委員（浅田基行） 取り消します。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 343ページで、ふるさと納税が30年度出ているかと思えます542万
と、これは何に充てたか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時11分 休憩

10時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 ふるさと納税は、外壁の工事とあとは照明のLED化と図書館の学
習室にありますテーブルの上にあるのですが、間仕切りの備品に充てさせていただきました。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。同じく343ページの一般資料の視聴覚資料のどこ
ろで、同じ質疑といいますか、あったのですけれども、年々資料といいますか、本
が増えている中で能力的に今答弁の中で1階が17万1,000冊という能力……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時__分 休憩

10時__分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○委員（浅田基行） 1階が6万1,000冊と、全体で17万1,000の能力というようなご
説明がありまして、既に去年……暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時13分 休憩

10時16分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 要は図書館内のマックスの、どれぐらいまでは耐えられるというのはいえておりますか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 具体的数字についてはわかりませんが、閉架書庫というのがあります。閉架書庫にあるものをまず除籍をして、そこに1階にあるものをそちらへ持っていき、それはいわゆる除籍になるのですが、それを強く進めていきたいと思いません。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時16分 休憩

10時16分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 どれぐらいいっぱいになるかにつきましては、把握はできておりません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 非常に数が多くなって、面積に圧迫されていると思うのですが、検討していく必要があると思うのですが、検討する予定はありますか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 どのようにしていくか検討したいと思います。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 最後といいますか、347ページの貸し出し状況のところですけども、まず16ミリフィルムと映写機というのが30年度ゼロというような実績になっておりますが、これ何かあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 貸し出しが希望がなかったということです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） ご説明の中でやはりちょっと古いのがあってというようなお話もありましたが、貸し出しを希望される市民の方からこういうのがあるとうれしいというのはあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 特にそういう声は聞いておりませんが、最近の傾向としましては、16ミリフィルムよりもDVDの要望が増えてきております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そういった新しいものも予算を見てというようなご説明もありましたが、そういう声に答えるという検討はされるのでよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 図書館長。

○鈴木図書館長 予算の範囲内で検討していきたいと思います。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） ちょっと休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時19分 休憩

10時19分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 図書館では新書の購入金額の市民1人当たりの額だとか、あるいは貸し出し冊数の市民1人当たり何冊というような他の市との比較のようなものは、数字というのは把握をしているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 県立中央図書館というのがあるのですが、そちらと連携しまして、把握はしております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 把握をされている内容というのはどこまでのもののでしょうか。先ほどの質疑をしたものなののでしょうか、それ以外にもあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 ある資料としましては、1,000人当たりの貸し出し冊数であったり、1,000人当たりの蔵書冊数というのを表として持っています。

（「ちょっと休憩してください」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時21分 休憩

10時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

暫時休憩します。

10時23分 休憩

10時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

- 委員（土屋秀明） 全体をまとめてですけれども、裾野市は公立の図書館教育の中ではポジション的にはどのぐらいの位置なのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 平均的な図書館だと認識しております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 平均すると平均ということですがけれども、特にこの辺が下回っているから、ここに力を入れていこうというようなところというのは、そのデータから何かこれから先に向けての考え方あるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 済みません。暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時24分 休憩

10時24分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 貸し出し冊数が平均より下回っていますので、貸し出しを増やすように努めていきたいと思えます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） 調書の343ページ、その（3）の不明資料についてなのですが、平成30年度この不明資料の追跡といたしますか、そういったことはどのようなことをされたのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 追跡は、特段行っていませんが、うちのほうで点検をしますので、蔵書点検とか、そのときに気をつけてみているぐらいです。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 書籍は財産とっておりますが、いろんな貸し出したときにデータがあると思うのですが、そういったことは利用しての追跡は今までやってこられたなかったということですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館副参事。
- 鈴木図書館副参事 この蔵書点検不明資料は、貸し出しもされていなくて点検時に棚に本が発見されなかったものになるので、どうしてそこにはないかということは。なので、一応点検の後にリストを出して、職員にそのリストを回覧等して不明資料の周知と、その後発見されるかどうかというのは次の年の蔵書点検でまた発見されることもありますので、そこで追跡というではないですが、調べはしております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。

- 委員（三富美代子） 今のご説明ですと、全く追跡のできないものが不明資料として載っているということでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館副参事。
- 鈴木図書館副参事 そのとおりです。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
委員長交代でいいですか。
- 副委員長（岩井良枝） 委員長交代します。
杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館、342ページのところになります。具体的なこの項目では1番のところの東西公民館の利用ということになるのですけれども、東西公民館の貸し出しにおいて、東西公民館では……ごめんなさい。暫時休憩をお願いします。
- 副委員長（岩井良枝） 暫時休憩します。

10時27分 休憩

10時28分 再開

- 副委員長（岩井良枝） 再開します。
- 委員長（杉山茂規） 東西公民館にあります貸し出しをしている部屋の稼働率を上げるような取り組みの検討は、30年度行われましたでしょうか。
- 副委員長（岩井良枝） 図書館長。
- 鈴木図書館長 会議室1、2というのがどうしても一体化になっていますので、こちらを一緒に使う場合がありますが、人数によっては分割して使えませんかということをご案内をする場合もございます。
- 副委員長（岩井良枝） 杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） ということは、通常の場合は、小さい利用の場合は第3会議室を当ててというか、案内するような形で運用しているということの解釈でよろしいでしょうか。
- 副委員長（岩井良枝） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 はい。できるだけそのようなご案内をしております。
- 副委員長（岩井良枝） 杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） 今度東地区コミセンになるのですけれども、コミセンも和室、会議室1、2とあるのですが、そちらについての対応は同様な考え方でよろしいでしょうか。
- 副委員長（岩井良枝） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 東コミセンにつきましては、実際的には1、2って分けた利用についてはできておりません。
- 副委員長（岩井良枝） 杉山委員。

○委員長（杉山茂規） その理由は何でしょうか。

○副委員長（岩井良枝） 暫時休憩します。

10時29分 休憩

10時30分 再開

○副委員長（岩井良枝） 再開します。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 現在1、2を分けた利用について、積極的なご案内をしていませんが、今後そのように対応をしていきたいと考えております。

○副委員長（岩井良枝） 杉山委員。

○委員長（杉山茂規） わかりました。

今度鈴木図書館のほうで伺いたいと思います。暫時休憩をお願いします。

○副委員長（岩井良枝） 暫時休憩します。

10時30分 休憩

10時30分 再開

○副委員長（岩井良枝） 再開します。

○委員長（杉山茂規） 図書館内にあります施設、部屋の利用の実態は今どのようになっていますでしょうか。

○副委員長（岩井良枝） 図書館長。

○鈴木図書館長 部屋の利用は、図書館の事業、展示会に使用しております。

○副委員長（岩井良枝） 杉山委員。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩をお願いします。

○副委員長（岩井良枝） 暫時休憩します。

10時31分 休憩

10時31分 再開

○副委員長（岩井良枝） 再開します。

杉山委員。

○委員長（杉山茂規） 先ほど言いました部屋の稼働を高めることによって、よりいろいろなサービスが提供できるように考えるのですが、そういった検討はありましたでしょうか。

○副委員長（岩井良枝） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 事業である部屋を使いますので、例えばエアコンの効きが悪いときとかは視聴覚室を使ったり、またお子様連れの方が多く来ますので、そのときに規模に応じては違う部屋を使ったりということで、できるだけその事業に適した部屋を選んで使っております。

- 副委員長（岩井良枝） 杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） その部屋は、一般開放されていないというふうなことだと思うのですが、一般開放することによってより効率的に施設の利用ができるというふうな検討はあったのでしょうか。
- 副委員長（岩井良枝） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 図書館の会議室等は図書館事業に使うという形でなっておりますので、一般の方の貸し出しにつきましては検討はしておりません。
- 副委員長（岩井良枝） 杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） 今後検討するというふうな考え、ちょっと先になってしまうのですが、はありますでしょうか。
- 副委員長（岩井良枝） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 現在のところ考えておりませんが、図書館協議会等にも意見を聞いてみたいと思います。
- 委員長（杉山茂規） 以上、もとに戻ります。委員長、戻ります。
- 副委員長（岩井良枝） 交代します。
- 委員長（杉山茂規） ほかは質疑。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

10時33分 休憩

10時34分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 質問します。不明資料が毎年50冊前後発生しているというふうなことだと思うのですが、貴重な資料等、本等となくならないような対策ということは特にされているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館副参事。
- 鈴木図書館副参事 郷土資料のようなもう過去に出されて副本がないものは2階の郷土資料室に保管して、鍵をかけてあります。あと、心配がある本は地下の閉架書庫に保存して、そこから書庫出納するという事で保存には努めています。
- 委員長（杉山茂規） ほかは。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 先ほど質疑ありました342ページの1番の東西公民館とコミュニティーセンターの利用状況というところで、和室であったりとかいろんな部屋があるという話も、これ要望といいますか、できるかという確認なのですが、できれば部屋の利用数とか、利用率とかという、もうちょっと詳細に明記していただ

きたいというような感じがするのですけれども、そういったことは可能でしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 資料の表現ですよ。
- 委員（浅田基行） そうです。見せ方というか。
- 鈴木図書館長 次年度検討したいと思います。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 鈴木図書館の視聴覚とかという、図書館の中でのというのは30年度って表記されているところってありましたっけ。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 部屋の使用する回数等の表記はございません。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そちらも先ほどの検討していただくということは可能でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 検討させていただきます。
- 委員長（杉山茂規） ほかは。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 済みません。先ほどのところでちょっと聞き漏れ起こしましたので、お願いします。343ページ、蔵書のところで伺います。1階のところになり本については多分検索をかけてお問い合わせがあると思うのですけれども、その辺の件数というのはどのぐらいあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時38分 休憩

10時38分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 344ページの2の左側の表の下から6行目にありますレファレンス処理件数5,339件の中に含まれておりますので、今委員の言われたものだけでは、については数字は持ち合わせておりません。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 感じとして多いのか少ないのかというのはどうでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館副参事。
- 鈴木図書館副参事 日によっても違いますが、職員が書庫に資料を探しに行く件数が多いと感じています。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） お願いします。

図書館の行事の中のナイトライブラリーなのですが、33人から57人に人数が増えています。これは何組ですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時40分 休憩

10時40分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 親子連れの組ということでしょうか。

○分科会外委員（二ノ宮善明） はい、そうです。

○鈴木図書館長 組では集計はとっておりませんが、ほとんどが親子で来ていますので、です。

○委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） そうしますと、上限何組ぐらいまで受け入れ可能ですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時41分 休憩

10時41分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館副参事。

○鈴木図書館副参事 ナイトライブラリーは、図書館を夜8時半まで開館するので、その時間帯は自由に利用していただけるので、特に上限はありません。

○委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） わかりました。

済みません。暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時42分 休憩

10時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

二ノ宮委員。

○分科会外委員（二ノ宮善明） 新しい駐車場なのですが、照明をつけたことはわかりました。ただ、道をまたぐことについての子供連れの安全対策等、屋根をつけるとか、そういうようなものは検討したのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 そこまでの検討、対応についてはできておりません。

○分科会外委員（二ノ宮善明） 今後どうしますか。

○委員長（杉山茂規） 3回でお願いします。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） お願いします。345ページの牧水祭の件についてお伺いします。暫時休憩いたします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時43分 休憩

10時44分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 牧水祭なのですが、ことし市民への広がりということで何か工夫した点はありますか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 例年どおりの開催です。ただ、参加者が高齢化が進んでおりますので、その方々が安全にできるように事務局としては配慮しております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 市内に5つ牧水の碑があります。そこの関連を付けてもっと違う手法でやっていこうという、何か考え方はないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時45分 休憩

10時45分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 図書館短歌会が主催になりますが、そこまでは検討しておりませんでした。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外議員（内藤法子） ぜひ広く市民にPRして参加者を、限られた人だけの参加のように見えるので、広く周知していただけるように要望して終わります。ありがとうございます。済みません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

(「なし」の声あり)

- 委員長(杉山茂規) 以上で分科会外委員の質疑を終わります。
以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。
暫時休憩します。

10時45分 休憩

10時46分 再開

- 委員長(杉山茂規) 再開いたします。
訂正の発言の申し出がありましたので、これを許します。
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 先ほど二ノ宮委員からご質問ありましたナイトブラリーの組という件につきまして訂正させていただきます。こちら親子のみの行事ではございませんので、組というものが半分ぐらいと言いましたが、それについては把握しておりませんので、訂正をさせていただきます。済みません。
- 委員長(杉山茂規) よろしいでしょうか。
それでは、これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

- 委員長(杉山茂規) 分科会外委員の意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

- 委員長(杉山茂規) 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で鈴木図書館の質疑を終わります。
以上で、教育部の質疑を終わります。

健康福祉部

子育て支援課

- 委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。
質疑に入ります。質疑はありませんか。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） よろしくお願ひします。
調書194ページ、特定財源のところの寄附金、ふるさと納税は何に充てたか教えて
ください。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 こちらにつきましては、こども医療費の財源に充当させていただ
いております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 195ページです。こども医療費が高校生まで拡大したというこ
とで、先ほど2,157万円ちょっとかな、増えたということですが、差額見ると差額の分
ちょっと増えている部分があるかと思うのですけれども、その増えた理由というの
は何でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

- 子育て支援課長 医療費の部分が伸びている部分につきましては、高校生医療費分
が当然増えております。あとは、その年のインフルエンザ等の流行等によりどうし
ても年ごとの増減がありますけれども、昨年はこの状況だったということでござい
ます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） その右の未熟児の養育医療費というのが29年度に比べて件数が
かなり増になっておりますが、この理由は。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 こちらにつきましても、医師の判断によりまして、こちらのほう
申請できるかどうかということになります。単純に昨年度は多かった。一昨年は少
なかったということになります。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） では、次行きます。196ページ、3番、少子化対策の強化事業で
す。こちらの事業ですが、既に単費で行っているという認識でいますけれども、子
育て支援パートナーの要請講座というのが30年度開催されていなかったように思
うのですが、その理由は何ですか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 もともとは、こちら少子化対策重点交付金という交付金を財源に
充てていた部分があるのですが、そちらのほうのいただくというのがなかなか難し

いという状況になった中で、事業のほうを選択をさせていただいて、こちらの2つの事業をメインとさせていただいて、パートナーのほうは終了させていただきました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 新たな事業といたしますか、検討するという事は考えておられますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 今後の話につきましては、なかなかちょっと難しいところはございますけれども、基本的には今のこの状況は進めていきたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。次行かせてもらいます。4番のみんなで子育てするまちの推進事業ですけれども、かなり29年度と比べてこちらイベントが少なくなっているように、減少していると思うのですが、その理由は何でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらにつきましても、もともとフレンドシップの補助金を充てさせていただいております。ただ、これが昨年度から補助率が3分の2から3分の1に落ちてしまったということがございます。そうした部分の状況と、あとは長泉町との共催ということでございますので、長泉町とも協議をさせていただいて、この事業規模とさせていただきました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 3分の2が3分の1に落とされたというのは何か理由ってあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 もともとフレンドシップというのは5年というふうに決まっております。その中で3年目までは3分の2、4年目、5年目は3分の1という決まりの中でやっております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そうしますと、今年度が5年目ということでよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 はい、そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そうしますと、今年度という形でそろそろそういった補助金委託という形で、今年度、31年度ですね、31年度で終わるということで、そろそろ委託補助金が切れるという形なのですけれども、少子化対策事業と同様単費で継続していくという検討はもうそろそろ初めておられますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 なかなか今の段階でどうというところは難しいところではあるのですが、担当課としては何がしかの対応をしていきたいというふうには考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 何かしらぜひ継続を要望して次行きます。

その下の丸、第4次裾野市後期計画というところで、多様なライフスタイルづくりの関連事業が目標値1万2,000という中で、30年度9,244人という実績があるので、この実績というのはどの辺といいますか、どの数字かというの教えていただけますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらにつきましては、毎年実施している事業の累積になります。なので、27年度の2,516人から毎年参加していただいた方を加算して行って30年度でこの数字まで来たということです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 失礼しました。累計って書いてあります。済みません。そういった中で、ちょっと基本計画でもう一つ団体という目線での目標値があったかと思うのですが、30年度は37団体達成というような、これと関連した形という実績ってございますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 基本的に参加していただく方、団体等を増やすことによって認知が広がっていくというような考え方になると思いますので、その辺の数が増えていけば、効果が進んでいるのかなというふうな解釈をさせていただきたいと思っております。

○委員（浅田基行） いいですか。

○委員長（杉山茂規） 一旦、勝又委員。

○委員（勝又 豊） ~~済みません。ファミリーサポートセンター、194ページになりますけれども、これが昨年度から大分、昨年度93万3,000円から30万円に減っていますけれども、この辺は理由は言いましたっけ、済みません。~~

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時34分 休憩

11時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 先ほどの取り消します。

196ページなので、少子化対策事業で未来のパパママスクール、これに内容として講師による講演会ということで5回開催されていますけれども、これは

同じ講師によるものなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 2名の講師をお願いしまして、学校ごとに変えております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 昨年度も同じようにやっていますけれども、同様な内容、内容的には同じなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 内容につきましては、前年度と同じ内容でやっております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 194ページの……

○委員長（杉山茂規） マイクお願いします。

○委員（土屋秀明） 194、医療費の関係です。子供の。高校生の追加の部分は先ほど数字出ましたけれども、特定財源の県費5,700万円ほどの中にはこれ高校生の分も入っているのでしたっけか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらにつきましては、県の制度が10月から始まっておりますので、半年分は計上されております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 高校生医療費が2,100万円ほどですけれども、これはほぼ想定の内範囲内ですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 予算のときの想定では2,700万円ぐらいで予算計上しておりますので、昨年度はそれよりは少なかったというふうに見ております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 子供、それから乳幼児も含めて医療費のかかる病名とか事故から、これから先に取り組むべきこういうようなこととというような何か、そういうようなところまで生かされているのでしょうか。単なる医療費の支払いだけということなののでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 基本的には医療費の支払いという形で進めております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 196ページの、先ほどちょっと出ましたけれども、未来のパパママスクール、中学3年生を対象にやっているのですけれども、これって中学生に、生徒にはどんな反応というか、あるのですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 この講演を聞いていただいた後にアンケート等をとっております

けれども、内容的にすごく参考になったですとか、将来、ライフプランみたいなものも話をするのですけれども、いろいろと考えていきたいというようなアンケートで回答をいただいております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 済みません。講演の中身をもう一度、ライフプランも含めてですけれども、どのようなことを生徒側に教えているのか伝えてもらっても。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課係長。

○子育て支援課係長 未来のパパママスクールは、中学生を対象に妊娠と年齢の関係ですとか、親になることの大切さの責任、またはお父さん、お母さんが協力して育児にかかわるといふ正確な情報を提供することを趣旨にしております。またライフプランは、何年後自分は何をやっているのだろうというのをワークシートを使ってやっています。例えば卒業して3年後、大学に行く行かないを含めて、何歳のときに結婚したらどうなるのだろうみたいな話を具体的に生徒に考えさせる時間を設けています。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） いうようなすごく広い考え方の視野でのあれですけれども、この講師さんは具体的に市のほうから直接依頼をするので、そういうグループのようなものがあるのですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 一方につきましては、以前から講演をお願いをしている大学の教授の方になります。もう一方は誕生学アドバイザーということで活動をしていただいている方です。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 197ページの放課後児童室ですけれども、民間に随意契約でという、順次変わって、今は全てが変わっているのですけれども、ここで言うこの随意契約の契約の相手先というのは9にありますシダックスでしたっけか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 南小以外はそうなります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 年度当初からの中で運営を委託をした中で問題点だとか、あるいはむしろ好評な点だとかというようなことで、次年度、31年度に生かされたようなことというのはどんなことがあるんでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 昨年度の段階で切りかわりということで、現場ではかなり最初の部分、戸惑った部分もあるというふうには認識しております。ただ、その中でいろいろと指導員を中心としましてかなり改善はしております。要望として応えられない部分というのはどうしてもございますので、そういった部分は別としましても、

できる限り改善できるようにということで業者のほうにもお願いしているところがございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 198ページですけれども、1番の相談内容、特出して、下にもちょっとありますけれども、家庭関係とか環境福祉とかありますけれども、総体として非常に大きくなって増えている中で、昨年度特にこういうような特徴だというようなもの、相談内容としては。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 事件も裾野市内で起きたということもありますけれども、虐待自体も対応した件数は前年度に比べて多かったというふうには思っております。あとは、虐待ではないのですけれども、支援が必要なのというところで、実に複雑なケース、対応を何度も繰り返さなければならないケースというのが多くあった年だったというふうに思っております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） それがこの5番の要保護のところの協議会の回数が前の年に比べると大幅に、倍ぐらい増えているのですけれども、124回に。それらもこの結果的にはここにもかかわっているということですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 はい、そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ちょっと休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時42分 休憩

11時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○委員（土屋秀明） 昨年度で児童虐待の事件等がある中で、当市でもこれだけいろんな相談件数等も増えているのですけれども、今現状の市の対応として、子供の虐待対策等についてはもっと新たな取り組みをしなければならないというようなことは30年度では感じられなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 30年度から所管は健康推進課のほうになるのですが、包括支援センターという形で関係課が連携してというような取り組みをスタートしております。あとは、そういった部分の連携方法というのを今後も強化をしていきたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 199ページに児童館の関係ありますけれども、北児童館が指定管

理に移ったのですけれども、この全体を見ると利用者数、あるいは各種の行事等の取り組みも前年度に比べると増えているのですけれども、同様に保護者、保護者といったらいいかはあれですね、保護者絡みで児童館を利用される人たちの評価というか、好評だとか、もっとこうしろとかという何かあったのでしょうか。

(「ちょっと休憩お願いします」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

11時45分 休憩

11時45分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

子育て支援監。

○子育て支援監 指定管理ということでモニタリングも含めてアンケート調査を実施をしてございます。昨年度2回やりましたけれども、その中での評価もすこぶるよいということで9割方の方々が評判がいいということで、改善については余り、改善項目についてはないのですけれども、かなり努力をしていただいていますので、かなりいい状況ではあるというふうにこちらでは認識しています。

○委員長(杉山茂規) ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員(勝又 豊) 済みません。200ページなののですけれども、委託業務、南児童館のみということで、昨年度からその辺で金額が変更されているかと思うのですけれども、消防点検業務委託、これが減った理由もそこにあるのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらも南児童館のみという形になって減っております。

○委員長(杉山茂規) 勝又委員。

○委員(勝又 豊) そうすると、この辺の金額の差というのは大体その辺の内容って考えてよろしいのでしょうか。下の部分。

○委員長(杉山茂規) 子育て支援課長。

○子育て支援課長 機械警備業務委託まではそのような形になります。

○委員長(杉山茂規) ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長(岩井良枝) 196ページ、ファミリーサポートセンターのところでお伺いします。30年度直営で行われたということなのですが、マッチングのほうは大方できていたのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 子育て支援課長。

○子育て支援課長 マッチングができなかったという事例はございません。

○委員長(杉山茂規) 岩井委員。

○副委員長(岩井良枝) そうしますと、29年から30年にかけて、かなりの利用の人

数のほうが減っていると思うのですけれども、これはどういう要因だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 1つ大きな要因として我々が考えているのが、29年度非常に頻繁に利用された方がいらっしゃったのですけれども、その方がお子さんが大きくなって利用しなくなったとかいうことがございましたので、そういった部分は影響していると思います。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） わかりました。依頼会員がやはり29年に比べて増えていますが、必要なときにはマッチングのほうで利用のほうは適切にできているという状況であると判断をしてよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 そのように考えております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょう。
三富委員。

○委員（三富美代子） 194ページの第4次裾野市総合計画後期基本計画について記載があるのですけれども、これ27年度が記載されていますけれども、何か理由がありますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 この基本計画の基準になる年の数字でございます。ここからどのぐらい伸びたかという比較になります。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） それをもとにして30年度の結果を受けてどのように判断されたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 減少の傾向というのは、裾野市に限らず全国的な部分もあるのですけれども、なかなか増やすというのが厳しい状況であるというふうには認識しております。ただ、我々子育て支援課がやっている部分、それからほかの市全体としてやっている部分、そういった部分を進めていくことによって少しでも減らさない形というのを進めていきたいというふうには考えているところでございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 198ページで伺います。先ほどもちょっとお話がありましたのが、家庭児童相談事業ということで、虐待の部分がちょっと増えて複数回対応が増えているというお話でしたけれども、その環境福祉のところもかなり増えているのですが、主に増えている、下に説明があるのですけれども、精神的、経済的、年の若いというような中身だということなのですけれども、特に増えている内容というのはあるのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 環境福祉という言い方がなかなか広い部分ではあるのですが、1つの例としていいますと、例えばお母さんの精神疾患などが原因でうまく養育ができないというようなケース、こういった場合は対応も頻繁にしなければならぬということもありまして、対応件数が増えている要因にはなっております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 相談員さんが3人で相談に乗っていらっしゃるというのが、一応その後どう継いでいくかということはあると思うのですが、この件数に3人の相談員さんで対応しているということによろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 対応自体は、この3人だけではなくて、正規の担当職員も含めて、あとは関係各課とも連携しながら進めております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 30年度はこの数で、やっぱり若干増えているというところで、大変な内容されていたと思うのですが、この30年度の中でちょっと力を入れて対応のところをもう少し今年度何か考えられてやられたことというのはありますか。ですから、30年度に次の年にどういう対応していこう、どう取り組みをしていこうということが考えられたことはありますか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 そういった部分の強化という課題もありましたので、昨年度包括支援センターというものを一応開設しまして、情報連携、それから体制の強化というものを進めたというふうに思っております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
ちょっと1点だけ。交代してもらっていいですか。
- 副委員長（岩井良枝） 委員長交代します。
杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩をお願いします。
- 副委員長（岩井良枝） 暫時休憩いたします。

11時53分 休憩

11時54分 再開

- 副委員長（岩井良枝） 再開します。
杉山委員。
- 委員長（杉山茂規） 監査委員からの財政援助団体等の報告書の中で、備品台帳が整備されないということが指定管理者のほうであるよということで、その辺のところについてなのですが、北児童館については該当される場所はありますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 北児童館については該当するところはありません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 今ちょっと監査委員の意見が出ましたけれども、ちょっと休憩
お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時55分 休憩

11時58分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 196ページのファミリーサポートセンターです。マッチ
ングが100%なのはわかりましたけれども、依頼に対しての対応率はどのくらいだっ
たでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時58分 休憩

11時59分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 問い合わせ、要望があったについては全てという形になります。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 直営に変えましたけれども、そこでこれまでと利用の
条件というのを変えた、変わったものというのがありますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 利用の条件を変えたものはございません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意
見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 分科会外委員の意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で子育て支援課の質疑を終わります。

保育課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。203ページの不用額で2億94万2,194円で、ご説明の中で御宿台保育園の指定管理という部分と、あと増減をしようとした際に、ということも考えたということの中で、ほかで増が予想されたというご説明がありましたけれども、ほかで増という予想をされた内容というのは何でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 こちらにつきましては、例年保育の公定価格の単価変動というのがございまして、それがまだ示されていないというか、こちらが認識していなかった時期でありましたので、不要となった分を丸々減額するのはかなり危険な状態だったということでの話になります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それは、30年度に限られることでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 それは30年度に限らずということではあるのですが、ちょっと済みません。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時33分 休憩

13時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 公定価格の増となる部分が見えていなかったなので、その辺は慎重に対応させていただきました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 指定管理で減になるというところがあって、増の幅がちょっと読みづらかったというのは理解いたしました。それにしてもちょっと不要という金額が大きいように感じるものですから、何かという手は打つ方法はなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 そのときではいい案が見つからなかったということでございます。今思えば少しばかりやってもよかったかもしれませんが、そのときに説明がうまくできなかったのだらうなというようなところでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件、了解いたしました。

次、その下で、臨時職員数が57人ということで、こちらも御宿台保育園のほう
が指定管理という形が入っての、恐らく人数が減っているかと思うのですけれど、
昨年と比べての減った内訳ですか、内容をもう一度お願いできますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時35分 休憩

13時36分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 御宿台保育園で、正規臨時含め44名がおりました。そこで、一部につ
きましては桜愛会のほうに籍を変えた方もいらっしゃるのですが、正規職員につ
きましては、全員がほかの園へ移動となっております。その分ということになり
ますので、臨時職員数での大きな減となっておりますが、そこでの調整という
ことになります。あと、ほかにも退職された方とかもいらっしゃいますので、
その分も入っての数字となります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 正職員も含めて44名というお話ですが、臨時職員だけでは
何名ですか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 34名となります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そうしますと、残り17名という人は退職であるとか、ほ
か園という形でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 数字上はそのような形になります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 数字上ではなくて実情を教えてください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時38分 休憩

13時38分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 そちらにつきましては一人一人追わなければならないので、こ
ちらで細かくは把握してございません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 了解いたしました。

その同じページでお願いします。保育所待機児童数が今回は10月1日時点での待機児童数ということを計算していただいておりますけれども、昨年度同じ時期で行きますと、29年度は20人というようなことで確認しておりますけれども、それよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時39分 休憩

13時40分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 ええ、そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 30年度は7人というので減少しているのですけれども、何か改善というような、減少した要因はあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 こちらにつきまして、感覚的なお話でさせていただきたいのですが、御宿台保育園が……暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時40分 休憩

13時41分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 こちらの御宿台保育園が指定管理となったことによる職員の公立への移動、それから御宿台保育園、指定管理者での職員採用、こちらの影響によるものと思っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その説明で行きますと、さらに減少と申しますか、その年の量にもよるかもしれませんが、そういう傾向によるという予測でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 公立については、ちょっと今後採用される方、退職される方等あるので、ちょっと何とも言えません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 204ページお願いします。5の各種保育事業の中の休日保育でございしますが、富岳台が29年度、30年度とゼロと続いているのですけれども、こちらは今は保育をやっていないという認識でよろしいのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 やっていないということではなく、その園に対する要望がなかったということでの認識でいます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 要望がなかったというのは、なぜなかったのですか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 基本この休日保育については、市内の保育園に通っている方が利用できるサービスとなっておりますので、まず富岳台保育園をセレクトする方がいなかったのかなというようなところでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） それは、市民の人ご存じではない可能性ということはないでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 全員が全員知っているかどうかということ知らない方もいらっしゃると思います。ただ、ここで、ことしの話になって恐縮なのですが、5月にあった大型連休の対応としまして、各園にこの休日保育をやっていますよということを周知させましたので、昨年まではどうかと言われるとちょっとPR不足だった節もあるかもしれませんが、今ことしちょっとその辺は対応させていただいております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時43分 休憩

13時44分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 休日保育を使用されている数というのが非常に少ないという印象を受けているのですけれども、それについてはどうお考えでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 本来あいている施設でありますので、この辺は利用できる方については今後も折があるたびにPRをしていくことは必要であるなということは考えております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 204ページ、6番の維持修理工事ということで、暑さの影響でエアコンが故障が多かったということなのですけれども、ここに載っているのがエアコン交換ということで、新しいものに交換しているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 6番、こちらに関しましては、修理ではなく交換が主でありました。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 修理しないで交換したというのは、かなりエアコン自体の年数がたってという判断からなのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 施設自体かなり老朽が激しく、今回交換したものにつきましても20年ぐらいたっているものもあつたりもしましたので、業者さんと相談しまして、交換という手法をとらせていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） ちょっとお聞きしたいのですけれども、巡回相談、教育相談ということを幼稚園、保育園ともされているということなのですかけれども、家庭訪問みたいな、そういったイメージなのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 こちら園を回りまして、園児の様子をうかがい見ながら、その子に対する指導について保育士並びに幼稚園教諭と情報共有をとっていくというものになります。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時46分 休憩

13時47分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
勝又委員。

- 委員（勝又 豊） 208ページの7番、施設管理委託ということで、いずみ幼稚園の桜の枝打ち業務ということで、去年にはなくてことし発生したということで、ちょっと暫時休憩。

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時48分 休憩

13時48分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
勝又委員。

- 委員（勝又 豊） 答弁ちょっと聞き直します。今回いずみ幼稚園が桜枝打ち業務委託が発生した理由をお願いします。

- 委員長（杉山茂規） 保育課長。

- 保育課長 近隣住民からの苦情といたしますか、意見で枝が伸びているということで

の生活への支障ということがありまして、今回こちらのほうで対応させていただきます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 202ページですけれども、子ども・子育て支援の計画に対してのニーズ調査をしたのですけれども、調査の結果、特に際立っていたようなことがあるのでしょうか、こういうことが。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 こちらについて、今回前回と大きな違いがありますのが、ちょっと済みません。暫時休憩……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時49分 休憩

13時51分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
保育課長。

○保育課長 法定にない項目としまして、転出に関する意向を聞いてございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 意向の結果は、その可能性は高いでしょうか、低いでしょうか。想定より。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 可能性として聞いておりまして、想定していたものよりも大きな数字が出てきております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 次年度に向けて今年度もこの計画の策定が入っているのですけれども、ちょっと後ろの話なのですけれども、転出者が多いということは次年度、これからつくろうとしている計画に何か影響を与えるということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時52分 休憩

13時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
保育課長。

○保育課長 需要の見込みと確保の方策による計画になりますので、少なからずとも影響はあります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） その内容等はこれからの子育て会議のいろんな情報が出てくると思いますから、それを見させてもらいます。

次に、30年度の途中で、31年度一番大きなあれになっている無償化の方針というか、国がはっきりかじを切ったのですけれども、その無償化に向けていろんな情報収集等してなかなか難しかった、入ってこなかったということが実態だと思うのですけれども、保育課としてはこれに対していわゆる国からの情報というのは流れてくるだけであって、例えば専門家のようなところから情報を収集するようなことってしたのでしょいか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 ちょっと暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時53分 休憩

13時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 通常国からの状況は県を通じてくるのですけれども、国が主催する東京中央の説明会などには積極的に参加するようにさせていただきました。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 次に行きます。203ページ、先ほど待機児童数、10月1日、昨年で7人ということですがけれども、年度当初がゼロで10月頭が7人で、この7人というのはその後の年度経過の中ではどのような変化をやっていったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 こちら、その後1月にもう一度県への報告がされておまして、そこでの報告値は1となっております。ですので、年度途中で申し込まれた方について、4月以降7人が10月1日では発生しておりますが、同じ人が継続しているわけではないのですけれども、その後一体解消されつつある方向として1人となっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 204ページの認証保育所の補助金ですがけれども、補助額の総トータルは変わらずに、29と30で算出方法が変わって案分にした結果だということなのですか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

13時56分 休憩

13時57分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
保育課長。

○保育課長 予算額より補助基準額の方が大きくなっておりましたので、今までと割り方を変えさせていただいたという内容になります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 案分は単純に園児数で案分ということですか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 園児数ではございませんで、補助金算出のための計算式がありまして、その金額での数字の比となります。

（「休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時57分 休憩

13時58分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 205ページの10番で御宿台保育園の指定管理ですけれども、午前中の児童館の関係で2回の評価というか、モニタリングをして非常に好評だということなのですが、それらを踏まえてですけれども、指定管理は30年度から始まって何年度までの予定でしたっけか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 3年間ですので、30、31、32年度の末までということでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） これから先の話は別にして、こういういわゆる指定管理、民間に任せたことによって非常に好評を保護者から受けているということは、別の保育園、公立の保育園も同様の手法をとるとしているのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時59分 休憩

13時59分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
子育て支援監。

○子育て支援監 御宿台保育園の指定管理がまずは成功するように、こちらでは見守っていくとか、実施をしているところでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 206ページの保育料の関係ですけれども、滞納繰り越しの額の調定額で公立と私立の額が相当開きがあります。1つ欄の上段を見て現年度分を見ると、公立と私立はほとんど変わらないのですけれども、滞納繰り越しの額の違いというのはどういうことからなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時00分 休憩

14時01分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
保育課長。

○保育課長 こちらについては、傾向を分析してございませんので、ちょっと今のところわけは不明ということでお願いします。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 滞納繰り越しのところで聞いたのですけれども、その上段の現年度の見ると両方とも99%台ですから、回答はこれ以上は結構です。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 207ページに今度は授業料がありますけれども、幼稚園の授業料ですけれども、現年度分が100%ですけれども、100%はもちろんいいことなのですからけれども……今の質疑やめます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 208ページお願いします。5番で市外の園に通うその内容が入っているのですけれども、この中で見ますと、神山とこれ丸森というのですか、2つがこども園であって、その残りのあと2つ、ピーターパンと杉浦というの、これはいわゆる幼稚園なのですか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 こちら新制度の中では幼稚園の看板を出している認定こども園というのがございます。こちらの4園につきましては、全て認定こども園です。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 人数が43名なのです、これが。市内からこちらのほうへ行っているのが。逆にここには、このところにあるかわからないのですけれども、市外から裾野市内の園に通園している子供たちって何人ぐらいいるのですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時03分 休憩

14時04分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
- 保育課長 市内、こちらの5番につきましては、市内の認定こども園の幼稚園分に通うお子さんの情報でございます。市内には認定こども園ございませんので、市外から来ている子はありません。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 最後ですけれども、その6番に公立幼稚園の預かり保育、14から15時ですけれども、時間的には15時まででこれより延長はなかったのでしたっけ。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 現在のところは、15時までということとさせていただきます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 休憩。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時05分 休憩

14時08分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
ほかはいかがでしょう。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 毎年聞いていることで申し訳ございませんが、病後児保育で2園でやっています。人数が出ているのですが、この保育に通っている以外の子供たちの利用について伺います。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 こちらについて富岳南については、利用人数ということでこちらの数字、回数ではないので、人数なのですけれども、富岳南では1名、キッズセンターあいのほうでは4名の方が利用されているということとあります。これ回数ではございません。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 市で病後児保育をやっていますということで、それはこの2園にお任せをしていますという中で、園外の園児さんがやっぱりこの人数というのは行きにくいのか、それとも預かりのほうでもうその園の子供たちのほうでいっぱいになって預かりができないのか、その辺の状況というのは把握できていますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 こちら2園とも別な部屋でやっておりますので、空きがないからということではないと認識しております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 別の部屋でやっているのは当然なのです。でも、そこに何人の子供をそこにいられるかという部分というのがあって、1人とか2人とかしか預かれませんかという状況ではないかなと思うのですが。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 インフルエンザなど感染症がはやる時期というのはまとまってしまいますので、その辺での調整というものはあるかもしれません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） ちょっと暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時10分 休憩

14時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 調書の208ページです。11番の特別支援教育推進事業の中に、配慮の必要な年長児のまとめ作成のところ、あとその隣の放課後児童室指導員への配慮事項の連絡というふうに記載があるのですが、ほかの児童室にはこういった連絡事項はされなかったのですか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 こちらについては、昨年特に東小でこうしたお子さんがいらっしゃったという、東小というか、東小に進学するお子さんで連絡が必要な方がいたということですので、していないということではなく、必要があったからしたというようなところがございます。

（「委員長、暫時休憩してください」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

14時12分 休憩

14時15分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

委員長交代でいいですか。

○副委員長（岩井良枝） 委員長交代します。

杉山委員。

○委員長（杉山茂規） 監査委員の報告書の中でありました指定管理者桜愛会に対しましての市の備品の指摘があったと思うのですが、このような事態になって

しまった経緯は把握していますでしょうか。

○副委員長（岩井良枝） 子育て支援監。

○子育て支援監 経緯を承知しておりまして、一旦……ちょっと暫時休憩願います。

○副委員長（岩井良枝） 暫時休憩します。

14時15分 休憩

14時16分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

子育て支援監。

○子育て支援監 指摘を受けておりました備品台帳の整備の部分につきましては、当初課のほうで情報を吸い上げて処理をしていたということがございまして、現在その指摘を受けまして、御宿台保育園にはその備品台帳自体をお渡しをしているというような状況でございます。

○副委員長（岩井良枝） 杉山委員。

○委員長（杉山茂規） ということは、今はしっかりと区別がついて運営に至っているということよろしいですか。

○副委員長（岩井良枝） 子育て支援監。

○子育て支援監 はい、そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 委員長戻ります。

ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑終わります。

分科会外委員の質疑をお受けします。

賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） お願いいたします。203ページ、先ほど待機児童の質疑があったのですけれども、年度末1名ということで、いわゆる隠れ待機のような方というのはカウントが何かこれ入っていらっしゃるでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 隠れ待機が、どの辺の隠れ待機かちょっとわかりませんが、いわゆる自己都合による待機については報告値からは除かれておりますので、隠れ待機がいるかいないかという、その方々、広い範囲で言えばいると、狭い範囲で言えば隠れ待機の方はいない話になります。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） では、特に数字としてはカウントはできていないということよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 保育課長。

○保育課長 統計上はカウントできていない形になります。数えるまでには。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） ちょっと暫時休憩してもらっていいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時18分 休憩

14時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） 208ページの認定こども園の件なのですけれども、この丸森たんぽぽこども園というのはどちらになりますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時20分 休憩

14時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 横浜市です。

（「委員長」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 3回までなのでいいですか。

ほかはいかがでしょうか。

中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 市民の3歳、4歳、5歳の人口に対して、幼児施設を利用している方の割合というのはわかりますか、30年度。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時21分 休憩

14時21分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 ちょっと済みません。いつ時点のもの……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時21分 休憩

14時22分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

保育課長。

○保育課長 こちらについて、数字現在持っておりません。

- 委員長（杉山茂規） 中村委員。
- 分科会外委員（中村純也） 把握、推移だとか、そういったものは都度追っていますか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 ニーズ調査と、あと毎年の園への就園数というのは把握して追っております。
- 委員長（杉山茂規） 中村委員。
- 分科会外委員（中村純也） そうではなくて、人口に対して幼児施設を利用している数、割合を追っていますか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時22分 休憩

14時24分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
保育課長。
- 保育課長 具体的に言いますと、細かな数字までは取り組んでございません。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
土屋主久委員。
- 分科会外委員（土屋主久） 途中からですので、もし質問が事前にあったらごめんなさい。随意契約の関係、契約関係なのですけれども、修繕から備品購入まで全てが随意契約という状況、この辺は監査のほうで指摘はなかったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 こちらにつきましては、政令で定めた随意契約ができる金額の中に入っておりますので、指摘は受けてございません。
- 委員長（杉山茂規） 土屋主久委員。
- 分科会外委員（土屋主久） 業者が偏っているということはございませんでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 保育課長。
- 保育課長 ないと判断しております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋主久委員。
- 分科会外委員（土屋主久） 細かくはお聞きしませんけれども、随意契約ではなくて見積もり合わせとか、それがやっぱり本来の方法だと思いますので……。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時25分 休憩

14時26分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。

保育課長。

○保育課長 こちらにつきましては、見積もり合わせ等実施しておりますので、1社随契ではございません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で、保育課の質疑を終わります。

保育課（答弁訂正） 令和元年9月19日（木） 14時35分～

○委員長（杉山茂規） 保育課長より訂正の発言の申し出がありましたので、これを許します。

保育課長。

○保育課長 先ほど賀茂議員からご質問を受けました丸森幼稚園につきまして、済みません。言い間違いです。丸森こども園の所在地につきまして訂正をさせていただきます。横浜市と申し上げましたけれども、宮城県丸森町ということでございます。

○委員長（杉山茂規） よろしいでしょうか。

社会福祉課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。調書176ページで、一番下、3番福祉総合相談委託事業とありますが、昨年に比べて合計の件数が多いと、解決したのも多いのですけれども、合計等見たら多いのですが、その要因、理由があれば教えてください。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 これ以外の相談の窓口も充実しているのに起因しているかと思ひます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 質問悪かったかな。昨年度より増えた理由という答弁でよろしいですか。ごめんなさい。質問が悪くて。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 休憩お願ひします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時57分 休憩

14時57分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 通常の相談業務以外に、話を聞いていただきたいというお客さんも増えているという内容を伺っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 了解。幅を広げたと言ひますか、小さいことでも受け入れる件数が入っているという認識でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） ~~次の177ページで、4番、民生委員児童委員の活動の中で、ごめんなさい、ちょっと聞き逃してたらなのですけれども、30年度合計で2,417件というお話の中で、調査活動というので2万幾つというお話であったかと思ひますけれども、その辺の詳しくご説明をお願ひいたします。~~

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 ~~今ご指摘の表の横にありますその他の活動件数合計の数になっておりまして、2万7,008件という。~~

○委員（浅田基行） 了解いたしました。今の質疑取り消してください。

○委員長（杉山茂規） 質疑取り消します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） では、問題別相談指導件数のところで、子供の教育学校生活の件が非常に30年度上がっているかと思うのですが、その要員は何ですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 各民生委員さんが細かく地域を回っていただいた結果というふうに判断しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時59分 休憩

15時00分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） それでは、逆に減っているという意味で、地域在宅福祉というのが逆に減っているのですけれども、こちらはいわゆるこまめに行かなかったという理由になるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 そのときのタイミングもあるかと思いますので、訪問件数が減ったということではないと思います。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時00分 休憩

15時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 176ページの1番の社会福祉協議会補助活動ということで、今回雨天により中止になったのですけれども、これによって費用的なことはどうなったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 これは当日の荒天により決定した事項でありましたので、講師等も手配をしている関係上金額等は変更ございませんでした。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 177ページで、4番、民生委員ですけれども、今回3年で改正されるということなのですからけれども、委員数97人になっていますけれども、これ全員変わるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時03分 休憩

15時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 任期終わりました、全員改選ということになりますけれども、継続してやられる方もいらっしゃいます。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時04分 休憩

15時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 176ページの社会福祉協議会の関係ですけれども、先ほどの補助活動で福祉大会の件がありましたけれども、あわせてふれあい給食、527人参加というのですけれども、これも補助事業ということなののでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 この事業につきましては、在宅高齢者を外へ引き出すのと栄養管理も含めまして、公益的な事業として認めさせていただいております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 176ページ以降も含めてですけれども、社会福祉協議会に対しての補助事業もそうですけれども、委託事業かなり多くて、福祉部門のところすごく担ってもらっているのですけれども、今の社会福祉協議会の陣容は職員数が何人で、こちらの市側が期待しているような活動は十分されているというふうに考えているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 現在補助金全体の見直しもさせていただいているところではございますけれども、現在市から期待して補助、委託をしている事業につきましては、十分遂行されているというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ~~職員数は、何人か把握されているのでしょうか。~~
（「休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時06分 休憩

15時07分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） それは結構です。

○委員長（杉山茂規） 取り下げで。

○委員（土屋秀明） 176ページに補助金内訳というところに、内容が事業運営費というふうに記載してありますけれども、これは運営事業費ということではないですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 こちらの記載につきましては、各種社会福祉協議会で行われている事業に対して補助をさせていただいているという意味でございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そうしますと、いわゆる人件費等を含めて一般的な運営に係る費用への補助はしていないということですか。

（「休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時07分 休憩

15時08分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
社会福祉課長。

○社会福祉課長 こちらの事業補助金につきましては、事業費についての運営補助ということになっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 178ページの12番で、避難支援の計画の個別計画の作成ですけれども、割合が20%台で恐らく求めている割合でも相当低いのだと思いますけれども、これは30年度も含めて、これからもそうですけれども、どういふようになてこ入れをしていくのでしょうか。

（「休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時09分 休憩

15時09分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 こちらの22.7%につきましては、全てリストに載せております対象者の中から個別に避難計画を立てていただきたいという方が22.7%いるといった意味合いになっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） すると、逆に聞くと、リストに載せている人、その要件はどういう人、例えば個別、一人暮らしだとか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 各市、町で設定ができる状況にはなっておるのですが、具体的に申しますと、要介護3以上の方、身障手帳の1、2級の方、養育Aの方、そして精神手帳を持っている1級の方、そして県に登録している難病指定のある方、こちらを対象にしております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） わかりました。ありがとうございました。

その方たちが個別の計画を策定してほしいという希望を出していないから、これだけの割合だということですね。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 そのとおりです。

○委員（土屋秀明） それで、逆に言うといいのですか。本来なら対象とすべき人リストに上げていて、本人の個別計画の意思がないからといってそれを策定するように働きかけないということは、むしろいざというときに大丈夫なのですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 働きかけはさせていただいております。その中で私のものをつくってくださいと申し出があった場合に対応させていただいておりますので、必要かつ十分な内容になっているかと思えます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 十分かどうかは別にしまして、次に行きます。

180ページの5番に緊急通報システムの整備事業とありますけれども、これの通報システムの中身をちょっと教えてください。どのような手法なのかという。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 ご希望のあるご家庭、お一人暮らしの高齢者のお宅に押しボタン式の消防へ直通するシステムをおかせていただくような形になっております。ボタンを押すと直接消防に通報が入るようなシステムの内容になっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そのような通報先は消防署オンリーということですか。

- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 救急車を要請するという意味で、消防本部のほうへ連絡が行くようになっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ほかの自治体ではもちろん生命云々というときには消防なのでしょうけれども、一般的に何か危険だとか、急を要するというときにその近くの役員だとか、あるいは民生委員だとか、隣近所に通報するという手法をとっているところ結構あるのです。スマホのようなものを使いながらというのものもあるのですけれども、今これそのものが、裾野市の今行っているものは119番がわりに押すという、そういうことですね。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 そうです。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 181ページに敬老会の事業があります。先日敬老会行われましたけれども、現在の敬老会の今のやり方、中央で集まってとか、あるいは芸能というのは何年度までの予定でしたっけか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 令和2年度までとなっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） この間敬老会、私は午前の部で午後出なかったのですが、午後のほうからちょっと聞いた話ですと、最後の、ちょっと休憩で。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時14分 休憩

15時17分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
- 委員（土屋秀明） 敬老会の現在のスタイルが令和2年度で終了ということですが、それ以降のやり方については各地区の皆さんが少しでも理解できるように方法も含めて早目に考え方を知らせたほうがいいと思います。終わります。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 180ページで、（3）で紙おむつ、金額が上がった原因として、介護度が高くなっているのではないかという、ニーズが減ったのに金額が上がっているのは介護度が高くなっているのではないかというようなことでしたけれども、ちょっと休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時18分 休憩

15時18分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 今年度から減額されるということで、その辺どのように考えていますでしょうか。実情は逆に金額上がっているのですけれども、それが今回減額されるということに対してはどのような考えなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時19分 休憩

15時22分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康福祉部長。

○健康福祉部長 事業全体を現在のところ維持していく中で、上限を決めた中で幅広く必要な方に助成をしていきたいというふうに考えています。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 184ページの災害救助費についてなのですからけれども、ちょっと休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時22分 休憩

15時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 179ページの、委員長、暫時休憩で。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時24分 休憩

15時25分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 179ページの（2）の高齢者食事サービスの配達と180ページの（10）、一人暮らしの高齢者、ヤクルトの配達の週3回というのはダブらないようにという働きかけで配達を行っているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 この2つの事業につきましては、同じような意味合いを持つ事業ではありますけれども、食事サービスにつきましては本人のご希望日に配達をさせていただいているもので、ダブらないようにという調整は行っておりません。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 一人暮らしの高齢者事業の乳酸飲料を配付しているほうは指定ではなくて、何か曜日決まっているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 (10)の一人暮らし高齢者訪問事業につきましては、毎週月曜日、水曜日、金曜日の配達となっております。
(「暫時休憩願います」の声あり)
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。
15時26分 休憩
- 15時27分 再開
- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
(何事か声あり)
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。
15時27分 休憩
- 15時27分 再開
- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
ほかはいかがでしょうか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） 調書の183ページ、これの5番のところなのですが、生活困窮者自立支援の受け付け、これでいろいろ就労の相談をされていると思いますけれども、30年度その相談から実際に就労に結びついた事例はありましたか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 4名の実績となっております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） その4名の方は、そのまま継続されているという状況ですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 継続しております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） この相談事業で、御課として目標と言いますか、どんなことで30年度1年間取り組まれたのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 人数的なものもそうなのですが、就労された方につきまして、継続責任フォローをして、できる限りといいますか、離職されないような形で相談を受けていくといったところを目的にしております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

次に、分科会外委員の質疑をお受けいたします。

岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 今の三富委員のことに関連してお聞きしたいと思えます。相談件数の95件ということで増えているということですが、30年の相談の対応状況とか、それらの報告書というようなものはあるのでしょうか。どういう相談があって、こういう対応をして、こういうことやったとかというそういう報告書みたいなもの、もし……。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 そのケースごとにケース記録をとってこちらのほうで登録しております。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） この事業の方向性、例えば相談員の人数が適正なのかどうだとかというような部分でぜひ個々のケースの中身ではなくて、相談全体の報告みたいなものがもしつくってあれば、ぜひ提示をお願いしたいな、議会のほうにも提示してもらえればと思うのですけれども。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時31分 休憩

15時31分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 現在のところ、こちらの事務事業調書のほうに記載されている内容が全てでございます。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 就労の実績ということではわかるのですが、例えばあと住居だとか、経済的な問題だとか、そういう部分の中身も多分含んでいるのではないかと思うのですけれども、それらの実態はわかるようなものというのは、今のこの中で報告でも構わないのですけれども、就労だけではなくて相談全体で問題とされているもの、今の1人の相談員の方で何か問題とされているようなものももし30年度あれば、それではお聞きします。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

- 社会福祉課長 相談の中でいろんな内容のものをお受けしておりますけれども、現在のところ報告できる数値につきましてはこちらになります。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） お願いします。177ページです。6番のDV相談と7番の高齢者の虐待相談合わせて聞かせてください。これは、どのようにして相談と
いうか、それが入ってくるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 直接窓口に来られる方もいらっしゃいます。中には電話から相談を受ける場合もございますし、警察から情報をいただく場合もございます。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） そして、その一時保護に至っているのが両方ともゼロ件なのが、至らなかった理由を教えてください。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 相談の内容を確認させていただいて、対応を考えるところなのでございますけれども、早急な対応が必要ないケースが全てだったということになります。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） そうすると、一時保護を……暫時休憩してください。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時33分 休憩

15時33分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） そうしますと、一時保護をしなかったことによって、もし何かあったときの責任の所在というのはどうなるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 一時保護に関しましては、全て社会福祉課のほうで判断をさせていただいているところです。必要がある場合には女性用のシェルターのほうにご案内をさせていただいておりますので、重篤なケースにならないよう努めてまいります。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の質疑を終わります。
以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で社会福祉課の質疑を終わります。

（「委員長、済みません。訂正を一つお願いしたいんですけど」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 先ほど緊急通報システムの答弁の関係で1点訂正をさせていただきます。緊急通報が入るところにつきましては、119番だけという話をさせていただいたのですが、システム上で第1通報先が消防本部、それ以外に第2通報先、第3通報先というの設定ができますので、先ほどおっしゃった、例えば近所の方、親類の方、民生委員さん、こういう方を第2、第3に設定している事例はございます。

○委員長（杉山茂規） よろしいでしょうか。

以上で、社会福祉課の質疑を終わります。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもって散会いたします。

15時35分 閉会

裾野市議会 予算決算委員会 厚生文教分科会

令和元年9月20日（金）

9時00分 開会

○委員長（杉山茂規） ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配布のとおりであります。

審査の方法は、先日と同様に当局の説明を求めてから質疑に入ります。

昨日に引き続き、健康福祉部関係の質疑を行います。

健康福祉部

健康推進課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） おはようございます。よろしく申し上げます。調書の141ページで、ちょっと聞き逃したら済みません。141ページの2番、救急医療事業費で、30年度市民の来院等入院というところが数字上一緒という形になっているのですけれども、来院されたことが入院ということですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 2の救急医療対策事業の裾野赤十字病院の欄ということでよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時24分 休憩

9時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 夜間休日の利用人数となっておりますので、来院382でそのまま入院で382という形で捉えていただいて構いません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 来院で戻られたといいますか、帰宅されたという数字は入っていないということですか、もしくはなかったということですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 この場合、来院されてそのまま入院という形をとった方が全てという形になっておりますので、それ以外の方につきましてはこの数字に入っておりません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

暫時休憩します。

9時25分 休憩

9時25分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

よろしいでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 同じページの業務委託のところで、今年度心の健康づくり講演会委託がなくなっていますけれども、理由を。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時25分 休憩

9時25分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 委託料ではなく、講演者への報償費という形で支払っているため、この委託業務の中からは削除しております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうすると、この講演自体されているということでよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 健康づくり講演会自体は、例年のとおり実施しております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 142ページで伺います。ゲートキーパーのところなのですが、（2）の相談・講演会・研修会のところですか。ゲートキーパーをこれまでも毎年養成講座やっていましたが、ゲートキーパーのスキルアップ研修というのが入っていますけれども、その内容はどのようなものなのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時27分 休憩

9時27分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 ゲートキーパースキルアップ講座につきましては……

○委員長（杉山茂規） マイクお願いします。

○健康推進課長 ゲートキーパー養成講座につきましては、参加者21人でございます

けれども、主に心のボランティアの会の会員の方が受講をされておまして、現在ゲートキーパーとして活躍されている方のスキルアップ、底上げのための講座という形で実施しております。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時28分 休憩

9時28分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 グループワーク等を実施しております。そのグループワークの中でのアンケートの結果で、再度またスキルアップ講座来年に続けていきたいというふうに考えておりますけれども、このグループワーク後のアンケートで出てきた中には身近でうつ病の方や自死された方がいるというアンケート結果が複数出ておりますので、今年度につきましては、その辺をもう少し深掘りしていきたいなというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） それでは、実施をしたことによって、効果、その辺も出てきているということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 ゲートキーパー自体の活動というのが、こちらのほうで全てが把握しているわけではございませんけれども、非常にスキルアップ講座を希望される方が多いというふうになっておりますので、関心は高く、底上げにつながっているのではないかと考えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 済みません。次のページです。母子健康手帳のところで、20年をつづる母子健康手帳に変更をしたということですがけれども、この中身にどのように違う手帳なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。

○健康推進課課長代理 内容につきましては、以前の母子健康手帳と大きく変わった点は、これまでの母子健康手帳は中学の年齢ぐらいまでしか母親、または両親が記載するページというのがあまりなかったのですけれども、20年をつづる母子手帳は、20歳まで子供さんの記録、それから両親の覚え書きとして記載するページが増えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） これも効果というか、狙っているものだと思うのですがけれども、その辺はどういうところでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。

○健康推進課課長代理 就学までの間しか子供さんに対しての視点というところをなかなか保護者のほうも思い出をつづったりとかということもない場合が多いので、できるだけ長期にわたり子育てをする中での思いであるとか、子供さんの成長に関しての記録を残すことで、より親子関係が持続できたりですとか、深まっていけばいいなという期待を込めてこの母子健康手帳に変更しております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。ちょっとページ戻りまして……

○委員長（杉山茂規） マイクお願いします。

○委員（浅田基行） ページ戻りまして、142ページの5のいのち支える裾野市の自殺総合対策計画策定ということで、昨年度は市民調査ですか、6项目的に調査を実施して30年度実施するという認識でいるのですけれども、どういう策定といいますか、どういう計画で実施だったのか教えてもらえますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 自殺総合対策計画につきましては、上位の県の計画を参考にさせていただきました。参考にするに当たり、まずそこに記載してございますけれども、ワークショップ等を開催し、この計画に対し、また自殺に対しどのような考えを持っているのかというところを吸い上げるといったところを行っております。また、アンケートを実施しまして、自殺に対する気持ちですとか、それから考えですとかというのを吸い上げさせていただいて、また市内の自殺の傾向等から勘案しつつ計画を策定してございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） アンケートもとられて現状が把握されたというご答弁だと思うのですけれども、それを行って今後どのように対策というか、どういう活動という、しようとお考えでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 まず、目標としましては、平成32年度に27年度に比べて自殺死亡率を30%以上減少させようということを目指しておりますが、具体的な活動としましては、今のところまだ小さな活動なのですけれども、何か悩みがあったら相談してくださいというようなことが書かれたカードサイズのを各コンビニですとか、商店ですとか、そういうところに置かせていただきまして、それを持っていただいて、何かあったら連絡をしていただくというような活動を行っております。これ非常に好評でして、追加でなくなったから欲しいというような声も聞かれています。その他につきましては、10月に計画してございますけれども、職員を対象としたゲートキーパー養成講座等も実施する予定になっております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） わかりました。

その件わかりました。次、145ページで、真ん中の裾野市健康マイレージの事業があるかと思いますが、昨年度と比べて達成人数、その横の2枚目以降の人数もかなり30年度は減っている実績になっておりますけれども、この辺はどのような要因であったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 要因につきましては、分析等ができておりませんので、なかなか難しいところがございますけれども、健康マイレージに参加される方という方が割とリピーターが多くて、新規の開発ができていないといったことが考えられます。したがって、昨年度やったけれども達成できたかなという方は段々興味を失って行かれると、そのため減っていくのではないかとというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 今おっしゃられたとおりになかなかちょっと増えていかないというのが見えてきているのですけれども、何か工夫をして増やそうというような考えはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 まずは、健康に対して興味を持っていただくというところが大事なのではないかと思っておりますけれども、そういう意味合いも含めまして、先ほどご説明いたしました健康アンバサダーを養成していこうといったような活動を行っております。また、健康マイレージに直接関係するかどうかと言われるとなのですけれども、寄り道ウォーキングというのを開催しております、こちらに参加していただく健康マイレージのほうのスタンプを押すといったことも行っておりますので、この寄り道ウォーキングにももう少し参加者を増やしていくとかというような活動をしていきたいと思っております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 142ページで、4番、精神保健事業でもって電話でもって何度も一人の人がかけてくるというようなことを先ほど言われていましたけれども、この受ける人というのはどのぐらいいるのでしょうか。対応する職員の方は。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 健康推進課にかかってくる精神の関係の電話、もしくはそれ以外の相談の電話につきましては、保健師全員で対応しておりますので十数名の保健師で対応をしております。中には指名をしてくる方もいらっしゃいまして、〇〇保健師さんいらっしゃいますかという形でかかってくるケースもございます。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時38分 休憩

9時39分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 143ページですけれども、2番の（2）と（3）、前年度には金額入っているのですけれども、今年度入っていないのですけれども、わかりますか。妊娠健康償還払い申請者に関する扶助費ですか、扶助費の金額。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 扶助費につきましては、別枠でもうけておりまして、右下のほう丸、償還払い（扶助費）というところをごらんになっていただけると、そこに扶助費の金額の29年度との比較が出てございます。ちなみにですけれども、妊婦健康診査につきましては29年度143万余りから30年度173万余りというふうに20万ほど増額になっておりますし、新生児聴覚スプリング検査につきましても、7万円程度の増額になっておりまして、里帰り出産がかなり増えているため、償還払いも増えているといったようなことになっております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。144ページの不妊治療の助成なのですけれども、11番、これって……休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時40分 休憩

9時41分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 助成の割合とかありますでしょうか。補助率。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時41分 休憩

9時41分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課課長代理。

○健康推進課課長代理 不妊治療及び不育症の治療にかかった費用の自己負担分の2分の1で、それを上限10万円としまして年間に2回、最長5年、費用助成を行っております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 146ページの予防ですけれども、風疹ワクチンの記載があるので、済みません。暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時42分 休憩

9時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。風疹抗体検査事業があるかと思うのですが、この事業は30年度行わなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 平成30年度につきましては、県の事業として風疹抗体検査を実施しておりまして、市の事業としては行ってございません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。148ページの（3）のがん検診結果のところですが、その下の（6）、検診受診の啓発活動ということで昨年度よりチラシをかなり拡大といいますか、枚数を増やして配付されている実績になっておるのですが、ただ受診している受診率、29年度と比べて余りちょっと効果が現れていないと言いますか、乳がんに関しては若干ちょっと受診率が下がっているのですが、ちょっとそういう啓発に対しての30年度の効果はどうお考えだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時45分 休憩

9時45分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
健康推進課長。

○健康推進課長 受診率につきましては、胃がん、子宮がん、乳がん検診のそもそもの対象者の年齢が変わってございますので、対象の人数が変わっていることもございまして、受診率が下がっているといった形になってございます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時45分 休憩

9時46分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
健康推進課長。

○健康推進課長 チラシの配布につきましては、市内スーパー等でかなりまいてはいるのですが、この辺大きな企業も多くて企業内の検診でがん検診を済ませてしまうという方が結構ございまして、なかなかこの国保の対象によるがん検診が受

診率が上がっていかないといったような状況ではございます。ただ、県の指針ですと、受診率を上げることも重要なのですが、受診した結果精密検査の対象になった方の受診率をまずは上げてくれといったようなことを言われておりますので、今後は受診率も上げる必要はございますけれども、精密検査になった方が確実に病院を受診して、受診するようなそういう受診率を上げていきたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そういうお話で行きますと、こういった啓発のやり方をこれからしようかというのはどういうお考えでいらっしゃいますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 まず、一般的な受診率向上のためのチラシの配布等は今後とも行っていく必要はあると思っております。先ほどお話をしました精検率を上げるためには受診勧奨、電話なり、はがきなりの受診勧奨をこれから行わなければならないという話を担当の保健師とも話をしております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その点わかりました。

152ページのヘルシーパークのところですか。3番の維持管理費のところ委託業務の指定管理料を30年度見直して、ちょっと済みません。説明して聞き逃していたら申しわけないのですけれども、もう一度増になった理由を教えてくださいませんか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 増になった理由ですけれども、健康推進課、市のほうで運営をしておりました無料送迎バス、これにかかるものを全て指定管理者のほうで行っていただくことで指定管理料を算出して提示してこの金額でという形になってございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 金額だけで見ますと、倍近くちょっと金額が上がっていて、今言われるのが送迎バスを含むというのは、ちょっと金額的に倍もするのかという素朴な疑問するのですけれども、その辺はどうでしょうか。休憩で。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

9時49分 休憩

9時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 指定管理料が29年度に委託して倍近くになっておりますけれども、この差額分というのはバス運行にかかる経費というふうな形になっております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） ちょっと休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

9時53分 休憩

9時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。152ページのあしたかの湯の天井修理なのですけれども、これの修理に至る原因とか、そういったものはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 改修前の天井ですけれども、議員の皆様ご承知のとおりヘルシーパーク非常に塩分濃度が濃い風呂でして、そのお風呂から立ち上る塩分を含んだ蒸気が天井裏の中に入ってしまいまして、天井の内側からさびてしまって落下の危険があったということにより今回修繕工事を行っております。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

9時54分 休憩

9時55分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 その塩分を含んだ蒸気が天井裏に回ってしまうということの対策として今回の工事を行ったのですけれども、今回の工事ではまず材質自体をステンレスですとか、アルミですとか、腐食に強いものを使ってございます。また、天井裏を圧力を少し高めるような形をとりまして、蒸気が侵入しにくくなっているといった工事も行っておりまして、前回のように天井裏に蒸気が入って中からさびていくといったことは防げるのではないかとというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） もう一つ、ほうえいの湯ですか、そちらのほうの天井の点検等はあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 ここにあしたかの湯というふうにご書いてございます。等というのはあしたか、それから箱根、両方の内風呂を合わせた工事になってございます。ほうえいの湯というのは外の露天風呂になりますので。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 142ページに、一番上ですけれども、赤十字病院の補助事業ありますけれども、ここにはないのですけれども、病院への来院者とか入院者数というのは何人なのか、あるいは今までの前年度から増えているとか減っているとか傾向あったら。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時57分 休憩

9時57分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
健康推進課長。

○健康推進課長 トータルの来院者数というのは、済みません。きょう持ってきていないのですけれども、傾向としましては、年によって多いときもあるし、少ないときもあるといったような形になってしまいます。ちなみに、外来の患者数なのですが、1日平均の患者数でいきますと平成28年度が149.7人で平成30年度につきましては144.9人というふうに、若干ではありますけれども、減少傾向が見られます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 同じページに、先ほども出ましたけれども、自殺対策のがありますけれども、裾野市の自殺者というのは何人ぐらいいて、その市のちょっと傾向のようなもの、裾野市の実態に合わせて対策をとということですので、どういうことでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 裾野市の自殺者数ですけれども、平均年10人程度でございます。自殺者の内訳ですけれども、同居の高齢者が比較的多いといったような傾向が見てとれます。実は、県の自殺の傾向ですとやはり若年層が多いという傾向になっているのに対しまして、裾野市は高齢者層が多いといったような形になってございます。対策ですけれども、先ほども少し申し上げましたけれども、相談窓口を周知させていくといったことと、それから介護の関係とかで家族から相談があったときにはうちの精神の保健師のほうにつなげていただくとか、そういうようなケースの連絡とをのって行って、対策をしていこうというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 143ページの右です。産後ケア事業がありますけれども、それぞれ各1人いて2人が利用されたということですが、この事業の具体的内容をちょっと教えてもらえますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 産後間もない産婦が精神的、もしくは体力的にケアが必要だといったようなことを保健師が相談等で判断した場合、指定の助産施設、もしくは病院等に1泊、もしくはショートステイ、デイケアで日中の利用といったことを勧めると

いったような事業になっております。デイケア、ショートステイにつきましては、市の補助が導入されてございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 結果の数字なのですけれども、この人数は実態をあらわしているのでしょうか、それももう少し多くてもいいのかなって、見込みはどうだったですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 こちらのほうでケアが必要ではないか、もしくは相談があった人数は4人でございます。ただ、そのうちの2人はデイケア、ショートステイとも必要がないといったようなことを相手方のほうからございまして、結果2人というふうな利用になってございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ~~144ページの11番に不妊治療がありますが、いわゆる成果というか、こういうような助成をした結果、妊娠にたどり着いたというような実数はあるのでしょうか。書いてある。~~

○健康推進課長 はい。

○委員（土屋秀明） ~~どこにありますか。~~

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時02分 休憩

10時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 先ほどの質疑取り消してください。

○委員長（杉山茂規） 取り消します。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ~~146ページのがん検診の関係ですけれども、子宮頸がんの予防ワクチンは副作用が多いというようなことで、国は勧めているのです、実態には、積極的にならないという中でこの数字ですけれども、逆に裾野市で子宮頸がんにかかってしまっている人数というのは何人ぐらいいるかというのわかるでしょうか。~~

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時03分 休憩

10時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

（「委員長」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 答弁がまだなので。
（「いい、委員長。質疑取り消します」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 148ページのがん検診、先ほど来出ていますけれども、この検診率、受診率は全国平均とか静岡県 averages と比べて市のポジションはどの辺なのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 がん検診の種類によっても大きく変わるのですけれども、どのがん検診につきましてもおおむね県平均となっております。ただ、大腸がん検診が若干低かったというふうな結果が出てございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 150ページに健康アンバサダーの養成関係がありますけれども、62人参加されたということですのでけれども、その62人の人たちは参加するきっかけは何かあったのでしょうか。何か別の活動をしている方たちが同時にこれに参加しているということでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。
- 健康推進課課長代理 もともと健康推進課がお願いをしている事業へのボランティア活動等を行っていただいている団体の方に多く呼びかけをしております、それ以外に一般市民の方からも募集をとっているような状況です。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 養成講座の修了というか、参加した方はその後どのような活動をお願いをするというか、期待しているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時07分 休憩

10時07分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
健康推進課長。
- 健康推進課長 健康情報というのは口コミで人に伝わるのが一番浸透しやすいということがございますので、まず健康アンバサダーになされた方には健康アンバサダー通信という通信ものを配付しております。それを見た健康アンバサダーが身近の人に口コミでこうだよというふうに伝えていただければ健康運動の底上げになるのではないかとというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 効果が出ればいいと思うのですがけれども、そういうような活動をされた方がこういう活動をしたのだとか、そういう実績のような積み上げがないと、今度は次に出す戦略的なものに結びつかないと思いますけれども、アフターは

どんなふうに考えているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 健康アンバサダーの活動につきましては調査をかけてございまして、活動内容については把握しておりますけれども、済みません。きょうはその活動内容についての詳細は持参してきてございません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。休憩でお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時08分 休憩

10時10分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 145ページの一番下のすその33プログラム、これの65歳以上というのはゼロということなのですけれども、その対象が乳児を持つ母親学級参加者に対象ということでこのような結果になっていると思うのですけれども、対象をそこに絞った理由というのはありますか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時11分 休憩

10時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 65歳以上の方にお声がけしてもなかなか参加者が集まらないといった現状がございまして、幼児を持つ母親学級という他課で実施している事業なのですけれども、こちらの参加者にお声がけをして実施させていただいているといったような状況でございます。

（「休憩でお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時12分 休憩

10時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 済みません。今のすその33プログラムの件でもう少しお聞きしたいのです。県のプログラムということは、何年間という限定があるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 限定はございません。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 29年度がたしか9人の方ぐらいが参加だったと思うのですが、30年度参加されている8名の方と重なっている方はいらっしゃるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 全く新しい方で実施しております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 参加は広く求めているということなのですが、ここに書いてある例えば母親学級の参加者を対象にという部分だと、この対象人数というのは何人の方ということになっているのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時14分 休憩

10時15分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 幼児を持つ母親学級という事業の中の一つのプログラムとして33プログラムを組み込んでおりますので、ここに書いてある人数イコール母親学級への参加者という形の人数になってございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） このプログラムを実施することで、ここにも一応生活改善とか書いてあるのですが、その目指すものというのがもう少し具体的にありますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。

○健康推進課課長代理 3人で一組になりまして、それぞれのグループごとに目標を立てていただいています。それがウォーキングの歩数であったりとか、体重減少であったりとか、それぞれのグループごとですとかに、個人によっても目標の設定が変わっていますが、おおむね事業の期間内に全部が達成というわけではございませんけれども、その目標に向かって、皆さん食事ですとか、運動ですとか、社会参加について努力をして達成を目指していただいているという状況です。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） これは今後も続けていかれるということによろしいのですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 今年度は健康推進課のほうで引き続き実施しておりますが、来年度以降体育施設の指定管理者のほうに業務を移管するような形で今検討しております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
三富委員。

○委員（三富美代子） 調書の143ページです。ちょうど真ん中の表、（4）の産婦健康診査のところなのですけれども、この事業30年度からということなのですけれども、対象者数が423名で、未受診者の方々がいらっしゃるのですけれども、この方々へのフォローはどのようなことをされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時18分 休憩

10時18分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。
健康推進課長。

○健康推進課長 この受診者の合計というのはこちらで受診結果が返ってきた方の人数になっておりますけれども、必ずしもこの方以外のところには何もしていないかという、必ず赤ちゃん訪問という形で訪問は実施しておりますので、その赤ちゃん訪問の際にこういう産婦検診の結果が出てこなかった方はフォローをしているといったような形になってございます。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 表を見ますと1回目、2回目というふうなことで記載されているのですけれども、これ1回目を、1人の方が2回まで受けられるというものですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。

○健康推進課課長代理 おっしゃるとおりです。おおむね産後2週間目とおおむね1カ月、通常の産後1カ月検診の時期と同様に2回受けることが可能です。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） その表の下の4番の妊婦歯科検診のほうですけれども、これ29年度までは勧奨通知を出されていたのですけれども、30年度この勧奨通知を行わなかった理由は何ですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。

○健康推進課課長代理 はがきによる成果も一部見られたのですけれども、まずは母子健康手帳の交付の時点での勧奨をしっかりとしようというふうに置きかえたこと

と、別冊の中に受診券が挟まっている位置を一番上に持ってくることによって、一番目につきやすいところに置くことで、受診率を落とさずに妊婦さんが気づいていただけるのではないかといた改善策を設けてはがきの勧奨を廃止いたしました。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 改善策のご説明いただいたのですけれども、実際に30年度終わって、その辺の結果としてはどう判断されていますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 結果的に受診者数が29年度に比較して落ちてございますけれども、同時に母子健康手帳の交付数もかなり落ちてございますので、その比較からすると受診率自体は落ちていないのではないかとこのように考えております。

（「暫時休憩してください」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時21分 休憩

10時21分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

三富委員。

○委員（三富美代子） そのところなのですけれども、152ページの前から出ているところなのですけれども、維持管理費の委託業務の表なのですけれども、これ合計欄がゼロって入っているのですけれども、29年度のところ、これはそのまま上の数字が合計でよろしいですよ。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 訂正させていただきます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょう。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。ちょっとページ戻って、確認といえますか、142ページの3番、裾野赤十字病院の補助事業の中で、一番下の医師確保等の支援事業、これ内容を見ますと、医師事務作業補助者2人分に対してこれらを補助をしているのですけれども、作業補助者2人分を補助しないと確保できない事業という意味でよろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 そもそもが医師を確保するために助成しているものなのですけれども、助成してもなかなか医師が来ていただけないといった状況がずっと続いております。医師を増やすということイコール一人の医師が診る患者数を増やすという意味合いも含めまして、医師がこういう事務的な部分を事務補助者のほうに投げることによって、患者を診る時間が増えるといったことから、医師事務作業補助者に対しても支援を行おうといった形で補助内容を少し見直してございます。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 要は、業務の効率を上げる意味合いでという認識でいいですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 おっしゃるとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょう。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 済みません。144ページ、育児教室のところで伺います。2歳児の親子教室30年度は開かれていませんが、これはもうなくしてしまったということよろしいのですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。
- 健康推進課課長代理 おっしゃるとおりです。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） それはどうしてでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課課長代理。
- 健康推進課課長代理 既に2歳ごろの年齢になりますと、支援センターですとか、保育園等に入園されている方もかなり増えてまいります。年々2歳児の教室への参加者数が減少してきたことが一番の原因となっております。ただ、そのかわりに保健師が訪問活動に出ることによって、健康相談ですとかに余りいらっしゃらない方の対応を増やしていこうということで2歳の教室は廃止とさせていただきます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） それでは、8番の訪問指導のところでは、幼児のところは特にだと思えるのですけれども、やはり増えていまして、戸別訪問を重視することによってこの人数が増えているのか、ですから同じ子供のところに行く回数が増えてこの数字になっているのか、人数自体が増えているのかどちらなのでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 人数自体も増えてございます。訪問指導につきましては、こちらからアクションを起こすときもございますけれども、相談によって指導に伺うということも増えてございますので、人数自体が増えているといった数字でございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 昨日のところでも……休憩してください。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時26分 休憩

10時26分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） それでは、子育て世代包括支援センターについて伺います。
11人の支援プランを作成をしたということですが、相談、あるいはいろんなこと、相談なんかの点数というのはどれぐらいあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 その上の10番のコーディネートという欄をごらんください。こちらが子育て世代包括支援センターでコーディネートした数になります。ケース319人、延べ616件を関係機関と連絡調整をしております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） このコーディネートの数も前年に比べるとかなり増えているのですが、それは子育て世代包括支援センターができたことで効果を上げているということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 そういう認識しております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 子育て世代包括支援センターなのですが、ちょっと相談に見えたときに相談をする部屋などが確保できないというようなこともあったと思うのですが、その辺はどううまく回しているのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時28分 休憩

10時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

健康推進課長。

○健康推進課長 相談につきまして、重篤の場合には別室を用意して、そちらのほうで相談を受けているといった状況でございます。

○委員長（杉山茂規） ほかいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） 142ページです。先ほど委員からも質問があったのですが、裾野赤十字病院の医師確保支援事業の件です。ちょっと先に1回休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時29分 休憩

10時30分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） この事業は、25年から始まっていて、25年度のときは医師が1人確保できているのですが、その後平成27年からはずっと事務作業補助者2人を過去ずっと4年間2人ずつ200万確保しています。この補助要項を見ると、1カ月以上の雇用ということなのですけども、この補助を出して雇用した方がどのくらいの年数お勤めになっているかというその後追いはされていらっしゃいますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 赤十字病院からの補助申請の別紙の中にここに勤められている方の給与体系ですとか、それから勤務時間と書いてございますけれども、ここ数年は同じ勤務時間、同じ勤務体系できてございますので、同じ方が勤務されているというふうにこちらのほうでは認識しております。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） 第4次総合計画の目標として、病院やかかりつけ医にある医療への満足というのを目標に掲げていらっしゃっていて、昨年よりも確かに向上しているのですけれども、特に裾野赤十字病院に関しては裾野市が補助を出しているということで、かかりつけ医として利用していただきたいという気持ちもあると思うのですが、この医師確保支援事業がこの目標にどのような効果を出しているかということはどういうふうに考えていらっしゃいますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 先ほども申し上げましたけれども、まず、この医師事務作業補助者がつくことによって、医師が行っている診断書の記入ですとか、さまざまなデスクワークがこちらの作業補助者のほうができるといったことで、1人の医師が患者を診る時間が増えるのではないかというふうに考えております。したがって、患者さんを診る時間が増えるということは、それだけ多くの患者さんを診ることができるということにつながりますので、結果的には医療に対しての満足が上がるのではないかというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） よろしいでしょうか。

ほかはいかがでしょうか。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 済みません。お願いします。141ページの救急医療対策事業なのですけども、裾野赤十字病院の数が減って、そして対比してその他の医療センターが増えているのですけれども、この傾向をどのように分析されているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

- 健康推進課長 夜間救急医療センターが増えているとかということで、あとは自治会の輪番制が増えておりますけれども、赤十字病院の二次救急まで受けていただいているのですけれども、夜間に関しては当直医がマッチングがうまくいかないというときもございまして、外科に関しては夜間救急ですとか、それから輪番制のほうに回っていただくということもありまして、若干ながらそちらのほうが増えているのではないかとこのように考えております。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 今その分析を聞きましたけれども、この実績を踏まえて翌年度にどのようにしようというふうに御課では考えられているのですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 まずは、赤十字病院のほうに医師の確保をお願いしたいというふうなのは例年、毎年言うてございしますが、なかなか人が集まっていたかかないといった現状でございます。今後も医師の確保につきまして、赤十字病院にお願いするとともに在宅輪番ですとか、夜間救急ですとか、そちらのほうである程度の外科のが以来、それから整形の外来というのを診ていただけるように今後ともお願いしていきたいというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 今の説明わかりました。ただ、減り続けるとやっぱり市民の信頼度というのも下がっていくので、この辺はしっかり頑張っていただきたいと要望して終わります。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。
以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で健康推進課課の質疑を終わります。

障がい福祉課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。

まず、186ページで特定財源の中で1点、ちょっと29年度にあつて30年度がないというのがあるのですけれども、障害者総合支援事業費の補助金66万7,000円、国庫補助金としてあつたのが30年度なくなったという、何か理由があるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 190ページをお開きください。この3の障害福祉システム等というのの3行目、システム改修委託、これに対する補助金でございましたので、これが29年度で終わっておりますので、30年度はなくなったということでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件わかりました。

次、187ページの3番の精神障害者入院医療費の助成事業ということで、30年度2名増えているのですけれども、この助成額というのは受給者に対してどのように支払われて、案分なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 医療費と、それから食事基準額の3分の1相当を償還払いの方法で助成しているというものでございます。

○委員（浅田基行） 償還払い。

○障がい福祉課長 はい。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 187ページの6番で福祉タクシーの利用がなかったということですから、その辺の理由を。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 要綱の改正が少しおくれたということと、それから少し周知が足りなかったということもございまして、30年度は利用はございませんでした。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 済みません。聞き漏らしたかもしれないのですけれども、187ページの9番のすそのきせがわ会、これがゼロになっているというところもう一度お願ひします。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 補助金に関するガイドラインというものが定められておまして、その中で繰越金等が多額の団体については執行を保留するようというふうな指示が出ておりますので、それに基づいて執行を保留いたしました。

○委員長（杉山茂規） いかがでしょう。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 暫時休憩で。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時01分 休憩

11時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 188ページの11、障がい者相談員設置事業が次年度では統合し、削減されていくということなのですけれども、その辺のちょっと今までの評価とそ
のようになった経緯というのはどうなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 この制度は、障害を持った方など、あるいはそのご家族なんかの一般の方が相談をするという事業でございましたが、192ページの上の上段、相談支援事業というのをごらんください。こちらは、いわゆるプロ、専門家の相談支援事業がございまして、こちらが充実してきたということで相談員のほうを休止して、こちらに統合したものでございます。

（「ちょっと暫時休憩で」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時03分 休憩

11時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 186ページの扶養共済事業の関係ですけれども、この加入をする場合の条件はどういうような条件でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時05分 休憩

11時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 心身障害者の保護者が死亡し、または重度障害となったときの心身障害に対する年金を支給するためにつけられている制度でございまして、加入の条件……休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時06分 休憩

11時06分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 先ほどの質疑訂正をします。

それでは、この扶養共済への加入をしている割合、何%ぐらいの人が加入しているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時07分 休憩

11時08分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 4%ぐらいの方が、加入、もしくは年金を受給されている方になります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 保護者が死亡した後の生活等を考えてみると、この共済に加入しているのが当然少しでも有利な話ですけれども、加入できるのに加入をしていない人たちに対しては、あるいは世帯に対してはどういうような働きかけをしているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 基本的には障害者手帳の交付のときにご案内を差し上げております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） それは一時的なことでしょうけれども、それで加入していない人も相当、先ほどのパーセンテージからするとすごく多いのですけれども、それに対しては、その後の生活を考えていくならもっと強力で推進すべきだと思っから、どのような追っかけのあれをしているのでしょうかということです。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 その後も折に触れご案内をしております。休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時09分 休憩

11時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 187ページの6番のところ、済みません。重度心身障害者タクシーのところなのですが、重度心身障害者タクシー、利用人数が30年度78人なのですけれども、これは利用されるのは何か条件というか申し込みのやり方が、対象は全員の肩が支えるようになっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 年度当初に申請をいただきまして、タクシー券を発行いたします。それを利用のときに使っていただくという仕組みになってございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件わかりました。

その利用率というのですか、余りといいますか、余り使われていない、ちょっと低いように感じるのですけれども、その辺はどのようにお考えでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長代理。

○障がい福祉課長代理 ~~この制度につきましては、このタクシーの助成と自動車税の軽減等いずれかの選択をしていただくような形になります。ですので、こちらのほうのタクシー券利用できる方につきましては、自動車税の軽減を、障害手帳を持つことによって自動車税の軽減を受けることができるのですけれども、これを使っている方につきましては、この制度の対象とならないものですから、タクシー利用券を使われている方がこの人数という形になります。~~

（「休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時13分 休憩

11時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長代理。

○障がい福祉課長代理 済みません。今の発言取り消します。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時13分 休憩

11時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 発行はしておりますが、確かに利用率が低くなっております。お

持ちの方の都合だというふうに、ご事情によるものだと思います。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） この辺の利用率を向上させるような改善といたしますか、向上するような働きかけみたいなのは何かやる、もしくはやる予定でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 あくまでも本人の希望による利用でございますので、発行はしておりますので、そこから先は利用者の方のご自由によるものと考えます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件、了解しました。

次、193ページの13番、障がい者スポーツ教室及び一般就労の支援事業の中で、実施回数が12回と増えたのですけれども、こちらは12回増やして、7回のとくと増やした内容というのは何でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 スポーツ教室につきましては、29年度から始めた事業でございます。最初どんなスポーツにするかとか、そういう準備の期間がございましたので、実質4月から始まってございません。毎月1回ずつです。

○委員（浅田基行） 毎月1回ずつにしたということですか。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 29年度は2カ月1回ペースを30年度は毎月ペースにしたような感覚でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 始まったのは8月ということでございます。8月から毎月始めたと、そういうことで。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件、わかりました。

社福ですか、裾野市社会福祉協議会のほうでやられているかと思いますが、回数を増やすことによって人が増えたとか、どのような体制でやられているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 先ほど申し上げましたけれども、初年度はどんなスポーツにするかとか、その準備の期間がございましたので、実際に試してみたりとか、そういう準備期間、あと募集の期間とかございましたので、回数が増えておりますが、特に人が増えたということではございません。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時17分 休憩

11時17分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 訂正をお願いいたします。先ほど8月からだと申しあげましたけれども、9月からの7カ月間で7回でございます。

（「委員長、暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時17分 休憩

11時18分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかは質疑ありますでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 187ページの9番、裾野市身体障害者福祉会に対する補助金ですか、これは29年度から30年度にかけて減額されているのですけれども、障害者自体は増えているのではないかなと思うのですけれども、その辺減った理由を。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 これは、一般財源のシーリングによって下げさせていただいたものです。

（「休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時19分 休憩

11時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 初めに、ちょっと確認させていただきたいのですけれども、調書の189ページの真ん中に総合計画に関する指標が載ってしまっていて、32年目標が1,000件って入っているのですけれども、先ほど課長の説明ですと九百何十件というふうに私は伺ったのですけれども、その辺の数値の違いというのは何なのか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 32年度の目標が1,000件でございまして、30年度の目標が920件だったということでございます。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 先ほどの説明は、30年度の目標ということですか。

○障がい福祉課長 そうです。

○委員（三富美代子） その件わかりました。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 同じところですがけれども、この目標値に対して結果は低い状況にあるのですけれども、この点について検証といいますか、どう捉えられておられますか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 先ほど申しあげましたけれども、その表の上、計画相談支援給付の利用者数が276で、障害児童の障害者数は121で合わせて397が対象者数でございますので、ただしその方々が半年に1回とか、あるいは変更とかもございますので、550程度が適切な目標値であるというふうに考えております。休憩願います。休憩いいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩いたします。

11時22分 休憩

11時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 調書の189ページです。そのうえのところにも入っているのですけれども、一般就労希望者に対する就労以降の支援というところで、この平成30年度は実際何人ぐらいの方が一般就労につけたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時24分 休憩

11時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 実際に就労につけた方の数の数字は、済みません。手元にございませぬ。

○委員（三富美代子） 数字は、後ほどお聞きするというのでいいですか。

○委員長（杉山茂規） では、数字につきましては、後ほど報告をいただきたいと思ひます。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 28年度の数字でございますが、10名の状態です。30年度については後ほど。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 188ページの12番に1市2町での福祉有償運送運営協議会という

のありますけれども、この内容、審査とか、要するに何かを認可する、何かそういう公共の事業に運送をしたいというところが許可を得るようにこれを申し出るということなのですか、この会は。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。マイクお願いします。

○障がい福祉課長 福祉有償運送という事業を始めるについて、各市、町、町は複数市、町で協議会を構成して、国への申請の進達ですとか協議、並びに事業の実施状況について指導を行うというものでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 隣接している市、町ですけれども、エリアはこの1市2町の市、町域の中で事業を活動する事業者にとということですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 この1市2町の中の住民の方が利用される事業所を対象としております。休憩願えますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時27分 休憩

11時27分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 昨年この2回会議やっていますけれども、その中で裾野市に存在する事業者がこれによって認められたとかという、事業を開始したというケースはあるのですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 新規に登録された事業者はございません。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 新規はないならば、要するに継続しているようなところというのは、市内業者というのは何社ぐらいあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 4事業所がございまして。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） その4事業所がやっている、要するに代表的な、どういうような事業をしているというのは簡単に。事業名はいいですか、事業の内容。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 これは本当に運送だけでございます。運送事業。休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時28分 休憩

11時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 市内で2つの事業所が事業を行っております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 身体に障害のある方の移送、動かすための事業でしょうから、要するに必ず人が伴っての移送事業ということなのではないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 講習を受けた資格を持った方が移送に当たっております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 調書の193ページの右上なのですけれども、③の軽度・中等度難聴児補聴器購入の件ですけれども、29年度は実績があつて、30年度はゼロということなのですけれども、この購入のできるそういった児童生徒の対象者の把握というのとはされているのですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 ちょっと待ってください……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時30分 休憩

11時31分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 把握しておりません。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） この内容について、例えば学校を通じてとか周知ということについてはお考えはなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 この対象になりそうなお子さんがいた場合に、学校なんかから相談があることはございます。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） それと、障がい福祉課としては特にそういった周知ですとか、この制度があるというようなことのお知らせはなさらなかったということですね。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 相談に乗っていますので、そういう方がいる場合にはもちろんその段階でご案内差し上げております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員(土屋秀明) 187ページの7番で住宅の改造の助成が1件ありましたけれども、助成額が8万3,484円というの、これは率的には何割を助成するのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

11時32分 休憩

11時33分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 20万円までは全額でございます。

○委員長(杉山茂規) 土屋委員。

○委員(土屋秀明) そうすると、上限が20万ということですか。

○委員長(杉山茂規) 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 そのとおりでございます。

○委員長(杉山茂規) 土屋委員。

○委員(土屋秀明) 高齢になった場合、この身体の、高齢になった場合の助成事業があると思ったのですけれども、それと天秤をかけるようなことってあるのでしょうか。

(「介護」の声あり)

○委員(土屋秀明) 介護。

○委員長(杉山茂規) 健康福祉部長。

○健康福祉部長 基本的に介護のほうが制度優先ということになっています。

(「休憩で」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

11時34分 休憩

11時35分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 先ほどの一般就労移行された方の数ですが、5名の方が就労されております。

○委員長(杉山茂規) 三富委員。

○委員(三富美代子) そうしますと、30年度の一般就労された5名の方へのフォローの体制というのはどのように行われているのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 カラマの会というのをご説明いたしましたが、その入会を促し

たりとかして、その後もフォローを続けております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） その方々は、就労がずっと続いている状態というふうなことでよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 カラマの会に入会されている方は、就労が継続していることを確認しております。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で、委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 心身障害者扶養共済のことでお伺いします。委員長、済みません。暫時休憩してください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時37分 休憩

11時38分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 心身障害者扶養共済制度で補助率が変わるのですけれども、この補助率が変わったときに具体的にゼロの方もいるのですけれども、幾らの差額が生じるのでしょうか、具体例として、一番大きな差は。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 ただいま検討中の事項でございます。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） そうしますと、今4%しか加入していないということでしたけれども、この予算の中でもっと増やすという努力をしてみたらというお考えはならなかったでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時38分 休憩

11時39分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 さらに拡大ということは、予算の中で増やすというような議論はございません。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 最後に、こういう方々は生命保険とかいろんな契約に入りづらいところがあって、受け皿がないので、十分今検討中という話だったので、検討していただくようお願いして終わります。

（「休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時39分 休憩

11時40分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で障がい福祉課の質疑を終わります。

介護保険課（第1号、第4号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 159ページ、（3）番、その他の活動のところでお伺いします。29年度の時もあったんですけども、自治会と民生委員などとのネットワークづくりというのが29年の時から始まっているのかなと思うのですが、30年度はどのような形になったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 包括支援センターのその他の活動というところでございますが、こちら包括支援センターに事業を委託するときに仕様書という中で仕事のほうを委託しております。その中の自治会、民生委員とのネットワークづくりということで、民生委員の会議に出席していただいたりですとか、各自治会で行っておりますサロン等、こちらの民生委員さんが中心になってやっただいているサロン等ございますので、こういった部分で民生委員さんとのつながりをつくる、それから各地区で民生委員さんのほうからこういった高齢者の方がいるといったような情報提供を受けているようなネットワークがございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 地域包括支援センターが中心となって、民生委員さんや各自治会と連携をしているという形でいいのですか。今のだとそれぞれ民生委員さんのところに出向いたりとか、そういう感じに見えたのですが、ネットワークというところの機能としてはどういう形になっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 包括的支援事業の中の包括支援センターの運営の項目の中に、地域におけるネットワークの構築という仕事がございます。この中に地域にあります民生委員等と高齢者の日常生活支援に関する活動が行われておりますので、そういった部分でネットワークの構築を図ること、包括支援センターだけではないですけども、社会福祉協議会なんかとともにネットワークをつくっているというような状況となります。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 行政としてはどのようなかわりをしているのでしょうか。介護保険課として。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 介護保険課としても当然同じように行政としてネットワーク、相談をいただけるような形をつくっております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 相談をいただけるというのは具体的などのようなこと。

- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 地域で高齢者の方、介護保険に資するような独居の方ですとか、そういった方がこの地域にいるよ、訪問してくれないかなとかというような相談がございませぬ。それは、包括支援センターでも構いませんし、市のほうでも相談してくれる方もいらっしゃいますので、入り口はどちらでも相談を伺えるようにということでネットワークをつくっております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） その情報というのは、皆さんで共有をして支援をしていくという体制ができていくということによろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 その通りでございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかは。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 154ページの一般管理費の2番の事業者管理のところなのですが、地域密着型というのですか、それが21から16に減っているという、そのところを事業者が減ったということによろしいでしょうか、それとも総合事業のほうに移ったというか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 こちらのほうは、地域密着型の事業所が事業をやめたということになります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 156ページの5715ですか、認定審査会共同設置負担金というところなのですが、ちょっと暫時休憩でお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時35分 休憩

13時37分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 済みませぬ。先ほどの表なのですが、認定会の共同設置負担金の表で、審査会の回数が減った理由をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 認定審査の件数が毎年増えておったところなのですが、国のほうの施策の変更で認定の更新の方につきまして、最大36カ月と3年間の認定機関が設けられたことによりまして、更新の件数が減ったことによりませぬ。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 次のページですか、157ページの右側の2番目の保険サービスの数の件ですけれども、3月末の認定状況と、その下の3月の利用分、ここの人数的に差がありますけれども、この差がある部分というのはどういうようなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 介護認定持たれている方と、介護のサービスを受けている方に差があるということでございます。こちらのほう、まず入院されている方につきましてはこの時点で介護サービスを受けておりませんので、そういう方は入っておりません。また、介護度が軽い方で住宅改修、それから福祉用具の購入だけを希望されて、そちらのサービスを受けた後は自分たち、自力といいますか、介護保険のサービス受けなくて過ごされている方がいますので、そういう方がこの差となっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 158ページですけれども、一般介護予防事業の1番、予防の把握で、30年度はゼロですけれども、これはどういう現象というか、結果なののでしょうか。それとも何か努力をした結果にこういうゼロに結びついたということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの予防の把握事業というものが、もともと旧の二次予防という事業から始まっております。医療機関、それから民生委員さんですとか、包括、それから地域なんかの本人、家族以外からの情報で閉じこもり等で支援を必要とする方を早期に把握したいというものとなっております。現在はこういった把握事業と言わなくても相談が来るようになってきたということでこちらの件が減少しているというふうに認識しております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 158ページ、同じページの右側の2の介護予防の普及啓発ですけれども、この中に老人クラブの介護予防体操というのがありますけれども、これは決まった体操があって、それを市内で広げているということでしょうか。独自にやっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの体操というのは、決まった体操ではなくて、体操をもとにして運動を行うことによって、機能を保ってもらおうというものになっております。

（「ちょっと休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時42分 休憩

13時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

土屋委員。

- 委員（土屋秀明） 介護予防体操が特に決まったものがないというのですけれども、裾野市として介護予防、認知症予防につながるような、こういう体を動かす決まった体操のようなものを普及する考え方がないのですか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 現在のところ、そういった決まった体操をつくって普及しようという事は考えておりません。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 決算ですから、余りあれですけれども、先ほどちょっと休憩中に話しましたように非常に全国的には効果があるということが言われていますから、何か導入されたらいいと思います。これは余分な話です。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 160ページに右側に認知症の総合支援事業ありますけれども、この中で特に30年度、前年度とは違って力を入れた、あるいは新たにというというような、こういう事業内容はあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 認知症の総合支援事業ということで、30年度に初期集中支援推進事業ということで、初期集中支援チームというものを2チーム設立することができました。こちらのほうは、認知症専門とした研修を受けていただいた医療の先生、それから保健師、包括支援センター、それから行政ということでチームを組みまして、早期に支援することによって、その方が重篤化する前にというような事業がありまして、昨年度1ケースありまして、今こちらのケースは解決できたというようなことになっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 今ので短期集中のところに予防講演会を2回ほど実施したということですが、この参加人数とかあるいは参加者がどういう方なのかというのはおわかりでしたらお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 済みません。人数までは今ここでは把握しておりません。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 数的なものは結構です。一般の方が参加したのか、あるいは特にこれから先何かコーディネートしてくれるような人たちを育成するためにというようにことだったのかって、その辺がありましたらお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 基本的には一般の方、こちらのほうが出席していただいております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 161ページの任意事業の中の表の認知症サポーター養成事業のことなのですが、こちらの延べ人数の439人って書かれていますが、その養成講座を受けられた方のその後の活動状況というのは把握をされていらっしゃいますか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 サポーター養成講座の後、受講者の方の活動までは把握してはおりません。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） ちなみに、この延べ人数で書かれているのですが、実数で言うと何名ぐらいの方が受けられているかわかりますか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 延べというのはもしかすると重なっている可能性があるということで延べにしてはおりますが、基本的には違う場所、違う場所へ行っていますので、延べ人数イコールほぼ実数に近いというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） せっかく認知症のサポーター養成講座を受けていただきますので、実際にその方たちに活動をしていただくという、そういう方策といたしますか、そういうことは考えられなかったのですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの認知症サポーターの養成事業、養成講座というのが趣旨としましては身近にいる認知症の方を見守り、サポートしていくということですので、内容的には学校、裾野高なんか行ったりしまして、高校生に話を聞いたりしてもらったり、事業所に話を聞いたりしてもらっています。事業所なんかには認知症の方が窓口に来られたときの対応方法だとかというようなお話、それから高校では自分のおじいちゃん、おばあちゃん、それから近所の高齢者の方で認知症の方が対応どうしたらいいのかというお話をさせていただいておりますので、その方たちが自分がその場面に出会った場合の対応をお願いしておりますので、その後の団体とか設立のというような講座では方向性としてはないものでございます。

（「委員長、済みません。暫時休憩してください」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時49分 休憩

13時49分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
三富委員。

○委員（三富美代子） 先ほどもちょっと出ましたけれども、158ページの介護予防把握事業のほうなのですが、現在予防に力を入れていると思いますけれども、

中には一人暮らしの高齢者の方もたくさんおられると思いますので、そういった方々が今どういう状態であるかということについての把握をする、そういった策というのはこの30年度とられたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの把握事業というところでございますが、民生委員、それから地域の方とコミュニケーションをとることによって、そういった状況をいち早くいただくということを目指した包括的支援事業のほうでそういった事業は行っております。

（「ちょっと暫時休憩してください」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時51分 休憩

13時53分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○委員（三富美代子） 今の件わかりました。ありがとうございます。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 済みません。決算書の215ページに実質収支に関する調書が載っています。その年の歳入と歳出から差引額が記載されていますけれども、これが前年と比べれば、またちょっと金額的には減少しておりますが、これは想定内の状況でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 実質収支に関する調書ですけれども、済みません。暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時54分 休憩

13時56分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの数字、いろんな条件が重なって出てくる数字でございますけれども、実際には想定範囲内の数字というふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしましたら、同じ決算書の217ページに介護保険給付費等準備基金の表が載っております。この年度末の現在高についてどのように判断されたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 介護保険の事業計画というものが3年に一度つくられております。

それは、介護保険料の見直しに合わせて3年に一度計画を立てておりますが、その

30年度というのが1年目でございますので、1年目にお金がたまって、2年目に少し出して、3年目に基金を吐き出して、3年分の保険料がとんとんとなるというような形で計算しておりますので、1年目に金額がたくさん残るといのは想定どおりのものでございます。

○委員長（杉山茂規） ほかは。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 161ページの家族介護慰労金支給事業が平成30年度より廃止されたということなのですけれども、もともとこの事業の目的、意味合いというのはどういったものだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらのほう、重篤な方、介護3以上の家族の方がいて、介護保険のサービスを使わない、家で見られていた方という方に対して大変な思いをして家族の方を家で見られているということで、この家族介護慰労金というものがございました。しかしながら、平成23年度以降利用者がいないということ、それから近隣でも廃止の方向ということを受けまして、裾野市でも29年度をもちまして廃止とさせていただきます。

（「ちょっと暫時休憩してください」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時58分 休憩

14時00分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 家族に対してのケアするような事業というのはほかにあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 同じページの表の1つ上になりますけれども、家族会の交流事業、こちらのほうが家族を対象にしました事業ということになっております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 済みません。158ページの2、介護予防の普及啓発事業でのいきいき運動教室のコースが、30年度1つコースとして減っているのですけれども、済みません、161ページの地域事業の状況で、これ委託先がシンコースポーツの随意契約になっている30年度がゼロになっている、このコースのことでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） この委託している教室は、内容はこういったコースの内容でし

ようか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 脳いきいき教室、運動教室のほうが5回から4回に減っているということで、その1回ががつつりコースということで、割と身体がしっかりされている方向けにやっていた事業で、市民体育館を利用させてもらってやっておったのですけれども、実際そこまでできる方であればこういった介護圏の教室ではなくて、実際に体育館へ行っていただいて、そういった器具がございまして、そちらを使っていただければいいのではないかというような結果が出まして、今はそっこのほうをやめております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、そのがつつりコースというのは何人ぐらいいらっしたのでしょうか、参加人数というか利用者数ですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 1コース20名で想定しておりましたので、20名ぐらいの利用者がいます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件、わかりました。

済みません。いきいき運動教室の延べ人数が731人、去年は735人という、これぐらいを推移しているのですけれども、啓発事業なものですから、どのぐらいの人数を増やすといいますか、目標みたいな人数というのはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 人数として目標の人数までは持っておりませんが、こちらの方が継続していくことによって、多くの方が週に1回とか月に1回運動されていたものが家に持って帰って運動してもらおうということを目指しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 最後。コースによっても多分人数が決まっていると思うのですが、まだ余裕があるといいますか、マックスは何人ぐらいが利用できる枠というのですか、人数になっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 1コース20名で募集しておりますが、最大25名まででコースを実施しております。

○委員長（杉山茂規） ほかは。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 159ページの包括支援センターですけれども、北部と裾野包括とのこと。 (2) で相談件数が圧倒的に違って、それを見たときにその上段の (1) の設置状況の中の人員配置の違いがあるのですけれども、北部そのものがもう少し人員を増やすとか、あるいは2つに分けて別のところにもう一つ包括支援セン

ターをつくるとかという、そういうような対応をしなくていいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの相談件数の違いというものが、包括支援センターの運営協議会のほうでも指摘を受けております。何で相談件数が違うというところ探ったところ、裾野包括と北部包括と、ここでカウントする相談というのがどこまで話を聞いたら相談なのかという認識の違いがあるということでした。裾野包括は、相談記録というものを残したのについてだけ掲載してあったわけですが、そういったところを本年度から統一してくださいということで今お願いしてございますので、来年出す数字につきましては、こちらのほうがもう少し精査されたものになるかと思えます。

それから、包括支援センターの設置の人数でございますが、国の基準としましては、圏域内の65歳以上の人口が6,000人までは3名ということを基準としております。北部については6,000人を超えていないわけですが、前回の介護保険の事業計画の中で6,000人をそろそろ超えそうだとということで4人に増やさせていただいております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そうすると、上の人員のほうですが、主任介護支援専門員が2名、1名ですが、北部は1名で足りているということですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 実際に足りているかどうかという話になりますと別ですが、この人数でやっていたらというのが正直なところでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） その上の158ページの一般介護予防の3番です。地域介護予防活動支援事業のこの表の一番下段に地域活動組織の育成支援を行ったということで回数が出ておりますけれども、具体的にこれで組織が育成されてみずから活動を始めたというところはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの介護予防活動の支援事業という部分につきましては、社会福祉協議会のほうに委託してございます。その欄一番下の介護予防に資する地域活動の組織育成支援というところでございますが、多くが自治会単位で行っていますサロン、そちらのほうの支援ですとか、出張でお話をしてくださいですとかというようなものでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ~~富岳のノ瀬特別養護老人ホームを富岳会があと閉めるというのを聞きましたけれども、それに向けて30年度で何かこれから先に向けての対応等したところはあるのでしょうか。~~

(「暫時、済みません」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

14時09分 休憩

14時11分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

土屋委員。

○委員(土屋秀明) 先ほどの質疑取り下げます。

○委員長(杉山茂規) 取り下げで。

ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長(岩井良枝) 160ページの(3)のところで伺います。生活支援体制整備事業ということで、地域支え合い推進員、先ほどコーディネーターというお名前でごっしゃっていましたが、社会福祉協議会に委託で配置をしたということですが、何人の方を配置したのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 地域支え合い推進員というのは1名でございます。

○委員長(杉山茂規) 岩井委員。

○副委員長(岩井良枝) 資格については何かあるのですか。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 特にこの資格を持っていないといけないというものはございませんが、国のほうでも新しくつくりました制度ですので、このコーディネーターをサポートする講習ですとか、講演会みたいなものを開いていただいております。

○委員長(杉山茂規) 岩井委員。

○副委員長(岩井良枝) 開いていただいておりますというのはどこでということでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 国や県がコーディネーターに対するサポートの意味を込めてそういった会議を開いてくれています。

○委員長(杉山茂規) 岩井委員。

○副委員長(岩井良枝) 先ほど1名ということでしたが、地域支え合い推進員というのは今後増員をしていく予定ではいるのですか。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの地域支え合い推進員、地域支援体制というのが市域全部を考えました第1層という考え方と圏域ごと、裾野市内では介護の圏域が4圏域でございますが、4圏域の第2層という考え方があります。現在いるのが第1層の支え合い推進員でございます、第2層については今年度以降増やしていく予定でござ

います。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 今お一人の方がいらっしゃって、研修を受けながら市全域を見ているということなのですからけれども、そのいることでの効果、これからどういう活動をしていくかという部分というのをもう少し具体的にありますか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 コーディネーターの役割としまして、裾野市内にあるサービス、済みません。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時14分 休憩

14時15分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 コーディネーターには地域資源の開発、それから地域資源のPRを各ケアマネですとか、利用者の方にさせていただくような仕事をお願いしてございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） そうしますと、1名今配置をしているということなのですが、この1名についても社会福祉協議会への委託料の中に含まれて行われているということなのですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 地域支援体制の整備事業の委託の中でこのコーディネーターの分も含まれて委託してございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） その下になります。裾野市認知症安全ガイドケアパスというのを作成をされたそうですが、この配付についてはどのような形で、関係機関、協力機関等ということですが、全体としてどのぐらいの方に配付ができていますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらのケアパスでございますが、2,000部刷りまして、医師会等の協力も得まして、病院ですとか、市役所の関係機関、それから介護保険の事業所のほうに置いていただいております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） ほかの市、町のケアパスを見て、たしか裾野のは見たと思うのですがけれども、このケアパスを見ていろんな事業の内容とか書いてあるのだと思うのですがけれども、主にそれを見てもらいたい対象の方というのはどなたになる

のでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 認知症ということになりますので、認知症の心配をされている方、それから実際に認知症の家族をお持ちの家族の方に配付ができればなというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 30年度は2,000部でした。これというのは引き続き行っていく、同じ部数でつくっていくということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらのほうが第3版になっておりまして、去年は少し内容を変えてございます。こちらの配付部数がなくなれば、また随時印刷してまいりたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） その下で伺います。認知症カフェを実施をして市内店舗で月に1回ということなのですが、北部包括支援センターへ委託をしたのはなぜでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらのほうで認知症カフェというものが、そういった名前で相談業務を行いまして、そちらから相談につなげるということを目標としておりますので、相談業務を担っていただいております各包括に委託をするという流れで、相談にスムーズに持っていきたいということでございます。北部包括のほうにお願いしたというのは、圏域のほうは北部包括の圏域となっている場所でしたので、北部包括のほうにお願いをしております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 今のは市内店舗が北部包括内にあるということですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） そうしますと、30年度は北部包括でしたということですが、済みません。委託料のところで伺います。北部包括の委託料が増えているのは社会福祉士さんが1名増えた分と、それではその認知症カフェの開催の分も委託料に含まれているということですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時20分 休憩

14時21分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
（何事か声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時21分 休憩

14時22分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
介護保険課長。

○介護保険課長 北部包括支援センターの委託が増えているのは、人員が増えたため
となっております。なお、認知症カフェの実施につきましては、本来業務の中で業
務を行っていただいております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 同じページの左側、在宅医療介護連携相談窓口というこ
とで、日赤のほうにあしたかつつじというのができましたけれども、ここは専門職に
対する相談ということで、相談実数10件というのは専門の方がこちらに相談に行っ
たということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 一般の介護の心配がある方とかではないということですね。
わかりました。ありがとうございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） では、以上で委員の質疑を終わります。
分科会外委員の質疑をお受けいたします。
岡本委員。

○分科会委員（岡本和枝） 出たのかもしれませんが、156ページ、認定審査会の共同
審査負担金に関連して、3年間今の介護度を保てるというお話がありましたけれど
も、この目的というのはサービスをなるだけ皆さんが量が増えないようにというよ
うな、それが目的でこの3年間というふうなことなのではないでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 暫時休憩でよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時24分 休憩

14時26分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 こちら伸ばすというのは、給付費に関連したものではなくて、認定審査会を効率よく回すためということで考えております。

○委員長（杉山茂規） 岡本議員。

○分科会外議員（岡本和枝） その場合3年間というのはその人が例えば介護度が1だったら1のまま3年間という意味合いのことなのですか。その場合高齢者の方って、また介護受けている方って3年間の間に体調変化とかいろんな部分が、その可能性がたくさんあると思うのですが、そういう場合はどのような対応を、誰の判断でどうするのか、その辺はどうなっているのですか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの156ページの表を見ていただきますと、申請数のところに新規更新、変更とございます。変更というのは介護度がよくなったり悪くなったりした方が今の介護度と違うよということで変更されておりますので、そういった方は変更の申請をしていただけるようになってございます。

○委員長（杉山茂規） よろしいでしょうか。

ほかはいかがでしょう。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で、認定第1号のうちの関係部分及び認定第4号に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分及び認定第4号について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分及び認定第4号に関する意見を終わります。

以上で介護保険課の質疑を終わります。

国保年金課（第1号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の質疑を終わります。

以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

国保年金課（第2号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。166ページの退職被保険者の療養給付、その下、療養費と高額療養費の件数がかなり落ちているのですが、28年度から見てもかなり落ちているのですけれども、増えることがないという形だとは思いますが、ちょっと幅が大きいように感じるのですけれども、その要因を教えてください。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 この退職医療というのが26年度で制度が終わってしまっておりまして。64歳までという形で、65歳から一般にかわるものですから、年々やはり少なくなっております。それと、人数的に結構少なくなっているものですから、金額的にも少なくなるという形になります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 幅というか、落ち幅が大きいというのは何かご説明できるのでしょうか。なかなか難しい。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 年齢的にもある程度高い方が入っているという、基本的には退職されて、国民健康保険に入っているという形になるものですから、年々少なくなって、あと今年度末でもう退職医療の方がなくなるような形になります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件、わかりました。

次、167ページの10番、若年者の特定健診動機付けの事業ということで、これ29年度から始めているかと思うのですけれども、30年度、29年度よりも多く対象を増やして、ただ利用者が32名と率で言っても余り増えていないように感じるのですけれども、その辺どう考えておりますか。どう捉えておりますか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 まず、こちらのほう始めたというのが40歳から始まる特定健診、それにつなげようという形を行っております。人数的には若干伸びて、幅も29年度に比べて、29年度は37歳から39歳という形で、30年は30から39歳という形で幅を広げて通知のほうして利用者が32名という形の部分だったのですけれども、できればもうちょっと、少しでも上げて特定健診につなげていきたいというのはありますので、できるだけ人数自体を上げたいなどは思っているのですけれども、やはり通知はさせてはいただいているのですけれども、やっぱりその方の希望というのがございますので。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 増やしていきたいという、何か具体的といえますか、いろいろ

理解活動とかして増やすということだと思うのですけれども、どういう方法で増やしていきたいというお考えって今あるのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時03分 休憩

15時04分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
国保年金課長。
- 国保年金課長 広報等をしてやっていきたいと思っております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） その件、わかりました。

次、168ページの24時間の電話健康相談で、全体で言うと件数がかなり減ってきているのですけれども、まずは相談が減ってきているという要因というのは捉えているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 要因自体は、これ入札のほうでやっているのですけれども……
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時05分 休憩

15時06分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
国保年金課長。
- 国保年金課長 1つの要因として、加入者が減っているという部分が考えられます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 相談の中で24時間という体制で、夜中とか朝方、24時間の中で時間帯、もしくはという、どの辺の、昼間が多いのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 サービスとして24時間という、いつでもかけられるという形でやっております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 夜中といいますかという、実際どれぐらいの件数というのは捉えているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時07分 休憩

15時08分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 明け方、夜中も件数はございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 166ページなのですけれども、医療費の状況ということで、29年と30年の簡単に最後の合計の欄見ますと、金額的に減っているということで、この辺の要因は加入者が少なくなったということなののでしょうか。その辺の要因を教えてください。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 確かに加入者が少なくなったというのは一つの原因です。ほかは、加入者が少なくなったというのが原因です。

以上です。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時09分 休憩

15時10分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） ~~保険者が県になってですけれども、県になった新しい今の制度のその前と比較して、市が要するにダイレクトに出す額というのほどんな変化があったのでしょうか、増えたとか減ったとか。比較をした場合できるか。~~

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時10分 休憩

15時11分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 先などの質疑は取り消します。

- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 167ページの9で、人間ドック、脳ドックがありますけれども、これはそれぞれ補助金が出ていると思うのですけれども、幾らずつでしたっけか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 暫時休憩お願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時11分 休憩

15時12分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
国保年金課主幹。
- 国保年金課主幹 ドックの費用のうちの7割が市が持ち、3割をご本人さんに負担してもらっているのですが、脳ドックに関しまして、日赤病院と西島病院は7割を計算したときに3万を超えるので上限3万円まで市のほうで補助をするというふうに決まっています。
以上です。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 人間ドックが6人ということで、少ないと思うのだけれども、補助を受けてやるというのはほかになかなかなくて、これそのものはPRが不足しているのではないかという。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 人間ドックのほうを対象者が30歳から39歳を対象にしております。脳ドックのほうは30歳から74歳を対象にしているものですから、対象者数としても人間ドックは定員20名、脳ドックは200名という形で募集のほうかけております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） そうすると、人間ドックがどうして39歳までに年齢を切ってしまうのですか。もっと先までいなくて。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 40歳から特定健診があるものですから、そちらを受けていただくような形をとっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 168ページに国の関係のワーキンググループに入って5回ほど出席しているということですが、この中ではどんなような議論、テーマをもとにして討論等されているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 まず、こちらのほうが厚生労働省が主催で全国知事会から5県、あと全国市長会から4市、全国町村会から4町村が出席してやっております。国のほ

うからのものが補助金をどれくらいにする振り分けとか、そういうものを県、市、町で話し合ったり、これからこういう法律をつくりたいのだけれどもどうでしょうかということの話し合いをするようなことをやっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 先ほど来出た補助金をというのは国とか県が出す補助金の額を抑えようということか何かでのということですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 抑えるのではなく、もっと市、町のほうへ多く配分をしてくれと、そういうようなもの、全体のパイは決まっているのですけれども、その中で市、町としてはもっと欲しいという形の部分で要求のほうしております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そのグループの中に、要するに有識者というか、学識経験者のような人が入っているのですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 そういった方は入っておりません。地方自治体の方のみです。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そうすると、全国の市とか町、村の自治体側がもっと国からの助成が欲しいのだよという、それに結びつけるためのワーキンググループだということですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 そういう、金額だけではないですけれども、いろいろ制度とかそういうものに関して発表される前に事前にもむという形の部分のものをやっております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
三富委員。

○委員（三富美代子） 同じところの一番下のほうです。事務処理の関係のシステムの検討会、これもう30年度で検討をされてシステムそのものはもうでき上がったって状態なのですか、中身的な。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時17分 休憩

15時18分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

国保年金課長。

○国保年金課長 システムのバージョンアップなどを検討する会になります。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件、わかりました。

次のページの資格喪失の関係の15番なのですけれども、これ29年度の調書と比べますと、30年度って未納付分がかなりあるようなのですけれども、これは何か理由があるのですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 昨年度は全体で記載のほうさせていただいたのですけれども、平成30年度は繰り越し分、過年度分、現年分に分けさせていただきました。その中で過年度分の12件あるうちの1件分が104万円という形で国民健康保険を、本当は社会保険だったのですけれども、出すの遅れてかなりさかのぼって社会保険に加入している方がいらっしゃいました。その104万というのはやはりもう個人ではちょっともう大きすぎるものですから、その方から同意書をいただきまして、保険者間、裾野市と社会保険とという形の部分で保険者同士で今対応中でございます。ちょっと金額はかなり大きくなっているような形になっております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 対応中というお話だったので、まだこの30年度で処理が終わったということではないのですか、多額の1件分というのは。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 まだ完了はしておりません。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 済みません。先ほどの訂正させてください。30年度では終わっておりません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 168ページの主要事業の中で、12番の柔道整復師によるこの二次点検を行う理由は何なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 この請求自体我々ではよくわからない部分がございますので、専門職というのがないものですから、国保連合会のほうに委託という形の部分で、これでよろしいでしょうかという形の部分で委託のほうしております。委託件数になります。

（「暫時休憩でお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時22分 休憩

15時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) それでは、委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

岡本委員。

○分科会外委員(岡本和枝) 1点お尋ねします。165ページに資格証の発行、30年度40という世帯数があるのですけれども、この中で資格証で受診をされた方というのは30年度あるのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 国保年金課長。

○国保年金課長 30年度ではございません。

○委員長(杉山茂規) 岡本委員。

○分科会外委員(岡本和枝) では、以前は受診された方というのは実際にあるのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 国保年金課主幹。

○国保年金課主幹 3年ぐらい前に1件あった方という感じがします。その前にも2件ぐらいはあったような気がするのですが、ここ2年度分は、レセプトは別に来るのでわかるのですけれども、ゼロ件です。

○委員長(杉山茂規) よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第2号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第2号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 分科会外委員の意見はありますか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で認定第2号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

国保年金課（第3号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 今の課長の説明の中で、滞納処分を実施したということですが、処分の内容はどのようなことでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 預金通帳と不動産の処分をいたしました。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で、認定第3号に関する質疑を終わります。

これより認定第3号について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第3号に関する意見を終わります。

以上で国保年金課の質疑を終わります。

以上で健康福祉部関係の質疑を終わります。

以上で予算決算委員会厚生文教分科会に割り振られました議案の質疑を終了いたします。

休憩いたします。

15時28分 休憩

15時29分 再開

自由討議

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

○委員長（杉山茂規） ただいまから自由討議、自由討論を行います。

委員の皆様申し上げます。発言は一人ずつマイクを使用し、委員長の指名により発見していただきますようお願いいたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 細かいことでもいいですか。

○委員長（杉山茂規） はい、お願いします。

○委員（土屋秀明） きょうのではないのですけれども、分科会の中で不用額が多い、そのときに不用額の多い原因が繰越明許事業費というのがいくつかあったですね、事業課で。その繰越しをしている事業の内容だとか金額だとかわからないものですから、どうしてこんなに不用額多いのだと聞くことを考えるならば、統一的に主要成果、この中に繰越明許をしている予算の事業名と金額を記載してもらったほうがいいのかなど、わかりやすいのかなということです。

○委員長（杉山茂規） わかりました。ありがとうございます。

ほかはいかがでしょう。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） いろんな面で研修等で研修とか講師を呼んでのものとか、そういったもので多くの人に来てくれるのですけれども、その人のその後の把握ができていないということで、せっかくそういった人を生かす施策というか、そういったものはちょっと関心のある人なので、またそれを地域のいろんな活動に生かせるような取り組みをしてほしいなということです。

○委員長（杉山茂規） ちょっとお伺いしますが、この講師を呼んでのというのは例えばサポーター養成講座みたいなそういった、なっていた方をどう生かすかって意味の発言ということでよろしいでしょうか。

○委員（勝又 豊） そうです。

○委員長（杉山茂規） ほかがいかがでしょう。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 先ほどちょっと何かのときか示したけれども、委員会で視察へ7月に行きましたけれども、あのときの3市のやり方というか、言うならば裾野市もその入り口まで行っているのだけれども、その後全然生かし方が違う話だから、先ほどから私勝手に言いましたけれども、その次へ結びつけるためには、何か、何々体操、婦人会なんかで体操、すそのん体操、それがそういうような介護予防に結びつくかちょっとわからないのだけれども、何かそういうものをつくることによってそれを経験した人がそのまま社会参加型でとくような、そういうような少しいデアを出さないと結果的にはやったままでアフターが全然結びつかない話です。ですから、もっと統一的に戦略的なものを考えてやったほうがいいのかと

いうところですよ。

○委員長（杉山茂規） ありがとうございます。

ほか、発言まだされていない方います。

三富委員。

○委員（三富美代子） 審査の中で少し話をさせてもらったのですが、養成講座とかいろんなせっかく受けていただいて、何人かの方々にいろんな知識なり今後のために携わっていただけるような方を養成しているのだけれども、現実的には活動の場がどうなのかというところが弱いのかなというふうに感じました。

それと、ちょっと全然細かい話で、多分土屋委員も言われたのですが、調書の中で物すごく小さく載っているところがあったです。311ページか。学校教育課の、すごくこれ2ページに分けてもいいからもうちょっと大きく見やすくしていただければなと思いました。

○委員長（杉山茂規） わかりました。

ほかは。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 総合的といいますか、第4次総合計画という後期、32年度の目標に対するさまざまな達成しているとか、まだ達成途中の中で、30年度で見ても達成していないとかあるのですが、そのところの達成していないところの部分というのがもうちょっとわかりやすく見せれる、表現がちょっと、何を持って途中までなのかというのがちょっとわかりにくかったというのがあったのが気になった点です。済みません。

○委員長（杉山茂規） ありがとうございます。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 土屋委員も先ほどから何回もおっしゃっているのですが、やっぱり視察に行っているいろんな取り組みがどんどん前に進んでいるところという部分ではせっかくやっとな名前が出てきたなみたいな、なのだけれども、それ今どうなっているのという委託先に投げてしまっている部分、もう任せてしまっているみたいなところとか、それから一番気になったのは包括支援センターの相談の数字の上げ方なんかのところ両方で合わせてくださいってお願いをしましたというような発言があったのですが、市としてというか行政として、そこどう連携をしていくのかという部分がやっぱりとっても薄いのかなと、もう少し一緒にというのが、特に介護保険課のところいろんなところでもうそこに任せてありますみたいな部分感じたのですが、だからやっぱりしっかり連携をしていく部分というのをもうちょっと頑張ってもらえるといいのかなというのを感じました。

○委員長（杉山茂規） ありがとうございます。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 常任委員会と3日間続けてやりましたけれども、ほかの市、町

の情報からするとこれだけ時間かけるところはない話で、先ほどの資料の話だといろいろあるのですけれども、基本的には行政側はそれなりにちゃんとしっかり説明をしてくれたのかなというふうに思います。その中でいろいろ気づいたところが先ほどのような話であって、決算の認定という考え方をするならば、それぞれみんな意見がないということになったのだけれども、十分にその判断をするに足りるような説明だとかがあったというふうに私は思います。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか、よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） それでは、今自由討議という形で皆さんからご意見をいただきました。こちらにつきましては、とりまとめをいたしまして、最後の報告の際に記載のほうさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で、本委員会に付託された本日の議案の審査は全て終了いたしました。

決算関係の議案につきましては、来たる10月8日の予算決算委員会で分科会委員長報告をいたします。

審査にご協力賜りましたことに感謝申し上げます、予算決算委員会厚生文教分科会を閉会いたします。

3日間お疲れ様でした。

16時04分 閉会